

G ビズ ID 作成をご希望の方へ

本ガイドラインは行政サービス担当者向けのガイドラインであり、
G ビズ ID アカウント作成に関するマニュアルではございません。
法人・個人事業主の方が G ビズ ID を作成されたい場合は、
[G ビズ ID | ご利用ガイド \(gbiz-id.go.jp\)](https://gbiz-id.go.jp)をご覧ください。

G ビズ ID

接続システム向けガイドライン

GビズID

デジタル庁

2.5 版
2025 年 7 月 1 日

変更履歴

版数	リリース日	章	内容
1.0	2019/2/12	全体	新規作成
1.1	2019/7/12	全体	サービス名を変更。G ビジネス ID→G ビズ ID アカウント名称を変更。 gBiz エントリー ⇒ gBizID エントリー gBiz メンバー ⇒ gBizID メンバー gBiz プライム ⇒ gBizID プライム
		2.1 アカウント種別	G ビズ ID プライムは複数発行の可能性もある旨を追記。
		2.6 保持するデータ項目	桁数を追記
		2.7 委任について	メンバーへの委任について記述を追加。
		2.1 アカウント種別	調達仕様上の呼称（BizAccout など）を削除
		2.6 保持するデータ項目	・ 法人番号、個人事業主管理番号の形式を追記 ・ アカウント管理番号およびその形式を追記
		2.7.2 メンバーへの委任について	新規追記（2019/9 月追加開発機能）
		2.7.3 メンバーへの委任について	新規追記（2019/9 月追加開発機能）
		3.1.4 通知	通知メールがまだ G ビジネス ID というサービス名である点について補足
		3.2.2 委任情報取得 API について	レスポンスコンテンツ No8 法人番号／個人事業主管理番号の備考欄の誤記を修正 「半角英数」→「半角英数字」
		3.3.1.4 属性取得リクエスト	2.7.2 メンバーへの委任機能に基づき mandate という scope およびパラメータを追加 サンプルにも mandate のサンプルデータを追記
		3.3.2 委任情報取得 API について	リクエストコンテンツの説明を追記
			レスポンスコンテンツにて以下誤記を修正 No6 アカウント管理番号 （誤）必須 →（正）任意 No30 アカウント ID（メールアドレス） （誤）必須 →（正）任意
		4.1 各環境概要	本番環境での制限事項について追記
		4.3 RP 設定依頼書	scope に mandate を追加（2019/9 月追加開発機能）
1.2	2020/10/29	2.1.アカウント種別	gBizID メンバーの説明を追記 ・ gBizID プライムが許可したサービスのみ利用できる。
		2.4.保証レベル	「行政手続におけるオンラインによる本人確認の手法に関するガイドライン」と G ビズ ID との関係を整理し、保証レベルの実装について修正 ・ gBizID プライムの身元確認時 ・ 本人確認の手法に関するガイドラインと G ビズ ID との関係
		3.1.2.2 所有物認証	ワンタイムパスワード認証について追記 ・ SMS 送信数の上限は 1 日あたり同一番号に対して 5 0 通。
		3.1.4 通知	通知メールのサービス名が「G ビジネス ID」から「G ビズ I D」に修正されたため、本ガイドラインにおいても「G ビズ I D」に修正

			また、メールタイトル及び本文の差し替えを行ったので、下記を削除 ※なお、サービス名は【G ビズ ID】に見直しをしているが、メールタイトルおよび本文は今後差し替え予定。
		3.1.4.2 SMS 通知	送信数の上限について追記 SMS 通知には送信数の上限（1 日あたり同一電話番号に対する送信数は 50 通）があるため、上限を超えるとエラーが発生する。エラーが発生した場合は 1 日経過すると SMS が通知されるようになる。
		3.3.1.6 各リクエスト検証方法	id_token のパラメータ「iss」に関する誤記を修正 （誤）「https://認証基盤のドメイン/」 →（正）「https://認証基盤のドメイン/oauth/」
		3.3.1.6 各リクエスト検証方法	Id_token のパラメータ「auth_time」は返却していないため、パラメーター一覧の「auth_time」及び検証方法の 6 を削除
		3.3.2. 委任情報取得 API について	委任情報取得リクエスト URL の「API パス」に下記を追記 ※コンテキストパス=/api
		4.3. RP 設定依頼書	RP 設定依頼書 ver0.931 の入力項目について追記
1.3	2021/11/1	表紙	G ビズ I D の移管に伴い修正。 経済産業省商務情報政策局総務課情報プロジェクト室 →デジタル庁社会共通機能グループ
		全体	OpenIDConnect→OpenID Connect に修正
		全体	サービス名を変更。G ビジネス ID→G ビズ I D アカウント名称を変更。 gBiz エントリー ⇒ gBizID エントリー gBiz メンバー ⇒ gBizID メンバー gBiz プライム ⇒ gBizID プライム
		1.3. 政府方針における記載	G ビズ I D の移管に伴い、下記を削除。 ○未来投資戦略 2018（平成 30 年 6 月 15 日閣議決定） ～○デジタル・ガバメント実行計画（平成 30 年 1 月 16 日 e ガバメント閣僚会議決定）
		1.3. 政府方針における記載	G ビズ I D の移管に伴い、下記を追記。 ○デジタル・ガバメント実行計画（令和 2 年 12 月 25 日閣議決定） ～○デジタル社会の実現に向けた重点計画（令和 3 年 6 月 18 日閣議決定）
		3.3.1 OpenID Connect について	OpenID Connect について、3ヶ所文言追加
		3.3.1.4 属性取得リクエスト	リクエストコンテンツ、リクエストサンプル→なしに修正
		3.3.1.4 属性取得リクエスト	レスポンス修正 ・レスポンス表ヘプライム、メンバー、エントリーの文言追加。3 種に分けて修正 ・name：任意→必須 ・parent_id：データ型 String→Number ・Number に整数追加 ・Sub の範囲を追加

		3.3.2. 委任情報取得 API について	リクエストサンプルの文言修正→レスポンスサンプルに修正
		3.3.2. 委任情報取得 API について	レスポンスコンテンツ ・プライム、メンバー、エントリーの文言追加。3 種に分けて修正
		4.2. 検証の流れ	G ビズ I D の移管に伴い修正。 経済産業省 商務情報政策局総務課 情報プロジェクト室 →デジタル庁 デジタル社会共通機能グループ G ビズ I D 担当
		4.3. RP 設定依頼書	・システム上の利用可能なサービス一覧追加 ・サンプル「経済産業省」→「デジタル庁」に修正
1.4	2022/06/28	2.4. 保証レベル	gbizID プライムに関する（法人の場合）の記載について、「法人番号」→「会社法人等番号」に修正
		3.2.5. 再認証要求	再認証要求を追加
		3.3.1. OpenID Connect について	ユーザ再認証フローを追加
		3.3.1.2. ユーザ認可リクエスト	「Prompt」「login_hint」を追加、リクエストサンプルを修正
		3.3.1.3. アクセストークン取得リクエスト	レスポンスに関して「id_token」に関する記述を追加、レスポンスサンプルを修正
		3.3.1.4. 属性取得リクエスト	レスポンスに関して「email」を追加、レスポンスサンプルを修正
		3.3.1.5. アクセストークン再取得リクエスト	レスポンスに関して「id_token」に関する記述を修正、レスポンスサンプルを修正
		3.3.1.6. 各リクエスト検証方法	（2）ID トークン検証/nonce 検証「sub」「auth_time」を修正、再認証要求を行った場合の ID トークンの検証について、追記。（検証方法 No.6～7）
		4.2. 検証の流れ	検証の流れについて、申請フローや関連ドキュメント名全般を修正。
		4.3. サービス連携申込書	タイトルを「RP 設定書」から「サービス連携申込書」に修正。サービス連携申込書の記載内容について全般を修正。 （2）OpenID Connect 連携に関する情報 ログイン後のリダイレクト URL に関する注意点追記
		4.4. テストでの確認ポイント	「ユーザ認可リクエスト」に関する確認内容について注意点を追記
		4.5. よくある問い合わせ事項	よくある問い合わせ事項を追加
1.5	2022/12/1	2.7.2 メンバーへの委任について	リリース予定の文言削除
		2.7.3 プライム承継機能について	リリース予定の文言削除

		3.3.1.4 属性取得リクエスト	Scope 名の誤記「opened」を「openid」へ修正
		4.1. 各環境概要	本番環境、検証環境の位置づけ、アカウント作成方法 プライム文言修正
		4.2. RP 設定申込書	(4) 多要素認証ポリシーに関する情報 (6) システム内の利用可能なサービス一覧追加 (8) 連絡先情報追記修正
		4.5. 接続後の対応	接続後の対応（設定変更・削除）に関する記載を追加
		4.6. よくある問い合わせ事項	ケース 2 追加
1.6	2023/4/1	3.3.1.2 ユーザ認可リクエスト	Scope について文言修正
		4.2 (2) OpenID Connect 連携に関する情報	Scpoe 指定に関する記述を削除
		4.4. 接続後の対応	設定変更時の注意点を追加
1.7	2023/5/22	表紙	本ガイドラインの注意点について記載
		2.6 保持するデータ項目	G ビズ I D が利用する文字コードについて記載
		4.1. 各環境概要	事前申請に関する問い合わせ先を記載
		4.4. 接続後の対応	ログインエラーに関する調査ヒアリング事項を記載
		4.5.よくある問合せ事項	よくある問合せケース③を追加
		3.3.1.2 ユーザ認可リクエスト	State,Prompt,Nonce,Scope⇒全て小文字に変更
		3.3.1.3 アクセストークン取得リクエスト	Code⇒小文字の code に変更
		3.3.1.5 アクセストークン再取得リクエスト	Code⇒小文字の code 変更
		3.3.1.6 各リクエスト検証方法	State⇒小文字の state に変更
1.8	2023/8/29	2.1. アカウント種別	gBizID プライムの説明について、書類郵送申請とオンライン申請について記載を追加
		2.4. 保証レベル	gBizID プライムの身元確認時の記載について、書類郵送申請とオンライン申請について記載を追加
		2.6. 保持するデータ項目	代表者生年月日の補足説明について生年月日が不明時の対応について追記
		3.1.2.2 所有物認証	スマートフォンアプリの表記を修正
		3.2.3. ログインボタン配置ポリシー	新画面、新アイコンにあわせて全体を修正
		全体	G ビズ I D アプリアイコンの画像を変更

1.9	2023/11/21	3.1.2.2 所有物認証	ワンタイムパスワード認証に関する廃止見込みに関する記述を追記
		3.3.1.2 ユーザ認可リクエスト	(2) ログイン後の URL アクセスリクエストのリクエストコンテンツ(正常時)、データ型部分に「最大文字数」という定義を追記
		3.3.1.3 アクセストークン取得リクエスト	(1) アクセストークン取得リクエストのリクエストヘッダ設定値部分に「～でエンコードした値」を追記、リクエストコンテンツ備考欄の「Authorization_code」の大文字 A を小文字に修正、リクエストサンプルを Authorization_code の大文字 A を小文字に修正およびサンプル注意点を補足、レスポンスのデータ型部分に「最大文字数」という定義を追記、access_token および refresh_token、id_token のデータ型最大文字数を修正
		3.3.1.4 属性取得リクエスト	(1) 属性取得リクエストのレスポンスのデータ型部分に「最大文字数」を追記
		3.3.1.5 アクセストークン再取得リクエスト	(1) アクセストークン再取得リクエストのリクエストヘッダ設定値部分に「でエンコードした値」を追記、リクエストサンプル注意点を補足、レスポンスのデータ型部分に「最大文字数」という定義を追記、access_token および refresh_token、id_token のデータ型最大文字数を修正
		3.3.2. 委任情報取得 API について	(1) 委任情報取得リクエストのリクエストコンテンツ(正常時)のデータ型に「最大文字数」という定義を追記
		4.1. 各環境概要	各環境の定義、テストアカウントの作成方法などを追記
		4.2. 審査および設定申込に関するフローと注意事項	4.2 章として章立てを追加。審査及び接続に関する注意点を記載
		4.3.RP 設定申込書	冒頭および(1) 連携サービスデータ概要「サービス開始予定日」欄に提出時の注意事項を追記
		4.4. テストでの確認ポイント	エラー発生時の調査に関する記述を追加
		4.6. よくあるお問合せ事項	FAQ を追加
2.0	2024/3/28	2.1. アカウント種別	オンライン申請が法人も対象になったため、修正。
		2.2. 取得方法	アドミン権限の記載を追加。
		2.3. アカウントライフサイクル	※1 gBizID メンバー(アドミン権限を持つ場合)を追加。
		2.4. 保証レベル	gBiz プライムに法人オンライン申請の情報を追加。 gBizID メンバーに(アドミン権限を持つ場合)を追加。
		3.1.1. ユーザ登録・管理	アドミン権限を持つ G ビズ ID メンバーの記載を追加。
		3.3.2. 委任情報取得 API について	(1) 委任情報取得リクエストの説明文を追加。リクエストサンプルの 2 行目が「client_token」の誤記を修正。
		4.2.2. ①利用申請について	利用申請時の注意点について追加。
		4.2.7. リリース後の設定変更・設定追加依頼要望について	TOP ページコンテンツ掲載に関する注意点を追加。
		4.2.8. その他(テストアカウントの作成手順)	アドミン権限を持つ G ビズ ID メンバーの記載を追加。

		4.3. RP 設定申込書	(5)部分に注意点を補足
		4.6. よくあるお問合せ事項	Q8 に“作成した G ビズ ID メンバーにアドミン権限を付与することはできません。”を追加。
2.1	2024/8/29	3.1.1. ユーザ登録・管理	代表者情報変更申請の記載を追加。
		3.2.3. ログインボタン配置ポリシー	ログインボタンの変更及び文言変更。
		4.1. 各環境概要	軽微な文言修正
		4.2. 審査および設定申込に関する対応フローと注意事項	フロー図修正
		4.2.6. リリース作業	サービスリリース後の注意点追記
		4.3. RP 設定申込書	備考欄内にサービスリリースの定義追記
		4.6. 接続後の連携削除について	連携削除に関する文言追加
		全体	「サービス開始」→「サービスリリース」へ変更
		全体	「gBizID」→「G ビズ ID」へ変更 「G ビズ I D」→「G ビズ ID」へ変更
2.2	2024/11/1	表紙	デジタル庁のグループ名変更に伴い修正 デジタル庁 デジタル社会共通機能グループ→デジタル庁に変更
		4. リリースに向けた作業について(4.1.~4.6.).	設定申込書等の現行ドキュメントの名称を変更。 一部、業務フローに関して変更。
2.3	2025/3/27	2.1.アカウント種別	G ビズ ID メンバーの説明に G ビズ ID メンバー（管理者）についての記載を追加
		2.4 保証レベル	G ビズ ID のトラストフレームワーク策定に伴う記載内容の修正
		2.7.2 メンバーへの委任について	G ビズ ID メンバー（管理者）が設定を代行できることを記載
		3.2.3 審査情報による制御	RP 側での審査情報利用の設計ポイントを追加
		3.2.4 組織情報による制御	RP 側での組織情報利用の設計ポイントを追加
		3.3. RP 実装のポイント	新規作成 (5.1.~5.2. 参考情報：認証・認可の観点で、RP 側で実装すべきポイント の記載を転記)
		3.4.1.2 ユーザ認可リクエスト	・ Scope についての説明を修正 ・ Scope 指定をしない場合の補完仕様について将来的に非推奨となることを追記
		3.4.1.3 アクセストークン取得リクエスト	・ アクセストークンの取り扱いについて記載を追記 ・ レスポンス「id_token」を必須項目として修正
		3.4.1.4 属性取得リクエスト	・ 審査情報についての記載を追加 ・ 組織情報についての記載を追加 ・ user_email 項目が非推奨となる点を追記 ・ レスポンス「birthday_ymd」について G ビズ ID メンバーの場合を必須項目に修正
		3.4.1.5 アクセストークン再取得リクエスト	レスポンス「id_token」を必須項目に修正

		3.4.2 委任情報取得 API について	- レスポンスコンテンツ「アカウント管理番号」を任意項目に修正 - レスポンスコンテンツ「事業形態」の返却値を半角英数字から全角に修正（データ型を「String(5)」に修正） - レスポンスコンテンツ「アカウント ID（メールアドレス）」を任意項目に修正
		4.2.1. ⑩事前準備について	利用開始希望メールのサンプルを更新 【補足（G ビズ ID サービスデスクへのログイン）】時のパスワードの条件を追加
		4.3. RP 設定申込フォーム (2) OpenID Connect 連携に関する情報	OpenID Connect の申請情報へ「利用を希望する Scope」の記載を追加
		4.4. テストでの確認ポイント	エラー発生時、RP サポート窓口にご申告いただく内容を更新
		4.5. 接続後の対応	エラー発生時、RP サポート窓口にご申告いただく内容を更新
		4.7 よくあるお問合せ事項	A9 の回答を更新
		5.1. 参考情報：認証・認可の観点で、RP 側で実装すべきポイント（1/2）	3.3. RP 実装のポイント 新規作成に伴い削除
		5.2. 参考情報：認証・認可の観点で、RP 側で実装すべきポイント（2/2）	3.3. RP 実装のポイント 新規作成に伴い削除
		その他：RP 側で実装すべき確認ポイント（G ビズ ID プライムのアカウント引継ぎに関する制御について）（1/2）	5.1. G ビズ ID プライムのアカウント引継ぎに関する処理概要 にタイトル変更
		RP 側で実装すべき確認ポイント（G ビズ ID プライムのアカウント引継ぎに関する制御について）（2/2）	5.2. G ビズ ID プライム変更時における電子申請システムでの制御例 にタイトル変更
2.4	2025/5/1	全体	「アドミン権限」→「管理者権限」へ変更
		リクエストサンプル/レスポンスサンプル 全体	リクエストサンプル修正 「"」→「"」に修正 レスポンスサンプル修正 - JSON で使用できないコメント「/* */」を削除 - ルートオブジェクトの中括弧「{ }」を追記 「"」→「"」に修正 - サンプル値に入り込んでいた空白を削除 - キー名に入り込んでいた空白を削除 - assurance_process の JSON 形式誤りを修正 「assurance_process",」→「assurance_process":」 - applies_to の JSON 形式誤りを修正 「applies_to" {」→「applies_to": {」

		3.4.1.4 属性取得リクエスト [1]審査情報のレスポンス詳細 [2]組織情報のレスポンス詳細	下記の各パラメータ名に対し、返却条件を中心に説明を追記 [1]審査情報のレスポンス詳細 ・ time ・ procedure ・ family_name ・ given_name ・ birthdate ・ authority ・ address ・ street_address_part_2 [2]組織情報のレスポンス詳細 ・ role
		3.4.2. 委任情報取得 API について （１）委任情報取得リクエスト レスポンス	HTTP ステータス 400 の説明に返却条件を追記
		3.4.2. 委任情報取得 API について （１）委任情報取得リクエスト レスポンスコンテンツ	下記の各項目名に対し、返却条件を中心に説明を追記 ・ 委任終了日 ・ アカウント管理番号 ・ 法人番号／個人事業主管理番号 ・ 法人名／屋号 英語表記 ・ アカウント ID(メールアドレス)
		3.4.2. 委任情報取得 API について （１）委任情報取得リクエスト レスポンスサンプル（正常時）	レスポンス修正 レスポンスサンプル（正常時） ・ レスポンスサンプルのタイトルに返却条件を追記 ・ 配列内にある２件目のオブジェクトにおける委任申請番号等サンプル値が１件目と重複し不適切だったため、返却条件に合わせてサンプル値を修正 レスポンスサンプル（検索結果 0 件） ・ レスポンスサンプルのタイトルに返却条件を追記 ・ delegation_info 配列なし→delegation_info 空配列に修正
2.5	2025/7/1	4.2.1.⑩事前準備について	NTT コミュニケーションズの社名変更に伴い、 NTT ドコモビジネスに記載を修正

目次

1. G ビズ ID の概要	1
1.1. G ビズ ID とは	1
1.2. 導入の背景	1
1.3. 政府方針における記載	1
2. G ビズ ID の提供するアカウント	2
2.1. アカウント種別	2
2.2. 取得方法	3
2.3. アカウントライフサイクル	4
2.4. 保証レベル	5
2.5. 利用イメージ	6
2.6. 保持するデータ項目	7
2.7. 委任について	8
2.7.1. 別事業者との委任について	8
2.7.2. メンバーへの委任について	8
2.8. プライム承継機能	9
2.8.1. プライム承継機能について	9
3. 提供機能	10
3.1. システム機能概要	10
3.1.1. ユーザ登録・管理	11
3.1.2. 認証	11
3.1.3. 委任	13
3.1.4. 通知	14
3.1.5. 証跡機能	15
3.2. RP 設計のポイント	16
3.2.1. RP 経由でのログインに関する処理概要	16
3.2.2. アカウント種別による制御	17
3.2.3. 審査情報による制御	21
3.2.4. 組織情報による制御	22
3.2.5. ログインボタン配置ポリシー	23
3.2.6. Cookie およびトークンについて	24
3.2.7. 再認証要求	25
3.3. RP 実装のポイント	26
3.3.1. 認証・認可に関する処理概要	26
3.3.2. 認可実装時における電子申請システムでの制御例	27
3.4. API 詳細	28
3.4.1. OpenID Connect について	28
3.4.2. 委任情報取得 API について	54
4. リリースに向けた作業について	60
4.1. 各環境概要	60
4.2. 審査および設定申込に関する対応フローと注意事項	61
4.2.1. ①事前準備について	63
4.2.2. ②利用申請について	65
4.2.3. ③接続申込について	66
4.2.4. ④検証環境での動作確認について	68
4.2.5. ⑤本番環境での動作確認について	69
4.2.6. ⑥リリース作業	69
4.2.7. ⑦リリース後の設定変更・設定追加依頼要望について	69
4.2.8. その他（テストアカウントの作成手順）	71
4.3. RP 設定申込フォーム	74
4.4. テストでの確認ポイント	79

4.5.	接続後の対応	81
4.6.	接続後の連携解除について	82
4.7.	よくあるお問合せ事項	83
5.	参考情報	86
5.1.	G ビズ ID プライムのアカウント引継ぎに関する処理概要	86
5.2.	G ビズ ID プライム変更時における電子申請システムでの制御例	87

1. G ビズ ID の概要

1.1. G ビズ ID とは

電子的な行政手続きの対象者を一元的に認証する基盤である。企業の代表者や従業員、個人事業主等が、各種電子申請システム（申請のほか、届出・報告等の業務を含む）等を利用する際の統合認証基盤として利用することができる。

1.2. 導入の背景

これまでの電子政府の取組は、紙や押印の機能を電子上で再現することを所与のものとし、また、制度・業務ごとに個別システムを構築してきたため、システム間の連携が取れておらず必ずしも利用者にとって利便であるとは言えない状況であった。

G ビズ ID は、このような従来の電子政府の手法からの脱却を目指し、添付書類の削減や同一情報の提出は一度として、1つのアカウント（ID/パスワード）で複数の行政手続きを行うことができるよう、サービスデザイン発想での行政サービスを実現するために平成 31 年 2 月より導入するサービスである。

G ビズ ID の導入により、申請時の利便性の向上だけでなく、複数システムでの申請内容や履歴等を紐付け、それを活用した質の高い行政サービスを提供することも将来的な目的としている。

1.3. 政府方針における記載

○デジタル・ガバメント実行計画（令和 2 年 12 月 25 日閣議決定）

8.3 法人デジタルプラットフォームの整備

また、一つの ID・パスワードで複数の行政サービスにアクセスを可能とする認証システムとして G ビズ ID を 2019 年度（令和元年度）より運用開始し、経済産業省の産業保安関係法令手続、中小企業向け補助金申請等の主要な行政手続、厚生労働省の社会保険手続、農林水産省関係の手続等における認証システムとして導入されている。引き続き、法人向け行政手続の共通認証システムとして普及を図るため、各府省や地方公共団体といった行政機関等の行政手続について横展開を行っていく。

○デジタル社会の実現に向けた重点計画（令和 3 年 6 月 18 日閣議決定）

第 2 部 1.（4）ID・認証

② 法人共通認証基盤（G ビズ ID）の普及

法人及び事業を行う個人（個人事業主）が、様々な行政サービスにログインできる認証サービスを実現するため、法人の認証としては G ビズ ID の普及と利用の拡大を図る。特に中小企業の手続負担軽減のための取組として、令和 4 年度（2022 年度）中を目途に 100 万法人の取得を目指すとともに、令和 7 年度（2025 年度）にはほぼ全ての法人が取得する環境を目指し、中小企業施策のデジタル化に貢献する。

2. G ビズ ID の提供するアカウント

2.1. アカウント種別

G ビズ ID では、以下の2つの体系のアカウントを用意する。ユーザの利用用途により、いずれかのアカウントを作成する。また、代表者アカウント（G ビズ ID プライム）は、その管理の下、従業員等用のアカウントとして G ビズ ID メンバーを作成することができる。

	アカウント種別	説明
1	G ビズ ID エントリー	- 誰でも作成できるアカウント。 - 登録内容の確認は行われない。ただし、メールアドレスの存在確認と、法人の場合には法人番号の存在確認は行う。 - システムからの登録のみで作成可能。
2	G ビズ ID プライム	- 利用者が法人代表者又は個人事業主本人であることを確認したアカウント。 - 作成に当たっては、書類郵送申請もしくはオンライン申請が可能。 【書類郵送申請】システム上で必要事項を入力の上申請書を作成するとともに、これと併せて法人の場合には印鑑証明書（法務局発行）を、個人事業主の場合には印鑑登録証明書（市町村発行）を提出し、審査を受けたのちアカウントが発行される。 【オンライン申請】システム上で必要事項を入力の上、事前にスマートフォンへインストールした「G ビズ ID アプリ」によってマイナンバーカードの読み取りを行い、身元確認をし、アカウントを発行する。申請にはマイナンバーカードが必要。
	G ビズ ID メンバー	- 法人又は個人事業主の従業員等のためのアカウント。 - G ビズ ID プライムまたは G ビズ ID メンバー（管理者）が、その管理の下、作成することができる。 - G ビズ ID メンバーは、承認・作成された G ビズ ID プライムに紐付いたアカウントとなる。 - 管理者権限を付与された G ビズ ID メンバー（管理者）は、G ビズ ID プライムに代わり G ビズ ID メンバーを管理することができる。 - G ビズ ID プライムまたは G ビズ ID メンバー（管理者）が許可したサービスのみ利用できる。
※いずれのアカウントも、事業態様として「法人」又は「個人事業主」を用意。 ※法人代表者印は登記上複数登録も可能であることから、法人によっては G ビズ ID プライムが複数存在することもあり得る。		

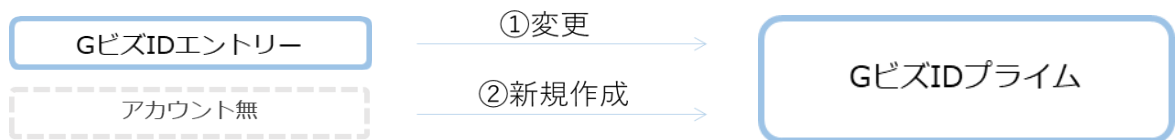
2.2. 取得方法

G ビズ ID エントリーアカウントを取得するには、自身で、G ビズ ID 基盤（G ビズ ID）上で作成する。



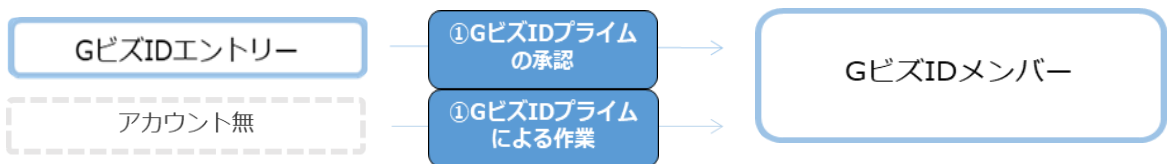
G ビズ ID プライムアカウントは、以下 2 つのいずれかの方法により作成することができる。

- ① G ビズ ID エントリーを登録した後に、G ビズ ID プライムへ変更する方法
- ② G ビズ ID エントリーを取得せず、最初から G ビズ ID プライムとして作成する方法

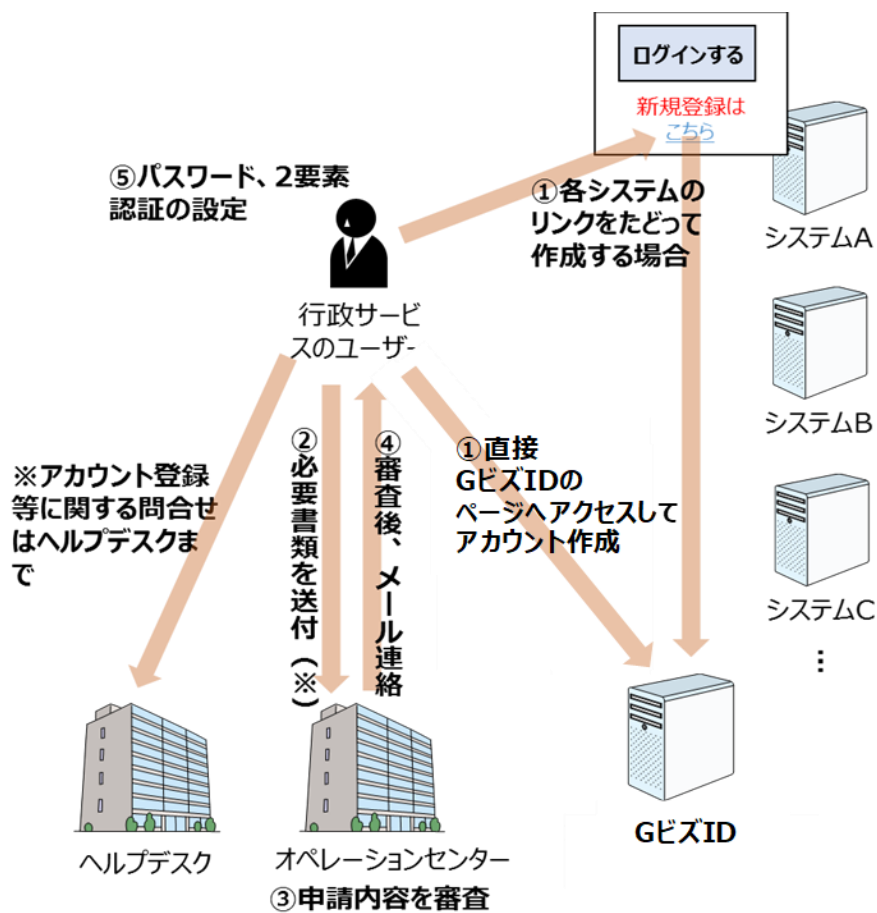


G ビズ ID メンバーアカウントは、以下 2 つのいずれかの方法により作成することができる。

- ① G ビズ ID エントリーを登録した者を、G ビズ ID プライム(※)の承認に基づき、G ビズ ID メンバーに変更する方法
- ② G ビズ ID エントリーを登録せず、G ビズ ID プライム(※)により、G ビズ ID メンバーを作成する方法



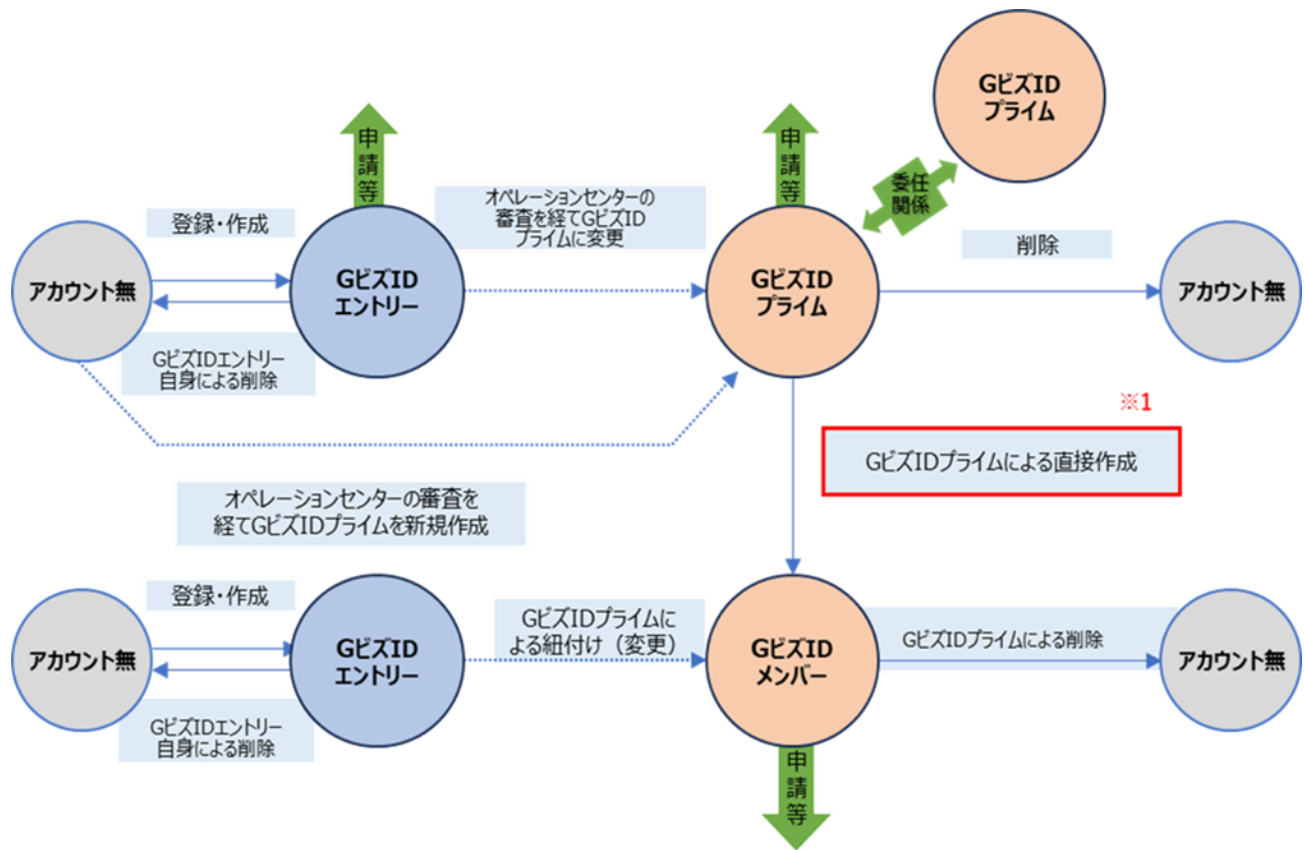
※管理者権限を持つ G ビズ ID メンバーも G ビズ ID プライム同様の操作が可能。



※G ビズ ID プライムアカウントの場合のみ②から⑤の工程が必要。
G ビズ ID エントリーアカウントは①のみでアカウント登録が完了。

2.3. アカウントライフサイクル

各アカウント種別のライフサイクル（アカウントの状態とその遷移）を図示すると以下のとおり。



※1 GbizIDメンバー（管理者権限を持つメンバーがメンバーを作成することも可能）

2.4. 保証レベル

G ビズ ID では、身元確認レベル（IAL : Identity Assurance Level）と当人認証レベル（AAL : Authenticator Assurance Level）を「法人共通認証基盤におけるトラストフレームワーク」により定義している。IAL は個人の身元確認の厳密さを示し、レベル 1 から 3 まで存在する。レベルが高いほど、確認手続きが厳格である。一方、AAL は認証手段の強度を示し、こちらもレベル 1 から 3 まで存在し、レベルが高いほど認証手段が強固であり、セキュリティが高まる。

G ビズ ID における IAL、AAL とアカウント種別及び審査方法の対応を、下記の表に示す。審査の詳細については「[法人共通認証基盤におけるトラストフレームワーク](#)」を参照のこと。

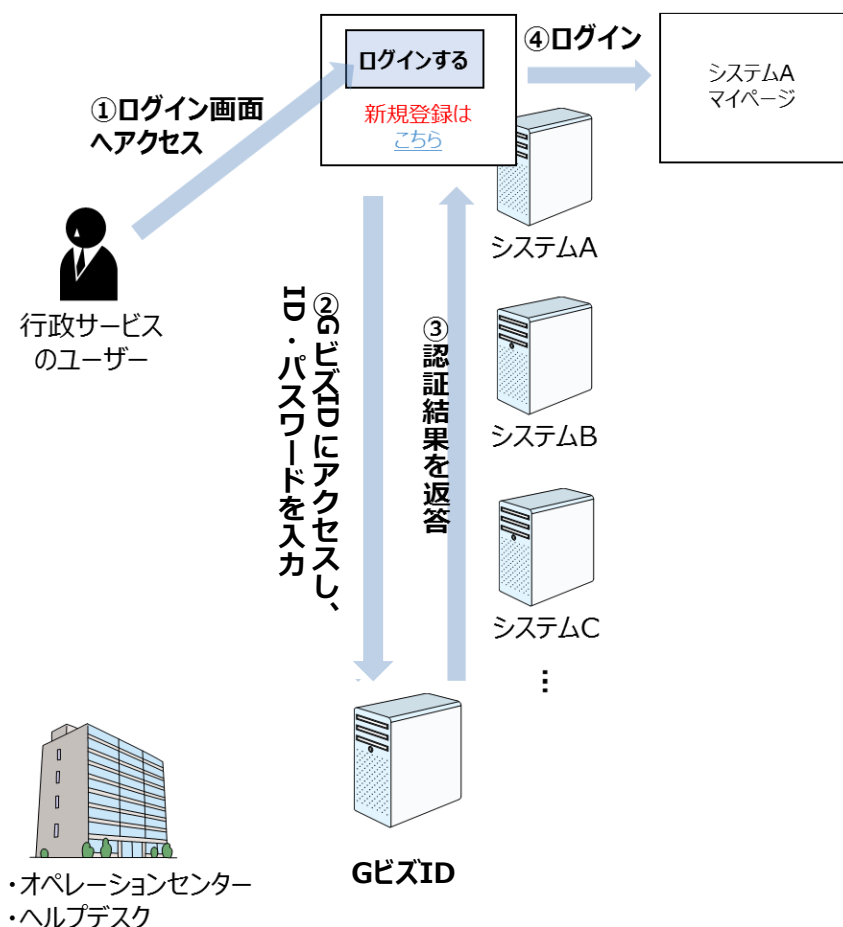
➤ 法人共通認証基盤におけるトラストフレームワークについて

法人共通認証基盤におけるトラストフレームワークは、G ビズ ID が実施しているユーザの審査手法を体系的にまとめたものであり、各保証レベルとの関係を明確に定義した文書。このフレームワークは、異なるサービス間でユーザのアイデンティティ情報を安全かつ信頼性を持って共有するための仕組みである。

身元確認レベル	当人認証レベル	G ビズ ID アカウント	G ビズ ID アカウントの 審査方法
IAL3	AAL3	なし	なし
IAL2	AAL2 AAL1 ※RP によって 1 要素認証を許容している場合は AAL1 となる。	G ビズ ID プライム	法人代表者オンライン申請
			法人代表者書類郵送申請
			法人代表者法人設立 OSS
			個人事業主オンライン申請
			個人事業主書類郵送申請
		G ビズ ID メンバー	組織内認証（法人、個人）
IAL1	AAL1	G ビズ ID エントリー	審査なし

2.5. 利用イメージ

利用イメージは以下の通り。



① 利用したいシステムのログイン画面にアクセスする。

② G ビズ ID のサーバに遷移後、アカウント ID 及びパスワードを入力する。

※入力するアカウント ID は「メールアドレス」。法人番号（13 桁の数字）は、アカウントに紐付く属性をして保有されるものであり、法人番号がアカウント ID となるわけではない。

※また、個人事業主の管理については、個人事業主管理番号（8 桁の英数字）を G ビズ ID 内で付番する。なお、個人事業主管理番号は飽くまで G ビズ ID 内の管理番号であり、ユーザには当該番号を表示しない。

※G ビズ ID プライム及び G ビズ ID メンバーについては、2 要素認証を行う必要があるため、アカウント ID（メールアドレス）及びパスワードの入力に加え、スマートフォンのアプリケーションにおけるボタン押下等、又は SMS ワンタイムパスワード認証が必要となる。

③ 認証結果を申請システム側に返す。

※認証結果を返した後、G ビズ ID は、申請経路の通信には関知しない。

④ 認証結果が正しい場合、ログインが成功する。

2.6. 保持するデータ項目

G ビズ ID において保有・管理するアカウント情報の項目は以下のとおり。アカウント種別に応じて、任意／必須の項目があり、必ずしもすべてのアカウントにおいてこれら情報は保有されない。

	項目	補足説明
基本情報	法人番号／個人事業主管理番号	法人の場合は必須 法人番号は半角数字 13 桁（10 進数） 個人事業主管理番号は半角英数字 8 桁（16 進数）
	法人名／屋号	法人番号から取得する（国税庁法人番号公表サイト）
	都道府県	法人番号から取得する（国税庁法人番号公表サイト）
	市区町村＋番地	法人番号から取得する（国税庁法人番号公表サイト）
	代表者名／個人事業主名	
	代表者名フリガナ／個人事業主名フリガナ	
	代表者生年月日	G ビズ ID プライムの場合は、審査項目となるため必須 ※生年月日が不明で登録されている利用者は G ビズ ID では以下の通り登録される 年が不明な場合：1900 月が不明な場合：01 日が不明な場合：01
アカウント利用者情報	アカウント利用者氏名	G ビズ ID プライムの場合は、「アカウント利用者＝代表者」であるため、基本情報とアカウント利用者情報における氏名・フリガナ・生年月日が一致することとなる
	アカウント利用者氏名フリガナ	
	アカウント利用者生年月日	
	連絡先郵便番号	
	都道府県	基本情報からコピー可 コピーしない場合は選択式
	市区町村＋番地	基本情報からコピー可
	マンション名等	基本情報からコピー可
	会社部署名／部署名	
	SMS 受信用電話番号	2 要素認証用（G ビズ ID プライム及び G ビズ ID メンバーのみ）
	連絡先電話番号	
	アカウント ID（メールアドレス）	
	パスワード	
	アカウント管理番号	ユーザを一意に識別するための内部的な ID 桁数不定（10 進数）

※G ビズ ID メンバーは、代表者（G ビズ ID プライム）に紐付くアカウントであり、当該代表者の「基本情報」を受け継ぐ。

※UserInfo で取得できる項目の詳細は 3.4.1 OpenID Connect について参照のこと。

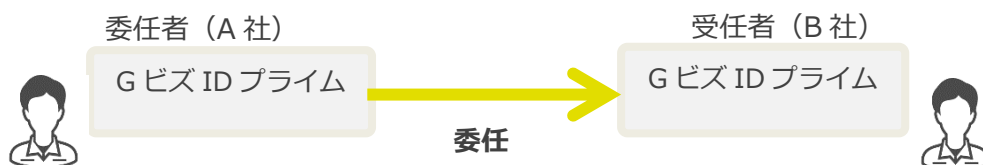
※G ビズ ID が保持している情報以外で、利用システム側が必要とする情報は、別途利用システム側で保持する必要がある。

※G ビズ ID の文字コードは JIS X 0213:2012。

2.7. 委任について

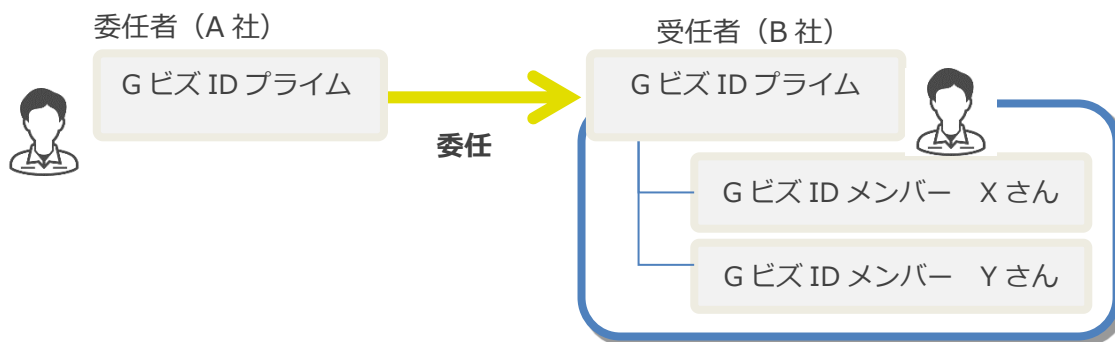
2.7.1. 別事業者との委任について

G ビズ ID では、電子化された行政手続きの申請時に代行事業者等による代理申請ができるよう、委任関係を管理する機能を有する。委任関係については、委任者企業と受任者企業の G ビズ ID プライムアカウントを指定して登録する。(G ビズ ID プライムアカウント以外のアカウントでは、委任関係は結べない。)



また、受任者企業の G ビズ ID プライムに紐づく G ビズ ID メンバーアカウントは、委任者企業 A 社の申請が可能。

※委任関係は基本的に委任者・受任者両者が G ビズ ID プライムを作成した上で登録を行うが、委任者についてはアカウントがない状態で受任者に委任することも可能。その場合、申請書ベースでの申請となる。



2.7.2. メンバーへの委任について

G ビズ ID では、G ビズ ID プライムが配下の G ビズ ID メンバーに対して、どの申請システムに申請ができるかを設定できる機能を有する (G ビズ ID メンバー (管理者) が設定を代行することも可能)。

ログインした G ビズ ID メンバーが申請可能なシステムは UserInfo にて取得する。

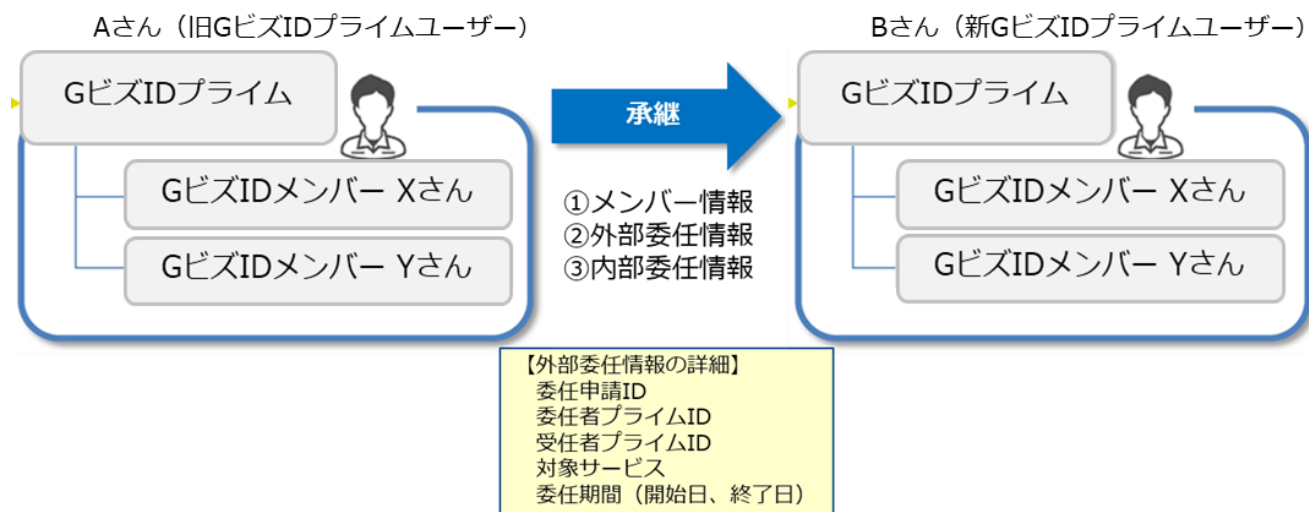


2.8. プライム承継機能

2.8.1. プライム承継機能について

G ビズ ID では、G ビズ ID プライムが変更になった場合に、旧 G ビズ ID プライムに紐づく各種情報を新 G ビズ ID プライムに承継する機能を有する。

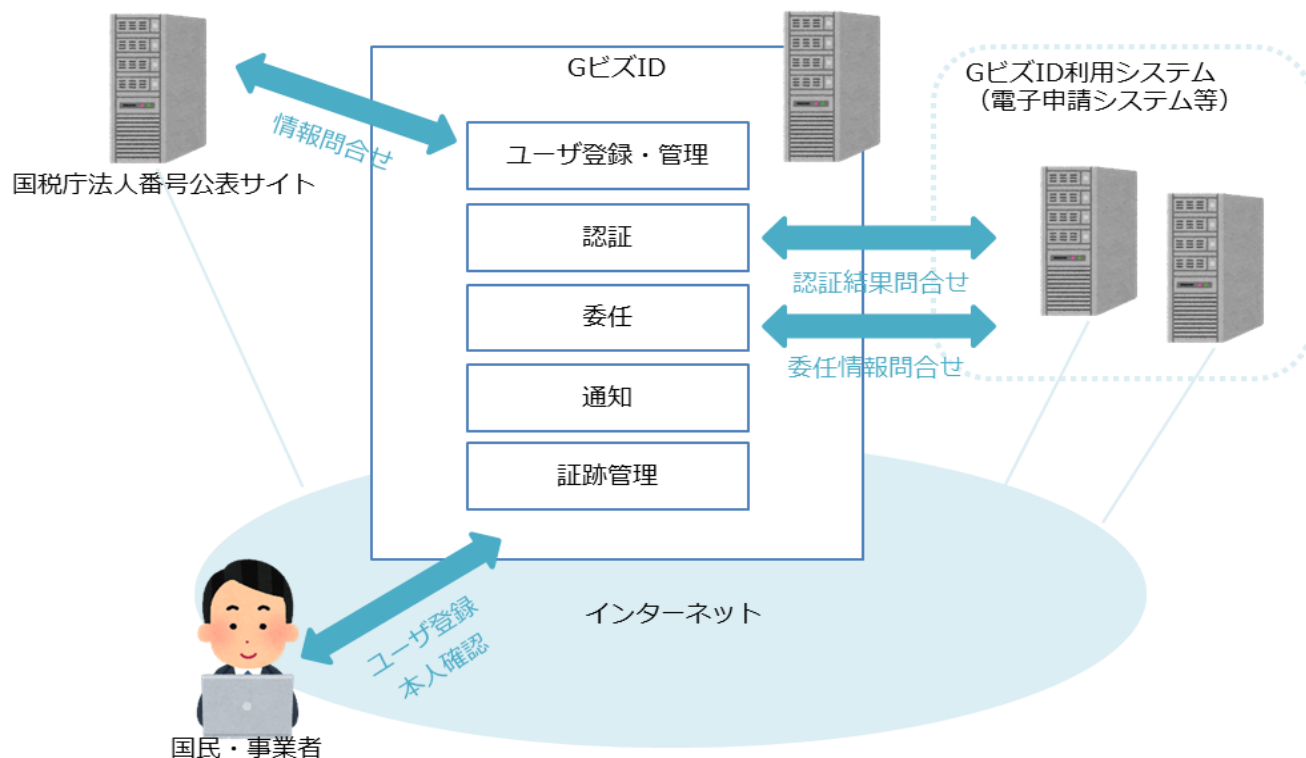
- ・旧 G ビズ ID プライムに紐づく情報を引き継ぐ。(委任・受任関係およびメンバーの引き継ぎ)
- ・承継元の旧 G ビズ ID プライムアカウントの無効化または継続かの選択が可能。



3. 提供機能

3.1. システム機能概要

G ビズ ID のシステム概略図を以下に示す。



主に以下の機能を提供する。

機能	内容
ユーザー登録・管理	・ G ビズ ID エントリー、G ビズ ID プライム及び G ビズ ID メンバーの各アカウントの登録機能、管理機能を提供する。
認証	・ 2 種類の認証方式を提供する。 (パスワード認証、パスワード認証 + 所有物認証) ・ 本人認証を行うための情報 (パスワード、所有物) を管理する。 ・ 認証結果を OpenID Connect にて利用システムに提供する。その際 UserInfo にて属性情報も提供する。
委任	・ G ビズ ID プライム同士で委任関係を結ぶための機能、管理機能を提供する。 ・ 委任結果を REST-API にて利用システムに提供する。
通知	・ アカウント登録などユーザ操作の各種タイミングで事前に登録したメールアドレス又は電話番号 (SMS) に必要な通知を行う。
証跡管理	・ G ビズ ID の証跡を取得し、管理する。

3.1.1. ユーザ登録・管理

以下機能を提供する。

機能			各機能を利用可能な ID		
			G ビズ ID エントリー	G ビズ ID プライム	G ビズ ID メンバー
登録		アカウントを作成する	○	○	○
自身のアカウント管理	プロフィール変更	自分のプロフィールを変更できる	○	○	○
	パスワード変更	自分のパスワードを変更できる	○	○	○
	メールアドレス変更	自分のメールアドレスを変更できる。 なお、G ビズ ID メンバーは G ビズ ID プライムの操作でのみ変更可能。	○	○	
	SMS 受信用電話番号変更	自分の SMS 受信用電話番号を変更できる		○	○
	G ビズ ID プライム変更申請	G ビズ ID エントリー側の操作で、G ビズ ID エントリーから G ビズ ID プライムに変更するための申請ができる	○		
	代表者情報変更申請	代表者情報の変更（改姓改名、代表者住所変更）ができる。 ※ 代表者住所変更は個人事業主のみ		○	
G ビズ ID メンバー管理	G ビズ ID メンバー管理	G ビズ ID メンバーを確認、登録、変更、退会することができる		○	△ (※)
	G ビズ ID エントリーからの変更	G ビズ ID エントリーを G ビズ ID メンバーに変更するための申請を、当該 G ビズ ID エントリー宛てにすることができる		○	△ (※)
	所属 G ビズ ID エントリー一覧	自組織（法人番号で判別）に所属する G ビズ ID エントリーを一覧で参照することができる。アカウント種別が「個人事業主」の場合はこの機能はない。		○	△ (※)

※管理者権限を持つ G ビズ ID メンバーは G ビズ ID プライム同様に利用可能。ただし管理下にある G ビズ ID メンバーのみ管理可能。

詳細はマイページ操作マニュアルの 1.3. 操作一覧を参照のこと。

3.1.2. 認証

以下 2 種類の認証方式を提供する。

認証方式	内容	対象アカウント
単要素認証	パスワード認証方式	G ビズ ID エントリー
2 要素認証	パスワード認証 + 所有物認証方式	G ビズ ID プライム G ビズ ID メンバー

3.1.2.1 パスワードポリシー

パスワードポリシーは以下のとおり。

- ・利用可能文字は半角英数記号。
- ・ブランクを許容する。（パスフレーズを許容する。「My name is YamadaTarou@」など）
- ・複数文字種は求めない。
- ・長さは 8 桁以上。システム的には 100 桁まで入力可能。
- ・G ビズ ID において設定される「NG ワード」と一致するパスワードの設定は不可。
（「password1」「1qaz2wsx」など）
- ・パスワードリセットのためのヒント情報（例：『飼っているペットの名前は？』など）は持たない。
- ・定期的な変更は求めない。

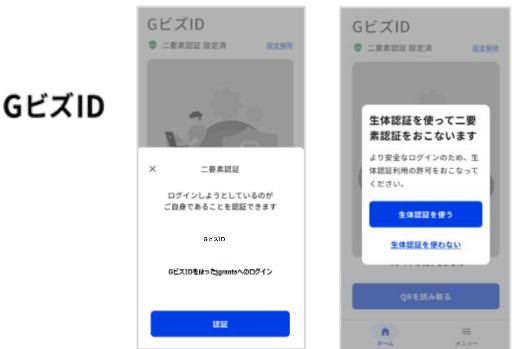
また、アカウント ID/パスワードによる認証を 10 回連続で失敗することにより、パスワードロックがかかる。この場合、自身でのパスワードリセットによる解除が必要となる。

3.1.2.2 所有物認証

以下の 2 種類の所有物認証機能を提供する。G ビズ ID プライム及び G ビズ ID メンバーは、2 要素認証により利用しなければならず、単要素認証による利用は不可。

初回はワンタイムパスワード認証を実施する必要があるが、以降はスマホアプリの利用を推奨する。
(ガラケーなどスマホアプリの利用ができない場合はワンタイムパスワード認証を継続利用する。)

なお、2025 年 12 月を目途に G ビズ ID 本番環境におけるワンタイムパスワード認証は廃止予定のため、スマホアプリ認証の切り替えを推奨する。

スマホアプリ認証	ワンタイムパスワード認証
ボタン認証の場合 指紋認証の場合  G Biz ID	 SMS にて受信 ワンタイムパスワード : (例)123456
・アカウント登録後、マイページからスマホアプリのダウンロードが可能。 ・スマホアプリ登録後は、パスワード認証後、スマホアプリで認証行為を行うことで、指紋認証又は顔認証（機種や設定により異なる）をしてログイン。 ・アプリケーションは、iPhone 及び Andorid 端末に対して提供する。iPhone のうち、TouchID や FaceID に対応している端末の場合には、指紋認証や顔認証を利用することができる。 ・また、iOS の生体認証（TouchID/FaceID）が失敗した場合は以下のとおりとなる。 －PIN 認証が有効な場合：PIN 認証画面を表示 －PIN 認証が無効な場合：ボタン認証画面を表示	・登録時に登録した SMS 受信用電話番号に、SMS にてワンタイムパスワード（6 桁数字）を送信する。 ・利用者はそのワンタイムパスワードを Web 画面上で入力することでログインできる。 ・ワンタイムパスワードの有効期限は 1 時間。 ・SMS 送信数の上限は 1 日あたり同一番号に対して 5 0 通。

<その他>

・いずれの場合も、Cookie による端末確認を行う。未使用利用端末（新しい端末）からアクセス・ログインした場合、利用者に対しメールによるログイン通知を行う。

3.1.2.3 認証結果の提供

OpenID Connect の Authorization Code Flow の標準に従い提供する。

詳細は「3.4.1 OpenID Connect について」を参照のこと。

3.1.3. 委任

以下の機能を提供する。

機能			各機能を利用可能な ID		
			G ビズ ID エン トリー	G ビズ ID プライ ム	G ビズ ID メンバ ー
委任/受任	委任先一覧・委任申請	G ビズ ID プライムが、委任先の管理、及び委任の申請ができる。	-	○	-
	受任	別の G ビズ ID プライムアカウントから依頼された委任申請について、受任の承認や、受任情報の確認等を行うことができる。ただし、G ビズ ID メンバーは一覧確認のみを行うことができ、承認/否認などの操作は行えない。	-	○	○ (一部)

3.1.3.1 委任結果の提供

受任情報を確認できる REST-API で提供する。

詳細は「3.4.2 委任情報取得 API について」を参照のこと。

3.1.4. 通知

各種ユーザ操作のタイミングで、以下のようなメール又は SMS を利用者に送信する。
ユーザは、送信されたメール等の内容に応じて、所要のアクションを行う必要がある。

3.1.4.1 メール通知

(メール通知文面の例① : G ビズ ID プライムアカウント登録完了時)

From: support@gbiz-id.go.jp

To: <G ビズ ID プライムとして登録した方のメールアドレス>

Title: 【G ビズ ID】アカウント登録完了のお知らせ

sample

山田 太郎 様

こちらは G ビズ ID です。

G ビズ ID プライムアカウントの登録が完了しました。

アカウント ID : yamada.tarou@example.co.jp

※本メールは自動送信されています。このメールに返信いただいても回答できません。あらかじめご了承ください。

G ビズ ID

<https://gbiz-id.go.jp>

(c) 2019 Digital Agency, Government of Japan.

(メール通知文面の例② : G ビズ ID エントリーアカウント登録時のメールベリファイとして送信)

From: support@gbiz-id.go.jp

To: <メールアドレス登録画面にて入力したメールアドレス>

Title: 【G ビズ ID】アカウント情報登録手続き URL のお知らせ

sample

※アカウント登録手続きはまだ完了していません。※

こちらは G ビズ ID です。

以下の URL より、アカウント情報を登録してください。

URL : <※アカウント登録用の URL を記載>

有効期限 : <※有効期限を記載>

※上記 URL は 1 度しかご利用いただけません。

※有効期限を過ぎた場合、「アカウント新規登録」画面から再度手続きを行ってください。

※本メールは自動送信されています。このメールに返信いただいても回答できませんので、あらかじめご了承ください。

G ビズ ID

<https://gbiz-id.go.jp>

(c) 2019, Digital Agency ,Government of Japan.

このほかの主なメール通知タイミングは以下のとおり。

- ・アカウント登録・変更中（ログイン用 URL 通知等）
- ・パスワードリセット
- ・一度もログインしたことのない端末からログインがあったとき
- ・委任/受任の登録中（受任の依頼があった/委任が承認された）
- ・G ビズ ID メンバーへの承認通知

3.1.4.2 SMS 通知

（SMS 通知文面）

To: <対象のアカウントの SMS 受信用電話番号>

GビズID

sample

ワンタイムパスワード： <※6 桁の数字が記載>

上記のワンタイムパスワードが通知される主なタイミングは以下のとおり。

- ・2 要素認証用のワンタイムパスワードを通知する場合
- ・G ビズ ID プライム又はメンバーアカウントのメールアドレス（アカウント ID）や SMS 受信用電話番号を変更する場合
- ・G ビズ ID プライムアカウント登録時
- ・G ビズ ID エントリーアカウントを G ビズ ID メンバーアカウントに変更する場合

SMS 通知には送信数の上限（1 日あたり同一電話番号に対する送信数は 50 通）があるため、上限を超えるとエラーが発生する。エラーが発生した場合は 1 日経過すると SMS が通知されるようになる。

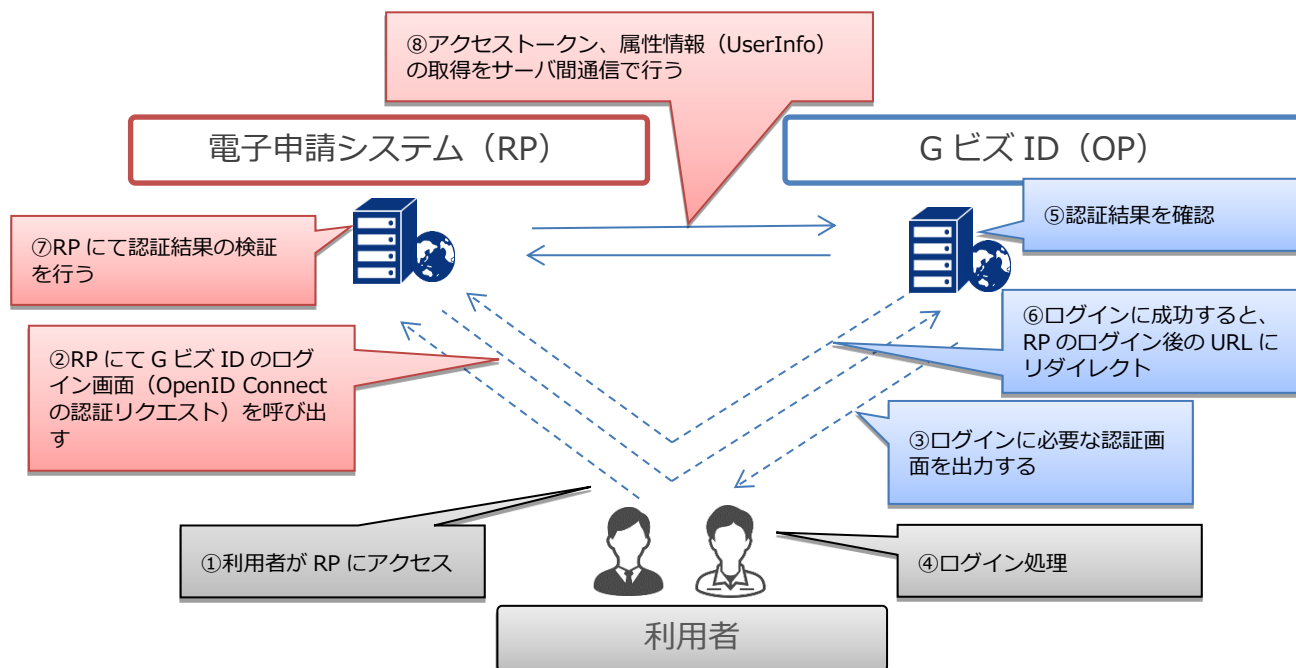
3.1.5. 証跡機能

ログイン履歴などの各種証跡ログを取得。提供については G ビズアカウント担当と調整のこと。

3.2. RP 設計のポイント

RP（電子申請システム）設計時の設計ポイントについて以下にまとめる。

3.2.1. RP 経由でのログインに関する処理概要



No.	処理者	処理	説明
①	利用者	RP にアクセス	・利用者はまず RP にアクセスする ・RP は G ビズ ID にログインするボタンを配置すること。ボタンについては「3.2.5 ログインボタン配置ポリシー」参照のこと
②	RP	認証リクエスト	・ OpenID Connect の認証リクエストを呼び出す - 詳細については「3.4.1 OpenID Connect について」参照のこと
③	G ビズ ID	ログインに必要な認証画面を出力する	・ OpenID Connect フローに従い処理 ・ ID/パスワード画面を出力（2 要素が必要な場合、ID/パスワード入力後 2 要素目も求める） ・ 別 RP にログイン済みで G ビズ ID の認証 Cookie が有効な場合、シングルサインオンとなりこの処理はスキップされる
④	利用者	ログイン処理	・ G ビズ ID から出力された ID/パスワード画面に入力する（2 要素が必要な場合、そちらにも応える）
⑤	G ビズ ID	認証結果を確認	・ 認証結果を確認する
⑥	G ビズ ID	認証レスポンス	・ RP に認証レスポンスを返し、リダイレクトする ・ このタイミングで各種 Cookie を設置する - Cookie の種別とタイムアウトについては「3.2.6 Cookie およびトークンについて」参照のこと
⑦	RP	認証結果の検証	・ 認証レスポンスで受け取った内容を検証
⑧	RP	アクセストークン取得リクエスト、属性取得リクエスト	・ アクセストークン取得リクエストによりアクセストークンを取得し ID トークンを検証する ・ 必要に応じアクセストークンをもとに属性取得リクエストを実施、属性情報を取得する - 詳細については「3.4.1 OpenID Connect について」参照のこと

3.2.2. アカウント種別による制御

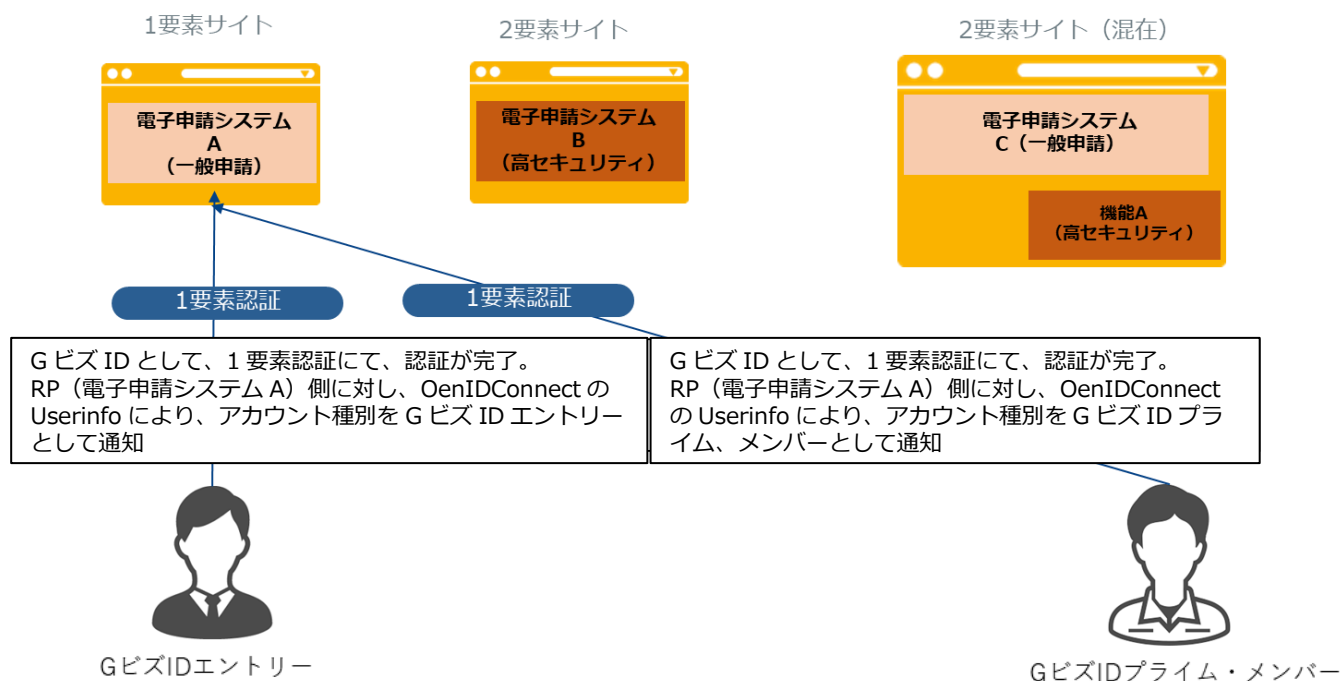
G ビズ ID では、アカウント種別に応じて 1 要素認証と、2 要素認証の 2 つのケースがある。ただし RP 側でいずれのアカウントでも 2 要素認証を行う必要がない場合、1 要素認証のみとすることも可能。
G ビズ ID に RP 登録する際、該当 RP が 1 要素認証のみとするサイトか、2 要素認証を必要とするサイトかを選択して登録する。サイト内で混在する場合は 2 要素サイトとして登録する。
(混在とは、サイト内に 1 要素だけで対応できるメニューと 2 要素を必要とするメニューが混在する場合のこと。)

◆実装のポイント：

アカウント種別に応じた処理の制御が必要な場合、OpenIDConnect の Useinfo にて返却されるアカウント種別を参照し、それに応じた処理を RP 側で実装する必要がある。

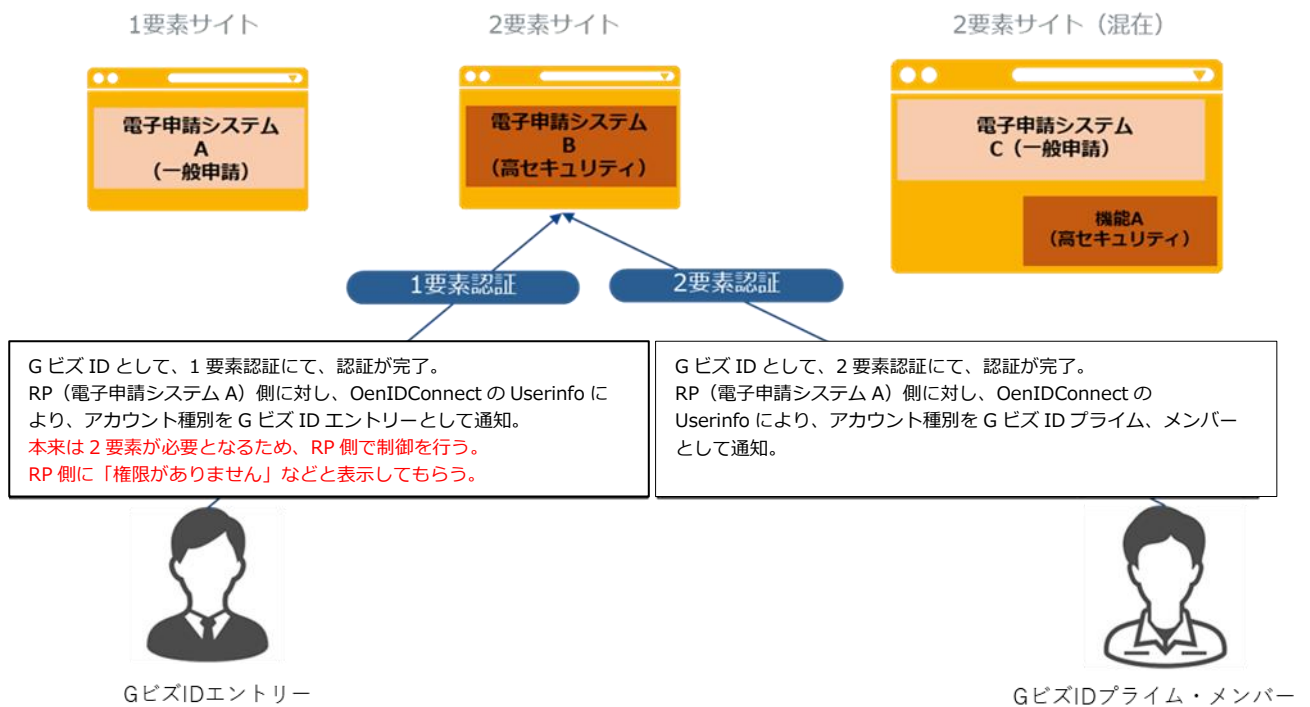
具体的には、2 要素認証を必要とするサイトでは、アカウント種別が G ビズ ID エントリーで認証成功となっても RP 側でエラーとするよう実装する必要がある。

1要素認証サイト



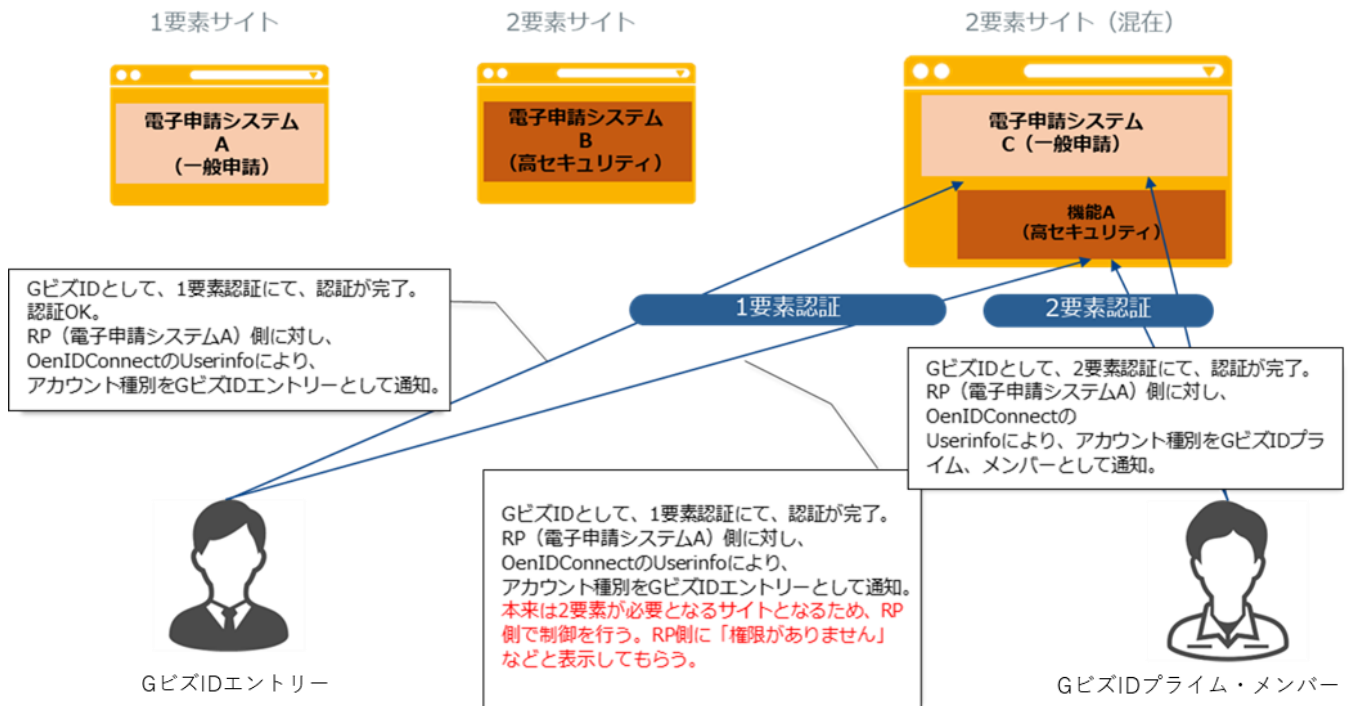
2要素認証サイト

2要素サイト（電子申請システムB）については、アカウント種別がGビズIDエントリーである場合、RP側でエラーとするよう実装いただく必要がある。

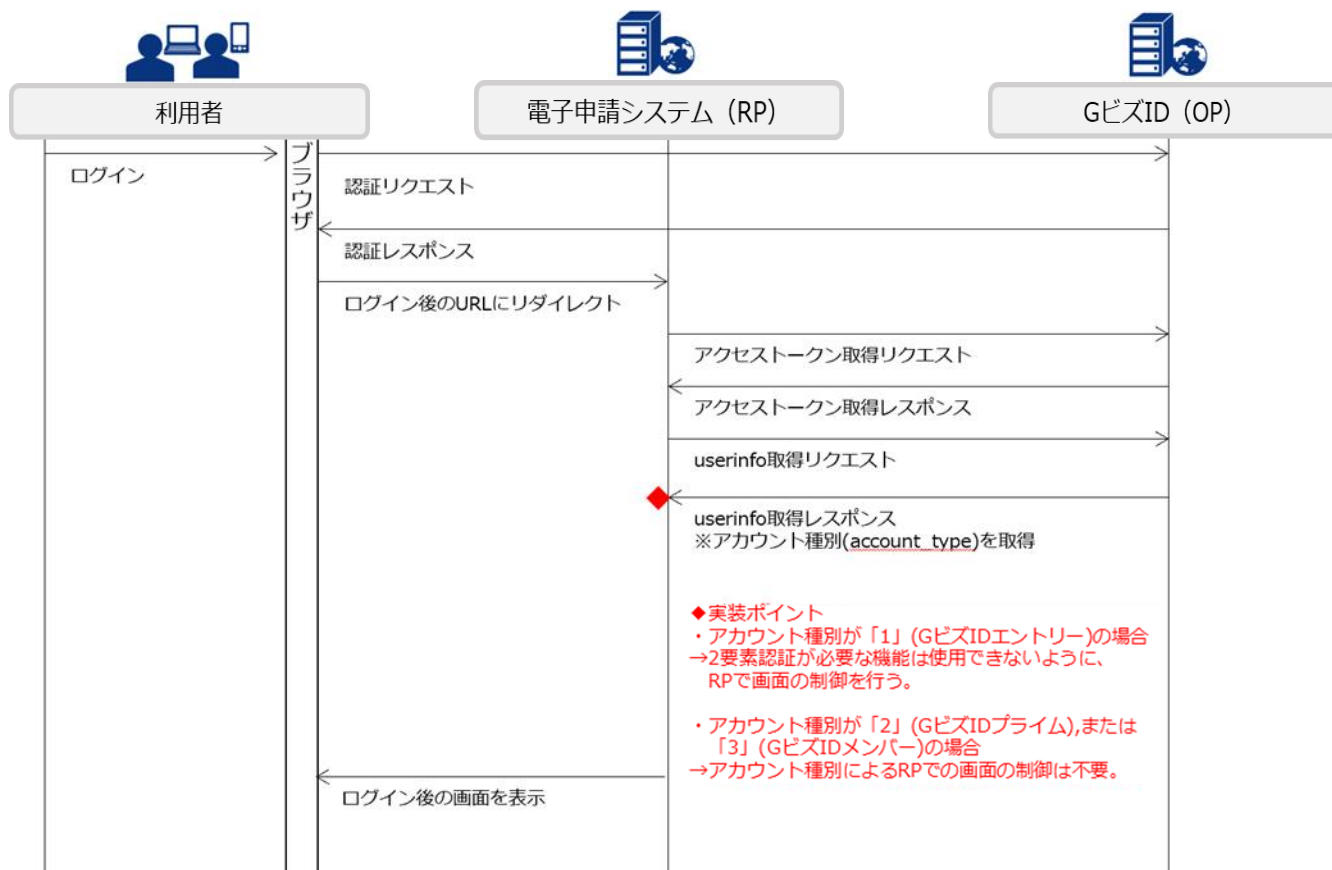


2要素認証サイト（混在：1つのRPで、高レベル申請と一般申請を受け付ける場合）

2要素サイト（混在）（電子申請システムC）について、2要素を必要とする機能Aを利用する際、アカウント種別がGビズIDエントリーである場合は、RP側でエラーとするよう実装いただく必要がある。



アカウント制御フロー（2要素認証サイトの場合）



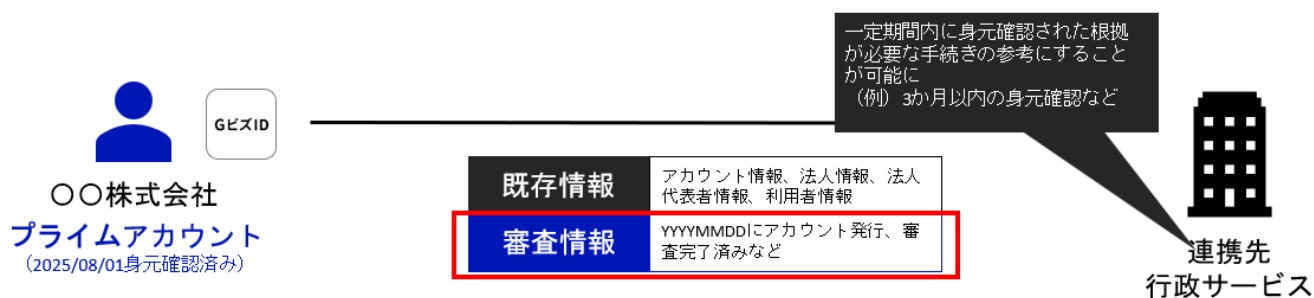
3.2.3. 審査情報による制御

G ビズ ID では、アカウント発行時や、法人情報および代表者情報の更新等のタイミングで適宜身元確認の審査を実施し、その審査情報を保持する。

RP では、アカウントの審査プロセスの種類、および審査日の情報を使用し、審査の最新性を確認する業務への対応を実装することが可能となる。

◆実装のポイント：

審査情報に応じた処理の制御が必要な場合、OpenIDConnect の Userinfo にて返却される審査情報に含まれる審査プロセス種類、および審査日時の情報を参照し、それに応じた処理を RP 側で実装する必要がある。例えば、3 か月以内に本人確認をしている場合は申請を許可するといった判定を行う場合、userinfo にて返却される審査情報内の審査日時が処理当日から 3 か月以内であることをチェックすることにより、判定が可能となる。



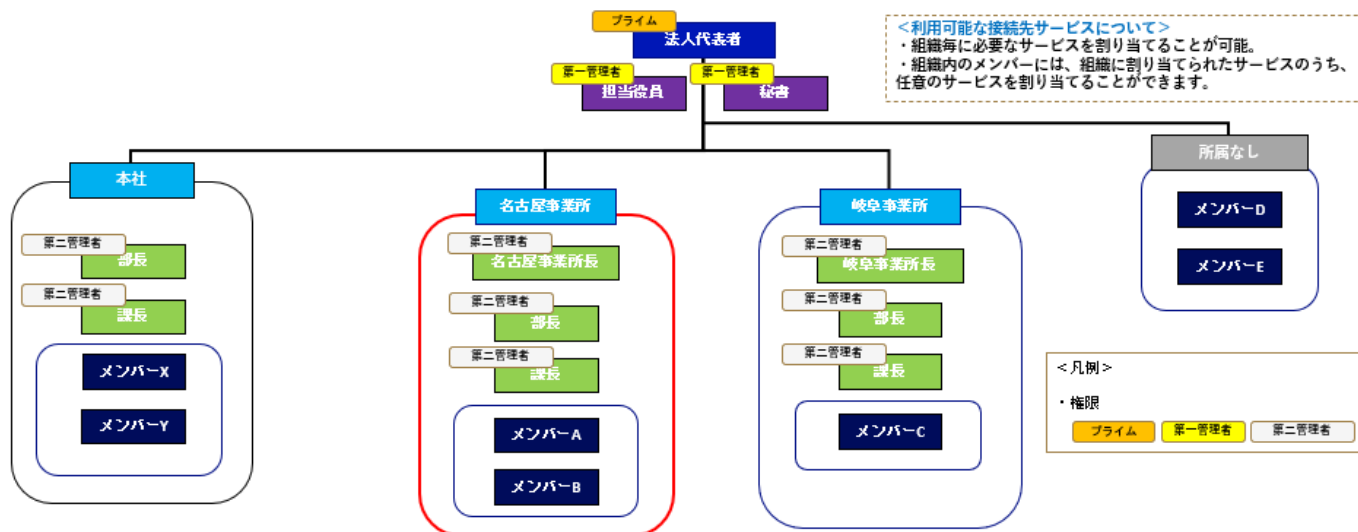
上記で示した審査情報として G ビズ ID が保持、返却する情報は審査方法により異なる。以下の表に返却される審査情報、審査済み属性情報を示す。

対象アカウント	レベル	審査方法	返却情報	
			審査情報	審査済み属性情報
G ビズ ID プライム	IAL2	法人(書類郵送申請)	審査方法を表す固定値	氏名
		法人(オンライン申請)	審査日時	生年月日
		法人(ワンストップサービス経由)		法人番号
		個人事業主(書類郵送申請)		氏名
		個人事業主(オンライン申請)		生年月日
G ビズ ID メンバー	IAL2	組織内認証(法人、個人)		住所
G ビズ ID エントリー	IAL1		なし	法人番号(法人のみ)
				なし

審査情報を表す固定値は “jp_gbizid_document_corporation” (法人(書類郵送申請)の場合)のように、審査方法の違いを表す文字列となる。個々の値については 審査プロセスを示す固定値に一覧を記載している。

3.2.4. 組織情報による制御

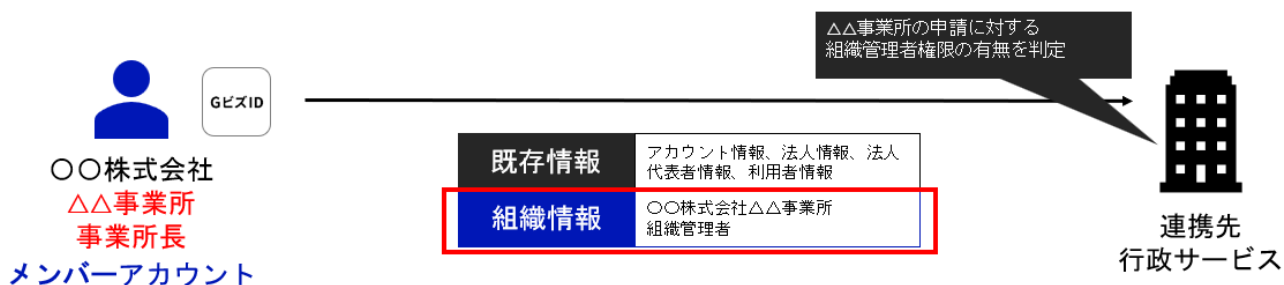
G ビズ ID では、G ビズ ID メンバーアカウントの所属する組織情報（支店、事業所等のユーザの所属する組織や権限に関する情報）を保持している。これにより組織情報に基づいた事業所別の申請などが可能となる。



◆実装のポイント：

組織情報に応じた処理の制御が必要な場合、OpenIDConnect の Userinfo にて返却される組織情報に含まれる階層化された組織名称および、組織権限の情報を参照し、それに応じた処理を RP 側で実装する必要がある。

例えば、ある事業所の労務担当者がメンバーアカウントで申請手続きをするためサービスにログインした場合、RP は Userinfo から取得した組織情報を用いて、当該アカウントが「名古屋事業所」の所属かつ、管理者であることを判別し、事業所情報を入力補助として使用することや、所属組織によって処理を振り分けることが可能となる。



➤ 組織情報利用上の注意点

アカウントの組織、権限種別は固定ではなく、利用者によって設定が可能なものである。そのため、利用タイミングによって組織と権限種別が変更される可能性がある。組織と権限種別を利用する場合は、取得した最新の情報を使用すること。

3.2.5. ログインボタン配置ポリシー

各 RP においては、以下それぞれ定めるところによりデザインし、ログインボタンを設置するものとする。

➤ 遵守事項

- ・ G ビズ ID の ロゴカラー（※1）又は ボタンカラー（※2）を基調とすること。
※1 文字の色：#1A1A1C、地の色：#FFFFFF
※2 文字の色：#0017C1、地の色：#FFFFFF 又は 文字の色：#FFFFFF、地の色：#0017C1
- ・ 「G ビズ ID」及び「ログイン」という2つのワードを使用すること。

➤ 推奨事項

- ・ アイコンを使用する。

➤ その他自由設定事項

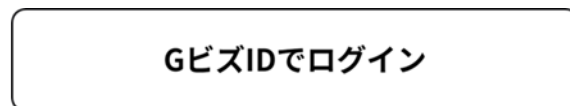
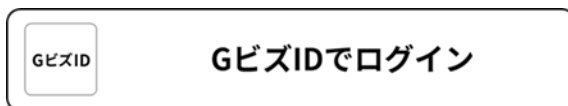
- ・ フォント、フォントサイズ
- ・ 文字、アイコン等の配置



アイコン

➤ ログインボタンのデザイン（あくまで例であり、これらに限るものではない。）

- ・ ロゴカラーのイメージ



- ・ ボタンカラーのイメージ



(参考)

各行政サービス（RP）におけるログイン画面では、上述のポリシーに従うログインボタンのほか、アカウントを保有していない者に対して『アカウント取得を誘導するルート』が必要となる。左記については、いくつかのパターンが考えられ、その例を以下に示す。

(※下図の画面はイメージ)

①RP側では「アカウント取得」などのボタンを設置しないパターン



①RP側で「アカウント取得」ボタンを設置するパターン



3.2.6. Cookie およびトークンについて

項目	説明	タイムアウト時間
ログインセッションCookie	G ビズ ID へのログイン状態を維持する Cookie。 有効な場合、ブラウザを閉じる前であれば、ID、PWの入力を省略してログインが可能となる。 ブラウザを閉じた後も、1要素または2要素Cookieが有効期限内であればログインセッションCookieが生成される。	ブラウザを閉じるまで
1要素認証Cookie	ID、PW での認証が済であることを保持する Cookie。 有効な場合、ブラウザを閉じた後も、ID、PWの入力を省略してログインが可能となる。	8時間
2要素認証Cookie	OTP またはアプリによる認証が済であることを保持する Cookie。 有効な場合、2要素目の認証が省略される。	3時間
端末Cookie	初めて利用する端末（ブラウザ）かどうか判別するための Cookie。 初めて利用する端末（ブラウザ）でログインするときには、メール通知が行われる。※	10年
アクセストークン	userinfoの取得に使用する。	1時間
IDトークン	認証と認可の情報を含むトークン。	10分
リフレッシュトークン	アクセストークンの再取得に使用する。	30日

※ブラウザのCookieが維持できない環境下では、ログインの都度メール通知が行われる可能性がある。

3.2.7. 再認証要求

G ビズ ID では、OpenID Connect 標準の Authorization Code Flow に準拠したシングルサインオン機能を提供している。1 度認証を行えば（SSO 認証）、その SSO 認証情報（ログインセッション Cookie）が有効である限り、ユーザは RP 毎に ID/パスワード入力を求められることなく、各 RP が提供する Web サービスを利用できる。

一方、RP 側からの要件として「たとえユーザの SSO 認証が完了している場合であっても、重要なサイトへのアクセスについては再度ユーザの認証（再認証）を行いたい」といったケースや、「共有 PC などでのログアウトし忘れたまま離席した際に、当該マシンを第三者に悪用されるリスクを排除したい」といったケースがある。このようなケースに対応するために、OpenID Connect 標準ではユーザ認証を RP 側から明示的に要求する方法が規定されている（以下、この方法を「再認証要求」と呼ぶ）。

3.2.7.1 再認証の要求

G ビズ ID では、OpenID Connect 標準に準拠した下記 2 つのパラメータを実装している。明示的な再認証を要求する場合、RP は通常の認可リクエストに下記 2 つのパラメータを追加する。

(1) prompt パラメータ

RP から通常の認可リクエストを受信した際、ユーザの SSO 認証情報が有効であれば、G ビズ ID はユーザへのログイン画面表示は行わない。しかし、認可リクエストの prompt パラメータに値 login が設定されている場合は（prompt=login）、ユーザの再認証が明示的に要求されていると判断し、たとえ当該ユーザの SSO 認証情報が有効であってもログイン画面を表示し、ユーザに対して再度認証を行うよう促す。

(2) login_hint パラメータ

認可リクエストの中で login_hint パラメータが設定されている場合、G ビズ ID はログイン画面を表示する際の ID 情報の初期値として、当該パラメータに設定された値を表示する。本パラメータに G ビズ ID のアカウント ID（メールアドレス）を設定すれば、再認証時のユーザ利便性を高めることができる。

3.2.7.2 再認証の検証

再認証の実施結果として ID トークンを受信した RP は、ID トークンの検証を行わなければならない。このとき、再認証の実施結果にかかる下記 2 点についても合わせて確認する必要がある。

(1) ユーザ同一性の確認

ログアウトし忘れた共有 PC を第三者に悪用されるリスクに対する対策として再認証を利用するケースでは、再認証の前後の ID トークンに含まれる iss クレーム（ID トークンの発行者）と sub クレーム（ユーザ識別子）をそれぞれ比較することによって同一ユーザによる再認証であることを確認する。これにより、別ユーザによる再認証の突破を防止することができる。

(2) 再認証の実施確認

RP からの認可リクエストはブラウザ経由のリダイレクトにより G ビズ ID へ到達するため、厳密に言えば、認可リクエストのパラメータはブラウザ操作者によって改ざん・追加・削除することができる。もし、prompt=login パラメータが削除されてしまうと、G ビズ ID 側で再認証が行われず、RP もそれに気づくことができない。

ID トークンに含まれる auth_time クレームは、このような再認証の回避を防止するために利用される。auth_time クレームにはユーザ認証時刻の UNIX タイムスタンプが設定されるため、再認証要求後に取得した ID トークンをチェックした際に、auth_time の値が妥当な範囲で現在時刻に近い時刻である（もしくは、再認証要求の送信時刻よりも後である）ことをもって、RP は確実に再認証が行われたことを確認ができる。

3.3. RP 実装のポイント

3.3.1. 認証・認可に関する処理概要

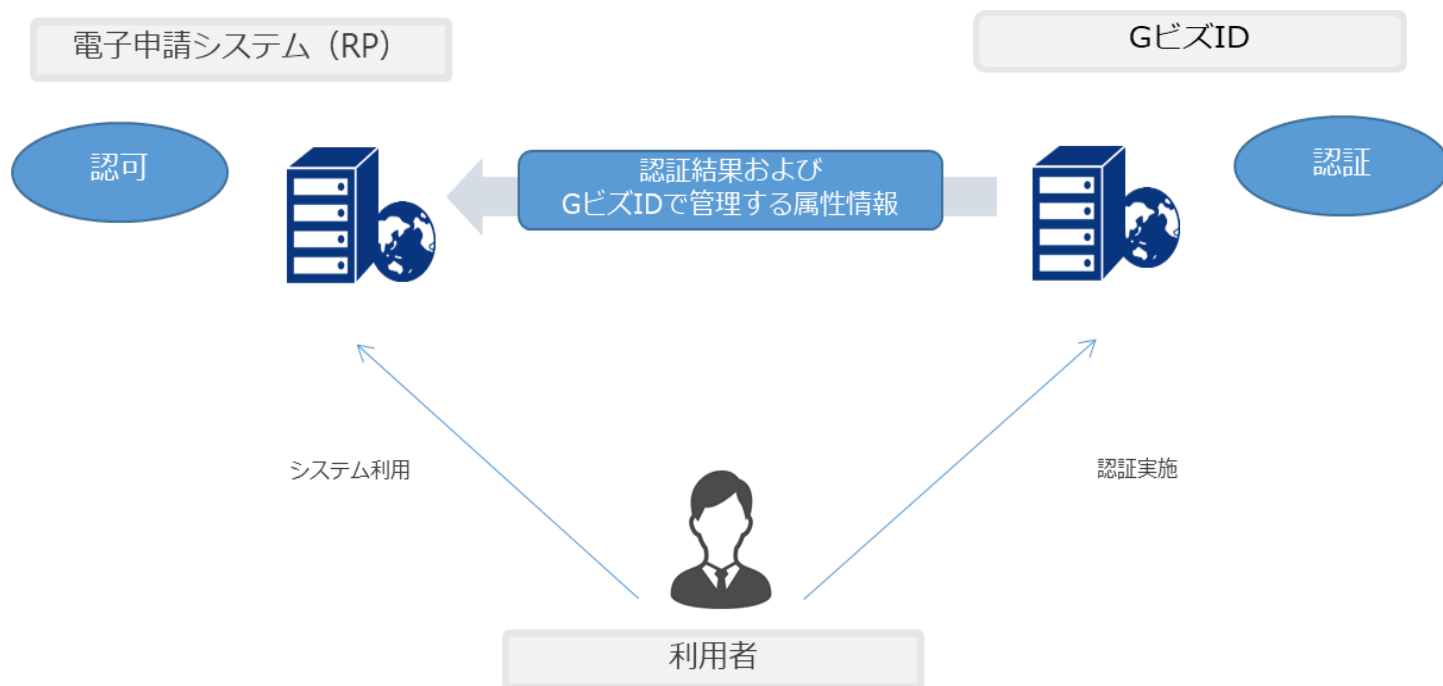
GビズIDでは、利用者に対する認証を行う。

GビズIDから、電子申請システムに対しては、認証の結果およびGビズIDで管理する情報を返却する。

電子申請システムでは、連携された情報をもとに、利用者に対する認可を行うこと。

（該当の利用者が利用できる機能などを制御する必要がある。）

認可に関する実装については、RP側で検討する必要がある。



参考：認証と認可の違い

処理者	説明
認証 (Authentication)	相手が（何）であるか確認・特定すること
認可 (Authorization)	特定の条件に対して、リソースアクセスの権限を与えること。

3.3.2. 認可実装時における電子申請システムでの制御例

RP側では、GビズIDから返却された情報をもとに認可の実装を行うこと。
認可の実装例を以下に示す。

項目	制御例	G ビズ ID から返却される情報	該当アカウント種別
アカウント種別による制御	G ビズ ID のアカウント種別により、RP 側にアクセスさせるか、否かを制御する アカウント種別例： G ビズ ID エントリー、G ビズ ID メンバー、G ビズ ID プライム 実装例： G ビズ ID エントリー等には利用させない システムの場合は、G ビズ ID エントリー種別である際に、RP へのアクセスを不可とする実装を行う。	属性取得リクエストにより返却される userinfo 情報のアカウント種別により 確認(UserInfo.profile.account_type)	・ G ビズ ID エントリー ・ G ビズ ID メンバー ・ G ビズ ID プライム
G ビズ ID プライムにより許可されたサービス内容による制御	G ビズ ID で保持する「G ビズ ID プライムにより許可されたサービスであるかどうか」の情報により、RP 側にアクセスさせるか、否かを制御する。(※)	属性取得リクエストにより返却される userinfo 情報の利用可能なサービス情報 (mandate) により確認 (UserInfo.mandate.mandate_info.client_id)	・ G ビズ ID メンバー
他社から委任により許可されたサービス内容に関する制御	G ビズ ID で保持する「委任者から許可されたサービスであるかどうか」の情報により、RP 側にアクセスさせるか、否かを制御する。	委任情報取得 API で送られる情報により 確認(委任 API RES:system_cd)	・ G ビズ ID メンバー ・ G ビズ ID プライム

※ 管理者権限を持つGビズIDメンバーからも許可できるが、「GビズIDプライムにより許可されたサービスであるかどうか」の情報は保持される。

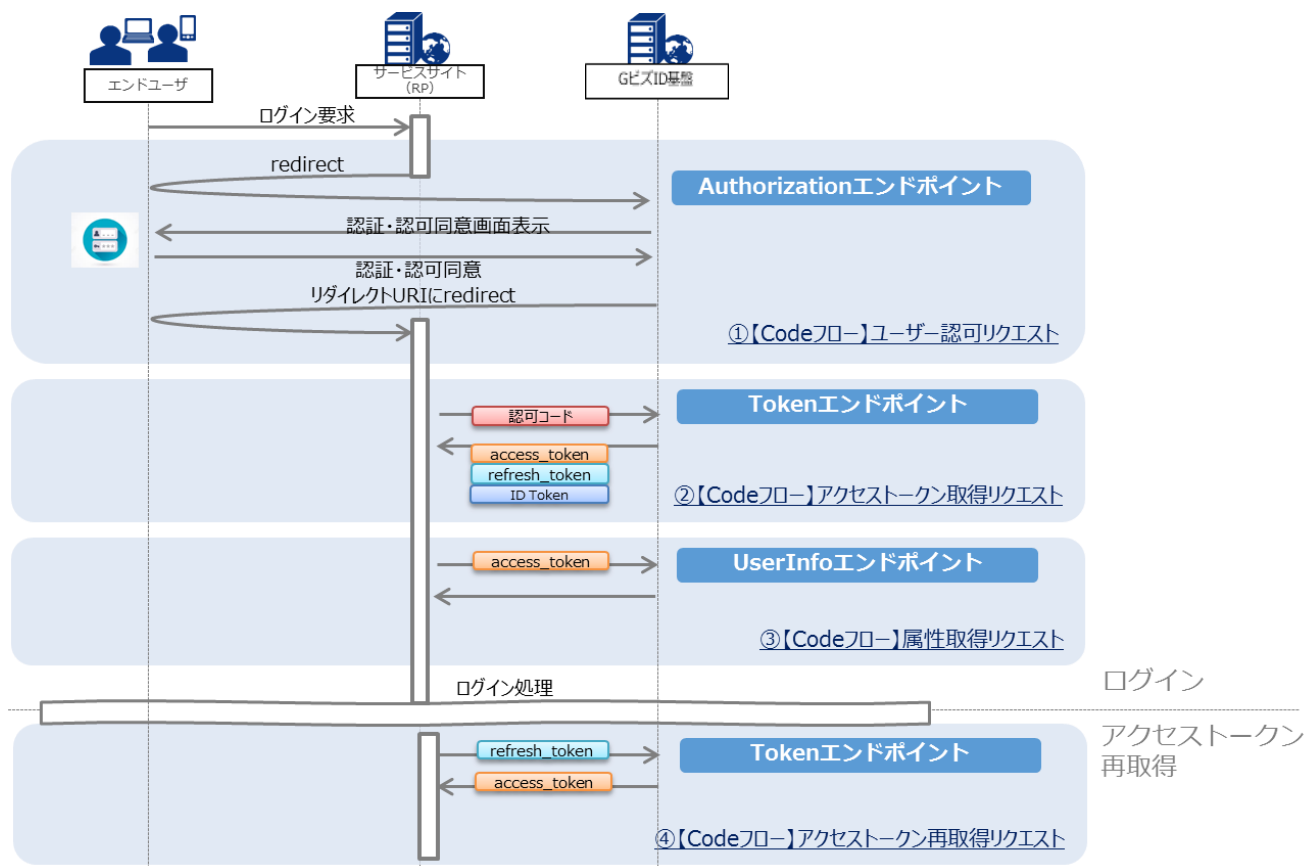
3.4. API 詳細

3.4.1. OpenID Connect について

G ビズ ID は、OAuth 2.0 (RFC6749)をベースとするアイデンティティ連携プロトコル「OpenID Connect(<https://openid.net/connect/>)」の Authorization Code Flow に準拠した OpenID Provider(OP)である。

3.4.1.1 全体シーケンス

OpenID Connect に関する用語は以下の通り。



用語	説明
OpenID Provider (OP)	ユーザの認証を行う機能を有するサーバ。また、ユーザの認証時に Relying Party から要求されたアイデンティティ情報を供給することができる REST エンドポイントを有するサーバ。 ※G ビズ ID のこと。
Relying Party (RP)	OpenID Provider に ID Token とアイデンティティ情報を要求するサーバ。シングルサインオン対象のアプリケーションを指す。 ※電子申請システムのこと。
ID Token	認証と認可の情報を含む JWT(JSON Web Token)形式のトークン。
Access Token	UserInfo エンドポイントにアクセスするためのトークン
UserInfo	Access Token を提示するクライアントに対して、各種属性情報等アイデンティティ情報を提供する。

(参考)

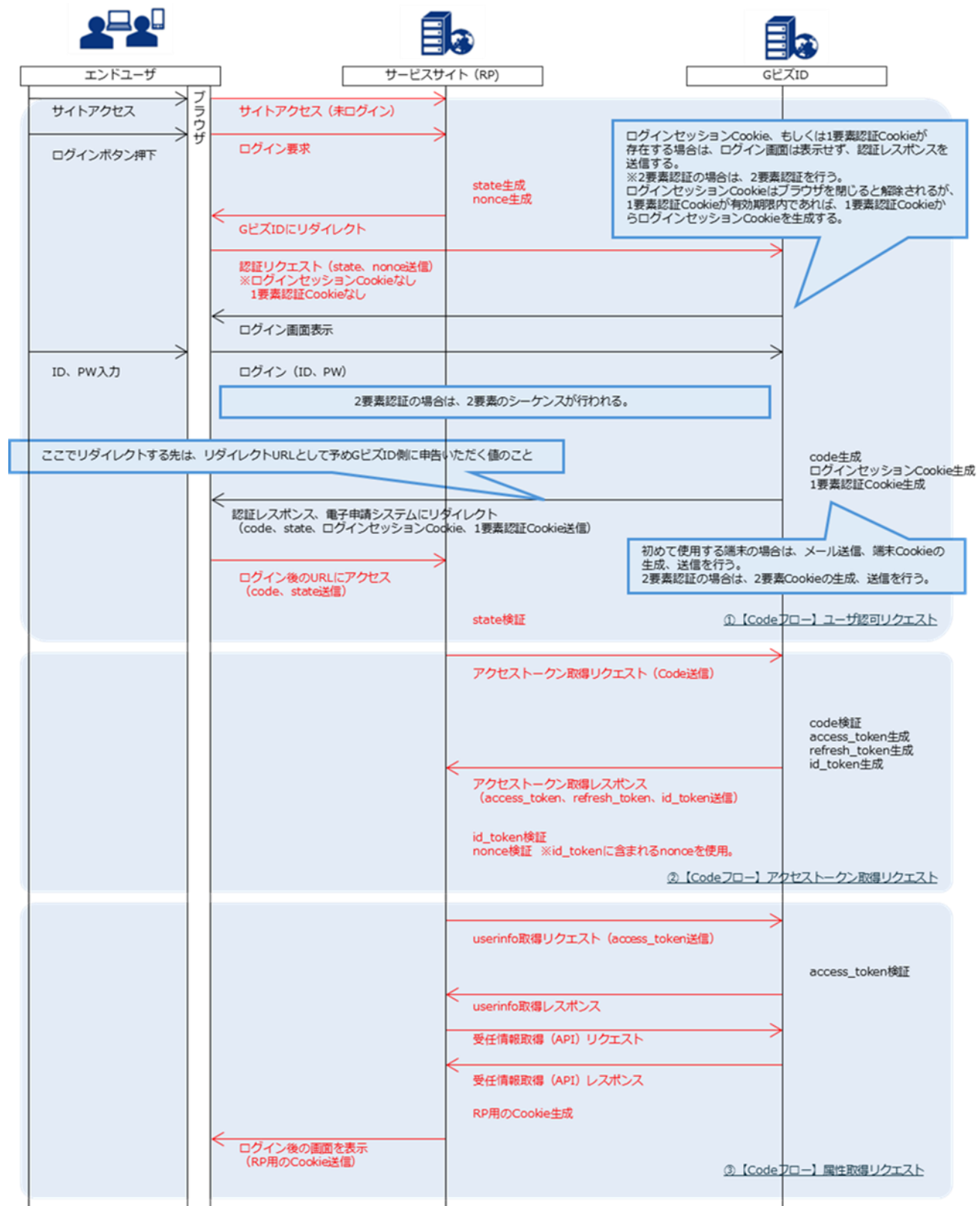
OpenID Connect の RP として、この認証プロセスを実装するにあたっては、OpenID Connect Foundation が認定したライブラリまたはサービスの採用を推奨する。

<https://openid.net/developers/certified/>

- Certified Relying Party Libraries
- Certified Relying Party Servers and Services

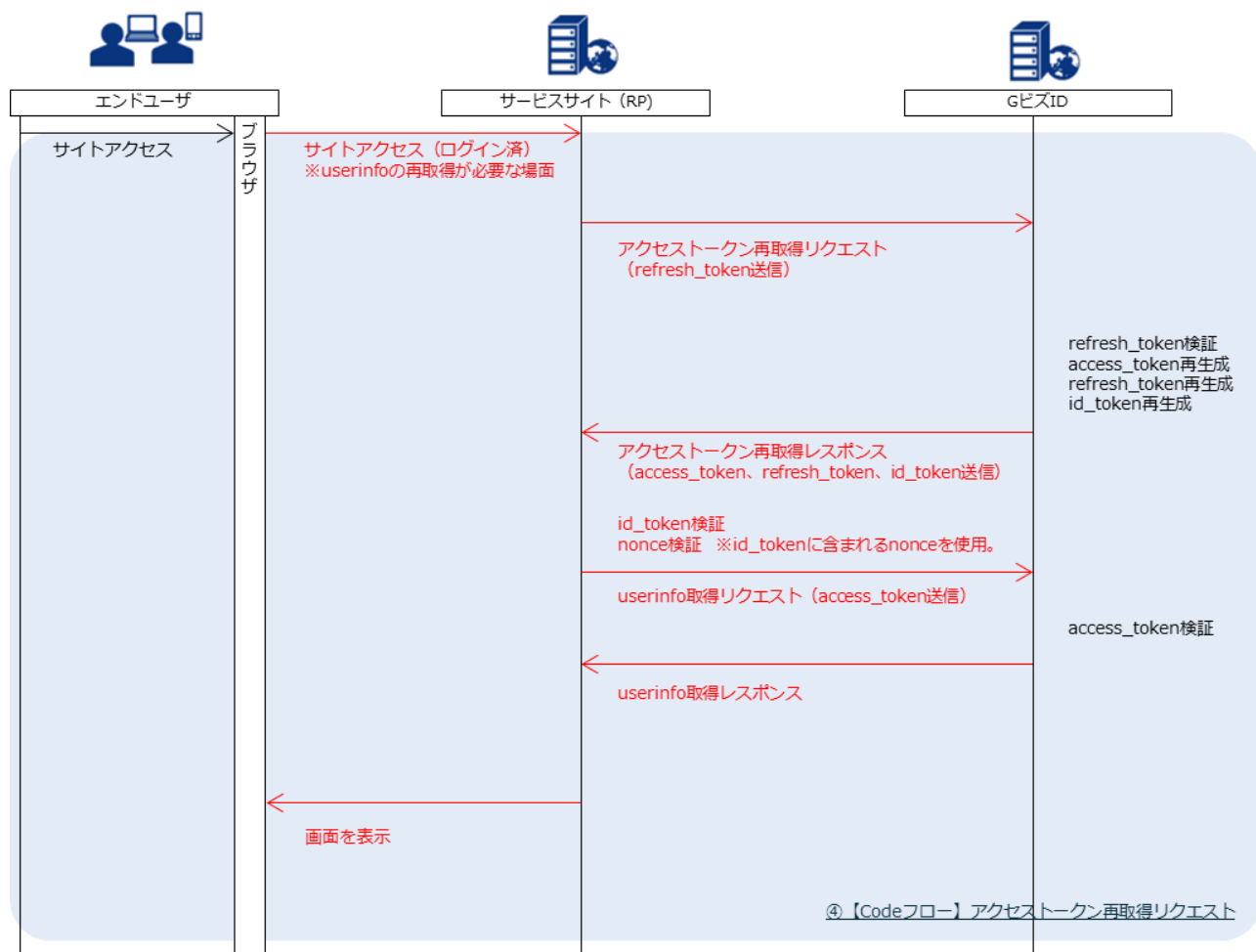


ログインフロー
赤字は RP に関連するフロー

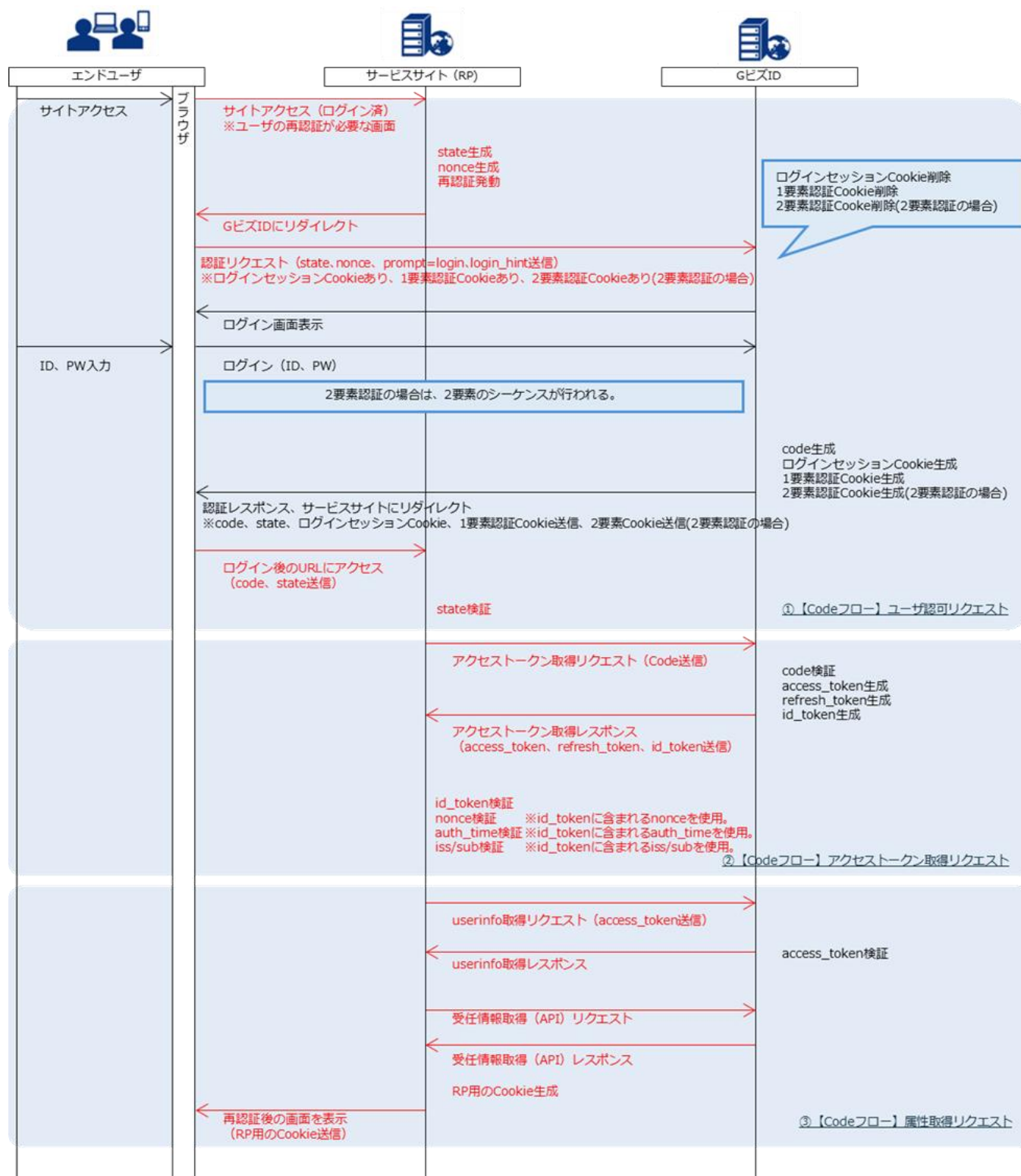


アクセストークン再取得フロー

赤字は RP に関連するフロー



ユーザ再認証フロー
赤字は RP に関するフロー



3.4.1.2 ユーザ認可リクエスト

(1) 認証リクエスト

Authorization エンドポイント（ユーザの認可を得るためのエンドポイント）へ以下リクエストを発行することで、ユーザの認証状態・認可状態を判定し、適切なページへリダイレクトさせ、認可コードを返却する。

リクエスト URL

メソッド	GET
URL（本番）	https://gbiz-id.go.jp/oauth/authorize

リクエストヘッダ

ヘッダ名	設定値	備考
-	-	-

リクエストコンテンツ

パラメータ名	データ型	必須	備考
response_type	String	○	「code」：code フロー
client_id	String	○	RP 毎に予め定義する[Client ID]
redirect_uri	String		RP 毎に予め定義する[ログイン成功時にリダイレクトする URL] ※G ビズ ID でのログイン成功時にリダイレクトする RP 側の URL のこと。 ※デフォルトはマイページ画面
scope	String	○ （“openid”必須）	RP 用途に応じて必要な情報に対応する Scope を指定 利用可能な Scope は次ページ Scope 一覧を参照 注意：現状では、scope を指定しない場合、openid, profile, user, mandate, email, offline access が自動で設定される。 しかし、OpenID Connect では、RP 側での利用者情報の適切な管理の観点から必要な情報のみを取得することが望まれるため、将来的には Scope 自動設定を廃止する。 Scope 指定なしでユーザ認可リクエストを送信している RP においては、プログラムの修正を計画すること。実際の廃止の案内は別途余裕をもって行う。
nonce	String		リプレイ攻撃防止用のパラメータ。クライアントのセッションと OP が払い出す ID Token を関連付けるためのパラメータ。
state	String		リクエストとそれに対するコールバックとの間の状態を保守するために使用されるパラメータ。
prompt	String		「login」：再認証要求（ログイン済ユーザであっても再度ユーザ認証を行う場合に設定）
login_hint	String		認証で使用する ID 情報のヒント（ログイン画面のアカウント ID に表示する文字列を設定）

➤ Scope 一覧

Scope	内容	必須	備考
openid	アカウント管理番号	○	
profile	基本情報の項目を含む		
user	アカウント利用者情報の項目を含む		
mandate	G ビズ ID メンバーへ委任する RP の情報		
email	アカウント利用者情報のうち、アカウント ID（メールアドレス）		
offline_access	リフレッシュトークンを取得する場合に指定		
jp_gbizid_v1_ida	審査情報		利用する場合は利用申請が必要となる。
role	組織情報		利用する場合は利用申請が必要となる。

補足: 審査情報・組織情報 Scope はユーザ情報 API 改善により追加される Scope である。

利用する場合は 4.3 RP 設定申込フォーム（2）OpenID Connect 連携に関する情報にて、希望する scope として利用を申請する必要がある。

リクエストサンプル

```
https://gbiz-id.go.jp/oauth/authorize?client_id=service1&redirect_uri=http%3A%2F%2Fxxxxx%2Ftop&response_type=code&scope=openid%20email%20profile&nonce=xxx&state=whmpfk&prompt=login&login_hint=testuser@sample.com
```

リクエストコンテンツはリクエスト URL のクエリパラメータに格納すること。

レスポンス

認証基盤のログイン画面が出力される。

GビズID

(2) ログイン後の URL アクセスリクエスト

(1) の認証リクエストの結果ユーザがログイン操作を実施すると、リダイレクトにより認可コード送信リクエストが発行される。

リクエスト URL

メソッド	GET
URL (本番)	RP 毎に予め定義する[ログイン成功時にリダイレクトする URL]

リクエストコンテンツ (正常時)

パラメータ名	データ型 (最大文字数)	必須	備考
code	String(22)	○	認可コード ※半角英数字 22 桁 ※有効期限：5 分
state	String		リクエスト時に保存していた値をコールバック時の値が一致するか確認すること。一致しない場合には CSRF の可能性があるため TokenF へのリクエストは実行しない。

リクエストサンプル (正常時)

[ログイン成功時にリダイレクトする URL]?code=NFwzQ1fPsTXJCTZpZqLJ95&state=ZZZZZZ

リクエストコンテンツ (エラー時)

パラメータ名	データ型	必須	備考
error	String		エラーコード
error_description	String		エラー内容の詳細な説明
state	String		リクエスト発行時に指定した state の文字列
scope	String		リクエスト発行時に指定した scope の文字列

エラーコード

値	説明
invalid_request	パラメータ不正
access_denied	認可拒否
invalid_scope	サポート外のスコープ
unsupported_response_type	サポート外のレスポンスタイプ
invalid_grant	redirect_uri が設定したものと異なる。 ※認証基盤にてエラー画面を表示
invalid_client	client_id が不正 ※認証基盤にてエラー画面を表示

リクエストサンプル（エラー時）

RP 毎に予め定義する[ログイン成功時にリダイレクトする
URL]?error=invalid_scope&error_description=Invalid%20scope;%20requested:%5Bemail,%20openid%5D&state=ZZZZZZ&scope=openid%20profile

3.4.1.3 アクセストークン取得リクエスト

(1) アクセストークン取得リクエスト

Token エンドポイントへ以下リクエストを発行することで、アクセストークンとリフレッシュトークン（アクセストークン更新用）を返却する。

- アクセストークンとその機密属性は、転送中および保存中に機密として保持され、認可サーバ、リソースサーバ、および発行されたクライアントの間でのみ共有されるように注意すること。

リクエスト URL

メソッド	POST
URL (本番)	https://gbiz-id.go.jp/oauth/token

リクエストヘッダ

ヘッダ名	設定値	備考
Authorization	Basic [client_id:client_secret を base64 でエンコードした値]	

リクエストコンテンツ

パラメータ名	データ型	必須	備考
grant_type	String	○	「authorization_code」固定
code	String	○	【code フロー】ユーザ認可リクエストで返却された認可コード
redirect_uri	String	○	RP 毎に予め定義する[ログイン成功時にリダイレクトする URL]

リクエストサンプル

grant_type=authorization_code&code=OrC9jAu0qx6p9X17r51fXU&redirect_uri=http%3A%2F%2Fxxxxx%2Ftop

リクエストコンテンツはボディ部に格納すること。

レスポンス

パラメータ名	データ型 (最大文字数)	必須	説明
access_token	String(4096)	○	userinfo リクエスト発行時に必要な token
token_type	String(6)	○	「Bearer」固定
refresh_token	String(4096)		access_token の更新時に必要な token ※【Code フロー】ユーザ認可リクエストの scope で offline_access を指定した場合
expires_in	Integer	○	access_token の有効時間(秒) ※1 時間
scope	String	○	【Code フロー】ユーザ認可リクエストで指定した scope
id_token	String(4096)	○	ID トークン (JWT (JSON Web Token) フォーマットでエンコード) ・ kid : トークンの署名検証に用いる鍵 ID 「rsa1」 固定 ・ alg : トークン署名の際のアルゴリズム「RS256」 固定 ・ sub : アカウント管理番号(範囲 : 1～2,147,483,647) ・ aud : ユーザ認可リクエストで指定した ClientId ・ iss : トークン発行者の識別子 (環境毎に異なる)

invalid_grant	400	認可コードが不正、期限切れ、無効 redirect_uri が Authorization リクエスト時と異なっている
unsupported_grant_type	400	サポート外の grant_type

レスポンスサンプル（エラー時）

```
例) 認可コード不正の場合
{
  "error": "invalid_grant",
  "error_description": "JpaAuthorizationCodeRepository: no Authorization code found for value SCmPT6NE7jUIUHyi533tP4"
}
```

3.4.1.4 属性取得リクエスト

（１）属性取得リクエスト

UserInfo エンドポイントへ以下リクエストを発行することで、ユーザの属性情報を返却する。

リクエスト URL

メソッド	GET
URL (本番)	https://gbiz-id.go.jp/oauth/userinfo

リクエストヘッダ

ヘッダ名	設定値	備考
Authorization	Bearer [access_token]	Token エンドポイントで返却される access_token

リクエストコンテンツ

なし

リクエストサンプル

なし

レスポンス

次ページに示す。

※○は必須項目。○がない項目は任意項目。

scope	パラメータ名	データ型 (最大文字 数)	プライム	メンバー	エントリー	説明
openid	sub	String	○	○	○	アカウント管理番号 ・ 内部的な ID を返却 ・ 整数値(Sub 範囲 1～ 2,147,483,647)
profile	account_type	String(1)	○	○	○	アカウント種別 1 : G ビズ ID エントリー 2 : G ビズ ID プライム 3 : G ビズ ID メンバー
	corp_type	String(1)	○	○	○	事業形態 1 : 法人 2 : 個人事業主
	parent_id	Number		○		G ビズ ID メンバーの場合、親の G ビ ズ ID プライムのアカウント管理番号 を返却する。 整数値(1～2,147,483,647)
	corporate_number	String(13)	○	○	○	【基本情報】 法人番号/個人事業主管理 番号
	name	String(150)	○	○	○	【基本情報】 法人名/屋号
	en_name	String				【基本情報】 法人名/屋号 (英語表記)
	prefecture_name	String(2)	○	○	○	【基本情報】 本店所在地/印鑑登録証明 書住所 (都道府県) ※JIS X 0401 都道府県コード
	address1	String(64)	○	○	○	【基本情報】 本店所在地/印鑑登録証明 書住所 (市区町村)
	address2	String(300)	○	○	○	【基本情報】 本店所在地/印鑑登録証明 書住所 (番地等)
	rep_last_nm	String(64)	○	○	○	【基本情報】 代表者名/個人事業主氏名 (姓)
	rep_first_nm	String(64)	○	○	○	【基本情報】 代表者名/個人事業主氏名 (名)
	rep_last_nm_kana	String(64)	○	○	○	【基本情報】 代表者名フリガナ/個人事 業主氏名フリガナ (姓)
	rep_first_nm_kan a	String(64)	○	○	○	【基本情報】 代表者名フリガナ/個人事 業主氏名フリガナ (名)
	birthday_ymd	String(8)	○	○		【基本情報】 代表者生年月日/個人事業 主生年月日 yyyyMMdd
user	user_last_nm	String(64)	○	○	○	【利用者情報】 アカウント利用者氏名 (姓)
	user_first_nm	String(64)	○	○	○	【利用者情報】 アカウント利用者氏名 (名)
	user_last_nm_kan a	String(64)	○	○	○	【利用者情報】 アカウント利用者氏名 フリガナ (姓)

	user_first_nm_kana	String(64)	○	○	○	【利用者情報】アカウント利用者氏名フリガナ（名）
	user_post_code	String(7)	○	○	○	【利用者情報】連絡先郵便番号（ハイフンは含まない）
	user_prefecture_name	String(2)	○	○	○	【利用者情報】連絡先住所（都道府県） ※JIS X 0401 都道府県コード
	user_address1	String(64)	○	○	○	【利用者情報】連絡先住所（市区町村）
	user_address2	String(300)	○	○	○	【利用者情報】連絡先住所（番地等）
	user_address3	String(64)				【利用者情報】連絡先住所（マンション名等）
	user_department	String(64)				【利用者情報】会社部署名/部署名
	user_tel_no_contact	String(11)				【利用者情報】連絡先電話番号（ハイフンは含まない）
	user_birthday_yymmdd	String(8)	○			【利用者情報】利用者 生年月日 yyyyMMdd
mandate	mandate_info					配列指定
	client_id	String(256)				該当ユーザの内部委任情報として登録されている RP の client_id
email	user_email	String(255)	○	○	○	【利用者情報】アカウント ID（メールアドレス）※非推奨
	email	String(255)	○	○	○	【利用者情報】アカウント ID（メールアドレス）
jp_gbizid_v1_ida	verified_claim					【審査情報】審査情報 アカウントの審査を行った方法、日時などの審査に関する情報 詳細は 3.4.1.4[1] 審査情報のレスポンス詳細を参照
role	role					【組織情報】組織情報 メンバーの所属組織と権限の情報 ※G ビズ ID 内で組織管理されていない場合やプライムアカウントの場合は空白となる 詳細は 3.4.1.4[2]組織情報のレスポンス詳細を参照

※user_email パラメータは OpenIDConnect に準拠していないため、非推奨となり、今後の改編で削除予定。すでにご利用の場合は標準の email パラメータにて置き換え可能のため、こちらを使用すること。

レスポンスサンプル（アカウント種別：G ビズ ID プライムの場合の例）

```
{
  "sub": "1242 ",
  "account_type": "1",
  "corp_type": "2",
  "corporate_number": "27101007182XX",
  "name": "aaa 株式会社",
  "en_name": "13",
  "prefecture_name": "13",
  "address1": "港区",
  "address2": "〇〇〇丁目〇番〇号",
  "rep_last_nm": "山田",
  "rep_first_nm": "太郎",
  "rep_last_nm_kana": "ヤマダ",
  "rep_first_nm_kana": "タロウ",
  "birthday_ymd": "19800101",
  "user_last_nm": "山田",
  "user_first_nm": "太郎",
  "user_last_nm_kana": "ヤマダ",
  "user_first_nm_kana": "タロウ",
  "user_post_code": "0000000",
  "user_prefecture_name": "13",
  "user_address1": "港区",
  "user_address2": "〇〇〇丁目〇番〇号",
  "user_address3": "",
  "user_department": "総務部",
  "user_tel_no_contact": "11111111111",
  "user_birthday_ymd": "19800101",
  "mandate_info": [
    {
      "client_id": "200007app1"
    },
    {
      "client_id": "200017app2"
    }
  ],
  "user_email": "yamada.tarou@example.co.jp",
  "email": "yamada.tarou@example.co.jp",
}
```

```

"verified_claims": {
  "verification": {
    "trust_framework": "jp_gbizid_v1",
    "assurance_level": "ial2",
    "time": "2021-06-06T05:32+09:00",
    "assurance_process": {
      "procedure": "jp_gbizid_online_corporation"
    }
  },
  "claims": {
    "family_name": "山田",
    "given_name": "太郎",
    "birthdate": "1980-01-01",
    "authority": {
      "applies_to": {
        "registration_number": "27101007182XX"
      },
      "permission": [{"role": "prime"}]
    }
  }
},

```

利用する場合は利用申請が必要(※)
3.4.1.4[1]審査情報のレスポンス詳細参照

```

"role": {}

```

利用する場合は利用申請が必要(※)
3.4.1.4[2]組織情報のレスポンス詳細参照

```

}

```

※4.3 RP 設定申込フォーム（2）OpenID Connect 連携に関する情報 参照

レスポンスコンテンツ（エラー時）

パラメータ名	データ型	必須	備考
error	String		エラーコード
error_description	String		エラー内容の詳細な説明

エラーコード

値	HTTP ステータスコード	説明
invalid_token	401	アクセストークン不正、期限切れ、無効
insufficient_scope	403	scope 不正

レスポンスサンプル（エラー時）

例) アクセストークン不正の場合

```
{
  "error": "invalid_token",
  "error_description": "Invalid access token:
eyJraWQlOiJyca2ExIiwiaWF0IjoiUlMyNTYifQ.eyJzdWIiOiJhZG1pbjIsImF6cCI6ImNsaWVudCIsImImlzc
yI6Imh0dHA6XC9cL2xvY2FsaG9zdDo4MDgwXC9tZXRpLW9wZW5pZC1jb25uZWNOXNlcnZlci13Z
WJhcHBCLyIsImV4cCI6MTUzNDUxMDk3NywiaWF0IjojoxNTM0NTA3Mzc3LCJqdGkiOiJiNGY2YWWE3NC
1hMDU4LTQ1YjAtYjdIMi0wNGUzYmZiNjE2ZWUifQ.iPqiQ1-
nnOyQG1oQZDANqW1Zp8Ah5yo_PS8jHDAhac5q8Dj3Lo7f1Hw9UfxHOBw3RNzw9G8b_a0qlP-
y6xoVkYIxEWhwvw-
8oxRhoHu4BFAFL_QP5PmqRB60bDR2XGjjwCrjOjiobu14vH2H3NQPL9VfAH3yvBYNBcA5unVoQ5JT
K5X5s5yvgwcZ7nuzd5D2hOQrwmrCv4S9JyPuWYZbPPxe0UDMOW_YN9TBTkPmYMLS-
8cx5hBQ0v5UhhdIP00j5MqacSJvb8JaedW-7OwvG32H_J0b4Vio8omwWxfHOaa8QmSCMBDiJ-
tWhucWgNnFAG7GQO1uIcV-t7C9ZiPw"
}
```

[1] 審査情報のレスポンス詳細

審査情報レスポンス詳細

※利用する場合は利用申請が必要となる。4.3 RP 設定申込フォーム（2）OpenID Connect 連携に関する情報 を参照のこと。

※○は必須項目。○がない項目は任意項目。

パラメータ名		データ型 (最大文字数)	プライム	メンバー	エントリー	説明
verified_claims						
verification						審査情報
trust_framework		String(12)	○	○	○	固定値「jp_gbizid_v1」
assurance_level		String(14)	○	○	○	IAL(身元確認レベル) ial1 : G ビズ ID エントリー ial2 : G ビズ ID プライム、G ビズ ID メンバー
time		String	○	○		対象のアカウントが G ビズ ID エントリーの場合 項目自体を返却しない 上記以外の場合 確認日時 ISO8601 形式の日本標準時 ("YYYY-MM-DDThh:mm+09:00")
assurance_process						審査方法
procedure		String	○	○		対象のアカウントが G ビズ ID エントリーの場合 項目自体を返却しない 上記以外の場合 審査プロセスを示す固定値を参照
claims						審査済み属性情報 対象のアカウントがエントリーの場合 ブランク
family_name		String(64)	○			対象のアカウントが G ビズ ID プライムの場合のみ返却 代表者名/個人事業主氏名（姓）
given_name		String(64)	○			対象のアカウントが G ビズ ID プライムの場合のみ返却 代表者名/個人事業主氏名（名）
birthdate		String	○			対象のアカウントが G ビズ ID プライムの場合のみ返却 代表者生年月日/個人事業主生年月日 ISO8601 ("YYYY-MM-DD") 形式
authority						事業形態が法人の場合のみ返却
applies_to						
registration_number		String(13)	○	○		【基本情報】法人番号
permission						配列指定
		String	○	○		prime: G ビズ ID プライム member: G ビズ ID メンバー
address						対象のアカウントが G ビズ ID プライム、かつ事業形態が個人事業主の場合のみ返却
street_address_part_1		String(300)	○			【利用者情報】連絡先住所（番地等）

			street_address_part_2	String(64)	○			【利用者情報】連絡先住所（マンション名等） データが登録されていない場合 空白
			street_address	String(300)	○			【利用者情報】連絡先住所（番地等） + 連絡先住所（マンション名等）
			locality	String(64)	○			【利用者情報】連絡先住所（市区町村）
			region	String(5)	○			【利用者情報】連絡先住所（都道府県）
			postal_code	String(7)	○			【利用者情報】連絡先郵便番号（ハイフンは含まない）
			country	String(2)	○			固定値「JP」

審査プロセスを示す固定値

審査方法	審査方法固定値
法人(書類郵送申請)	jp_gbizid_document_corporation
法人(オンライン申請)	jp_gbizid_online_corporation
法人(ワンストップサービス経由)	jp_gbizid_one_stop_service
個人事業主(書類郵送申請)	jp_gbizid_document_sole_proprietorship
個人事業主(オンライン申請)	jp_gbizid_online_sole_proprietorship
組織内認証(法人、個人)	jp_gbizid_member

審査情報のレスポンスサンプル（アカウント種別：G ビズ ID プライム法人の場合の例）

```
{
  "verified_claims": {
    "verification": {
      "trust_framework": "jp_gbizid_v1",
      "assurance_level": "ial2",
      "time": "2021-06-06T05:32+09:00",
      "assurance_process": {
        "procedure": "jp_gbizid_online_corporation"
      }
    },
    "claims": {
      "family_name": "田中",
      "given_name": "太郎",
      "birthdate": "1991-11-06",
      "authority": {
        "applies_to": {
          "registration_number": "XXXXXXXXXX"
        },
        "permission": [{"role": "prime"}]
      }
    }
  }
}
```

審査情報のレスポンスサンプル（アカウント種別：G ビズ ID プライム個人事業主の場合の例）

```
{
  "verified_claims": {
    "verification": {
      "trust_framework": "jp_gbizid_v1",
      "assurance_level": "ial2",
      "time": "2021-06-06T05:32+09:00",
      "assurance_process": {
        "procedure": "jp_gbizid_online_sole_proprietorship"
      }
    },
    "claims": {
      "family_name": "田中",
      "given_name": "太郎",
      "birthdate": "1991-11-06",
      "address": {
        "street_address_part1": "紀尾井町 1 - 3",
        "street_address_part2": "東京ガーデンテラス紀尾井町",
        "street_address": "紀尾井町 1 - 3 東京ガーデンテラス紀尾井町",
        "locality": "千代田区",
        "region": "東京都",
        "postal_code": "1020094",
        "country": "JP"
      }
    }
  }
}
```

審査情報のレスポンスサンプル（アカウント種別：G ビズ ID メンバーの場合の例）

```
{
  "verified_claims": {
    "verification": {
      "trust_framework": "jp_gbizid_v1",
      "assurance_level": "ial2",
      "time": "2021-06-06T05:32+09:00",
      "assurance_process": {
        "procedure": "jp_gbizid_member"
      }
    },
    "claims": {
      "authority": {
        "applies_to": {
          "registration_number": "XXXXXXXXXX"
        },
        "permission": [{"role": "member"}]
      }
    }
  }
}
```

審査情報のレスポンスサンプル（アカウント種別：G ビズ ID エントリーの場合の例）

```
{
  "verified_claims": {
    "verification": {
      "trust_framework": "jp_gbizid_v1",
      "assurance_level": "ial1"
    },
    "claims": {}
  }
}
```

[2] 組織情報のレスポンス詳細

組織情報レスポンス詳細

※利用する場合は利用申請が必要となる。4.3 RP 設定申込フォーム（2）OpenID Connect 連携に関する情報を参照のこと。

※○は必須項目。○がない項目は任意項目。

パラメータ名		データ型 (最大文字数)	プライム	メンバー	エントリ	説明
role						対象のアカウントがプライムとエントリの場合 ブランク
	applies_to					
		levels				配列指定（対象のアカウントが所属する組織、および所属する組織の上位階層の組織を全て返却）
		level	Number		○	対象の組織の組織階層
		branch_name	String		○	対象の組織の組織名 （第一階層は初期設定では法人名 第二階層以下は設定がある場合のみ返却）
	permission					配列指定
		role	String		○	権限種別 対象のアカウントがアカウント管理者の場合 jp_gbizid_administrator : 管理者 上記以外の場合 jp_gbizid_member : メンバー

組織情報のレスポンスサンプル（第一組織に所属する G ビズ ID メンバーの場合）

```
{
  "role": {
    "applies_to": {"levels": [
      {"level": 1, "branch_name": "〇〇〇株式会社"}
    ]},
    "permission": [{"role": "jp_gbizid_member"}]
  }
}
```

組織情報のレスポンスサンプル（第二組織（名古屋事業所）に所属する G ビズ ID メンバーの場合）

```
{
  "role": {
    "applies_to": {"levels": [
      {"level": 1, "branch_name": "〇〇〇株式会社"},
      {"level": 2, "branch_name": "名古屋事業所"}
    ]
  },
  "permission": [{"role": "jp_gbizid_member"}]
}
```

組織情報のレスポンスサンプル（アカウント種別：G ビズ ID プライム、G ビズ ID エントリーの場合の例）

```
{
  "role": {}
}
```

3.4.1.5 アクセストークン再取得リクエスト

（１）アクセストークン再取得リクエスト

Token エンドポイントへ以下リクエストを発行することで、アクセストークンを再度返却する。

リクエスト URL

メソッド	POST
URL（本番）	https://gbiz-id.go.jp/oauth/token

リクエストヘッダ

ヘッダ名	設定値	備考
Authorization	Basic [client_id:client_secret を base64 でエンコードした値]	-

リクエストコンテンツ

パラメータ名	データ型	必須	備考
grant_type	String	○	「refresh_token」固定
refresh_token	String	○	【code フロー】アクセストークン取得リクエストで返却された refresh_token
scope	String		【code フロー】ユーザ認可リクエストで指定した scope の中から取得したい情報を設定 ※指定しない場合、【code フロー】ユーザ認可リクエストで指定した全ての scope が自動設定 ※1 つ以上指定する場合、"openid"必須（【code フロー】属性取得リクエストで scope 不正エラー）

リクエストサンプル

```
grant_type=refresh_token&refresh_token=eyJhbGciOiJub25lIn0.eyJleHAiOiJlNjc1MDAwNTIsImp0aSI6ImY0YmRhZjZlLWQ3ZjQtNGIwNC05Mjc2LTJiOGMwNGIzNDYyNiJ9.&scope=openid email profile
```

リクエストコンテンツはボディ部に格納すること。

レスポンス

パラメータ名	データ型 (最大文字数)	必須	説明
access_token	String(4096)	○	userinfo リクエスト発行時に必要な token
token_type	String(6)	○	「Bearer」 固定
refresh_token	String(4096)	○	access_token の更新時に必要な token
expires_in	Integer	○	access_token の有効時間(秒)
scope	String	○	【code フロー】 アクセストークン再取得リクエストで指定した scope
id_token	String(4096)	○	ID トークン (JWT (JSON Web Token) フォーマットでエンコード) ・ kid : トークンの署名検証に用いる鍵 ID 「rsa1」 固定 ・ alg : トークン署名の際のアルゴリズム 「RS256」 固定 ・ sub : アカウント管理番号(範囲 : 1～2,147,483,647) ・ aud : ユーザ認可リクエストで指定した ClientId ・ iss : トークン発行者の識別子 (環境毎に異なる) [本番] https://gbiz-id.go.jp/oauth/ [検証] https://stg.gbiz-id.go.jp/oauth/ ・ exp : トークン有効期限 (1970/1/1 00:00:00 からの経過秒数) ・ iat : トークン発行時刻 (1970/1/1 00:00:00 からの経過秒数) ・ auth_time : ユーザ認証時刻 (1970/1/1 00:00:00 からの経過秒数) ・ nonce : ユーザ認可リクエストで指定した nonce ・ jti : JWT ID (トークン毎にユニークな識別子) ※ 【code フロー】 ユーザ認可リクエストの scope で "openid" を指定した場合

```
{
  "access_token":
"eyJraWQiOiJyc2ExIiwiaWxnbGJpbGUiOiJIbGlnbnQlLCJpc3MiOiJodHRwczpcL1wvZ2Jpei1pZC5nby5qcFwvb2F1dGhclYIsImV4cCI6MTY1MTA2NDQwMiwiaWF0IjoxNjUxMDYwODAyLCJqdGkiOiJjODdmYzliMy05OTJjLTJlLnRlYyAtOGIzOC05MzFhNGMzMtZkdMTQifQ==.brz2DmhKith6aeOTIg-0vt46sqSmuaGvppO98crWeSGFWgurbmAW4hYPC103n9MhPNab-vkdMu-1e96OuomrojQdod1s3wcoi64Z64hn2wpWJP3RSNUjUnCvhEx3Lb3hrWViqT0UCURaQL5OWF7dTFI  
GXI-Ne5FDzGSjDHjIAIw",
  "token_type": "Bearer",
  "refresh_token":
"eyJhbGciOiJIub251IiwiaWxnbGJpbGUiOiJIbGlnbnQlLCJpc3MiOiJodHRwczpcL1wvZ2Jpei1pZC5nby5qcFwvb2F1dGhclYIsImV4cCI6MTY1MTA2NDQwMiwiaWF0IjoxNjUxMDYwODAyLCJqdGkiOiJjODdmYzliMy05OTJjLTJlLnRlYyAtOGIzOC05MzFhNGMzMtZkdMTQifQ==.FBz2B5DuRfCZGPuNKPj4ggIV7BRsyJlhOMwwcxeUNqc8W7Ac5T3B9WXk5AIPbn77VvxfFafFsqrq58Sqtll_1FDjjz9Eh2_WMYNFh5j4d8LzN1eZbqlsCxkujVMM35RFtXVwjQcm6vVHYIEdYMz7DvtwXLE8Htanu6vpV3L1R7Q"
}
```

パラメータ名	データ型	必須	備考
error	String		エラーコード
error_description	String		エラー内容の詳細な説明

値	HTTP ステータスコード	説明
unauthorized	401	ユーザ認証不可
invalid_token	401	リフレッシュトークンが不正、期限切れ、無効
invalid_scope	401	サポート外のスコープ
invalid_request	400	パラメータ不正
unsupported_grant_type	400	サポート外の grant_type

```
例) パラメータ不正の場合
{
  "error": "invalid_token",
  "error_description": "Invalid refresh token:
eyJhbGciOiJIub250IiwiaXNjaWkiOiJ1bmR1bWVudjLWJmYWItNDA0ZC1iMGNhLTkzYTYxOTBlODYyZSJ9."
}
```

3.4.1.6 各リクエスト検証方法

(1) state 検証

state の検証は以下のように実施する。

No	検証方法
1	ユーザ認可のレスポンスで取得した state の値が、リクエストで送信した値と同じであること。

(2) ID トークン検証/nonce 検証

id_token は、JSON Web Token (JWT)形式となっており、「.」(ピリオド)区切りで、ヘッダ部、ペイロード部、署名部に分かれている。nonce はペイロード部に含まれる。

ヘッダ部、ペイロード部は Base64 でエンコードされており、以下のような値が設定される。

※ id_token/nonce の検証で使用する主要なものを記載しており、実際には他の値も含まれる。

分類	パラメータ名	説明
ヘッダ部	alg	id_token の署名に使用されるハッシュアルゴリズム。
ペイロード部	iss	id_token の発行者。 G ビズ ID の URL 「https://認証基盤のドメイン/oauth/」 となる。
	sub	認証されたユーザを示す識別子。 G ビズ ID のアカウント管理番号が設定される。
	aud	id_token の受け取り者。 RP の client_id が設定される。
	exp	id_token の有効期限。 UNIX タイム (UTC の 1970/1/1 00:00:00 からの経過秒数) となる。
	iat	id_token の発行時刻。 UNIX タイム (UTC の 1970/1/1 00:00:00 からの経過秒数) となる。
	auth_time	ユーザ認証時刻。 UNIX タイム (UTC の 1970/1/1 00:00:00 からの経過秒数) となる。
	nonce	クライアントのセッションと ID Token を紐付ける文字列。 リプライアタックの防止に利用。 認証リクエストで指定した値が設定される。

ID トークンの検証は以下のように実施する。再認証要求を行った場合の ID トークンの検証では、下記 No.1～5 に加え、No.6～7 を検証する。

No	検証方法
1	iss(id_token の発行者)の値が「https://認証基盤のドメイン/oauth/」と一致することを確認する。
2	aud(id_token の受け取り者)の値が認証リクエストで送信した client_id と一致することを確認する。
3	id_token の値を alg のハッシュアルゴリズムで検証する。 ※検証には OpenID Connect ライブラリ等を使用する。 ※公開鍵は下記の jwks_uri パラメータの値で示される。 https://認証基盤のドメイン/oauth/.well-known/openid-configuration
4	exp(id_token の有効期限)が現在時刻より後であることを確認する。
5	iat(id_token の発行時刻)が現在時刻より前で、古すぎないことを確認する。 ※どのくらい古い id_token を許容するかは、RP 側の判断とする。

6	再認証要求を行った場合には（未認証ユーザに対する再認証要求の場合を除く）、再認証後に取得したユーザの ID トークンに含まれる iss 値と sub 値が再認証前の iss 値と sub 値に一致していることを確認する。
7	再認証要求を行った場合には、auth_time の値が妥当な範囲で現在時刻に近いことを確認する。

nonce の検証は以下のように実施する。

No	検証方法
1	nonce の値が認証リクエストで指定したものと一致することを確認する。

3.4.2. 委任情報取得 API について

（1）委任情報取得リクエスト

指定されたアカウントの受任情報を取得する。受任者のアカウント管理番号を指定すると、レスポンス情報として受任者に対し委任を行った委任者の情報（委任元情報）が取得可能。なお、指定アカウント（アカウント管理番号）が G ビズ ID メンバーの場合、親の G ビズ ID プライムの受任情報を取得する。

リクエスト URL

メソッド	POST
API パス	[コンテキストパス]/delegation ※コンテキストパス=/api

リクエストコンテンツ（正常時）

パラメータ名	データ型 (最大文字数)	必須	備考
client_key	String(255)	○	半角英数字 ※RP 利用申請にて委任有りとした際払い出される client_key
client_token	String(255)	○	半角英数字 ※クライアント識別子との組合わせで認証処理を行う ※RP 利用申請にて委任有りとした際払い出される client_token
meti_id	String	○	アカウント管理番号 半角数字 ※UserInfo で取得できるアカウント管理番号（sub）を入力

リクエストサンプル（正常時）

<pre>{ "client_key": "aaaaa", "client_token": "76D69F8D708746AA43A65E8B29C5D9A1", "meti_id": "12345678" }</pre>

リクエストコンテンツはボディ部に格納すること。

レスポンス

HTTP ステータス	意味	説明
200	処理成功	処理成功

400	リクエストパラメータエラー	属性チェックエラーの場合 ※アカウント管理番号に該当する値が存在しない場合 ※アカウント管理番号に該当するアカウントが G ビズ ID エントリーの場合
401	認証エラー	client_key と client_token での認証がエラーとなった場合
500	API 内システムエラー	予期しないシステムエラーが発生した場合

レスポンスコンテンツ

※○は必須項目。○がない項目は任意項目。

No	項目名	パラメータ名	データ型 (最大文字数)	プ ラ イ ム	メ ン バ ー	エ ン ト リ ー	備考
1	委任元情報	delegation_info		○	○		配列指定
2	委任申請番号	delegation_no	String(15)	○	○		半角数字 & 半角ハイフン 0-yyMMdd-0000-0 形式
3	対象サービス	system_cd	String(5)	○	○		半角英数字
4	委任開始日	delegation_start	String(8)	○	○		半角数字 yyyyMMdd
5	委任終了日	delegation_end	String(8)				半角数字 yyyyMMdd ※入力のない場合は null を返却
6	アカウント管理番号	meti_id	Number				半角英数字 ※G ビズ ID アカウント未保持 の場合 null を返却
7	事業形態	business_type	String(5)	○	○		全角 ("法人"又は"個人事業主")
8	法人番号／個人事業主管理 番号	corp_no	String(13)	○	○		半角英数字 ※G ビズ ID アカウント未保持 かつ個人事業主の場合 null を返 却
9	法人名／屋号	firm_nm	String(150)	○	○		全角
10	法人名／屋号 英語表記	firm_nm_en	String				半角英数字 ※入力のない場合は null を返却
11	本店所在地／印鑑登録証明 書住所 都道府県	address_pref	String(5)	○	○		全角
12	本店所在地／印鑑登録証明 書住所 市区町村	address_city	String(64)	○	○		全角
13	本店所在地／印鑑登録証明 書住所 番地等	address_number	String(300)	○	○		全角
14	代表者名／個人事業主氏名 (姓)	last_nm	String(64)	○	○		全角
15	代表者名／個人事業主氏名 (名)	first_nm	String(64)	○	○		全角
16	代表者名フリガナ／個人事 業主氏名フリガナ (姓)	last_nm_kana	String(64)	○	○		全角カタカナ
17	代表者名フリガナ／個人事 業主氏名フリガナ (名)	first_nm_kana	String(64)	○	○		全角カタカナ
18	代表者生年月日／個人事業 主生年月日	birthday	String(8)	○			半角数字 yyyyMMdd
19	アカウント利用者氏名 (姓)	user_last_nm	String(64)	○	○		全角
20	アカウント利用者氏名 (名)	user_first_nm	String(64)	○	○		全角
21	アカウント利用者氏名フリ ガナ (姓)	user_last_nm_ka na	String(64)	○	○		全角カタカナ

22	アカウント利用者氏名フリガナ（名）	user_first_nm_kana	String(64)	○	○		全角カタカナ
23	連絡先郵便番号	user_post_cd	String(7)	○	○		半角数字
24	連絡先住所 都道府県	user_address_pref	String(5)	○	○		全角
25	連絡先住所 市区町村	user_address_city	String(64)	○	○		全角
26	連絡先住所 番地等	user_address_number	String(300)	○	○		全角
27	連絡先住所 マンション名等	user_address_bldg	String(64)				全角
28	会社部署名／部署名	user_department	String(64)				全角
29	連絡先電話番号	user_tel_no_contact	String(11)				半角数字
30	アカウント ID(メールアドレス)	user_email	String(255)				メール形式 ※G ビズ ID アカウント未保持 の場合 null を返却

レスポンスサンプル（正常時：

1 件目 - G ビズ ID アカウント保持の法人、2 件目 - G ビズ ID アカウント非保持の個人事業主の場合）

```
{
  "delegation_info": [
    {
      "delegation_no": "1092730197",
      "system_cd": "AAAAA",
      "delegation_start": "20181001",
      "delegation_end": "20190228",
      "meti_id": 27019707,
      "business_type": "法人",
      "corp_no": "2710100718279",
      "firm_nm": "あああ",
      "firm_nm_en": "aaa",
      "address_pref": "東京都",
      "address_city": "〇〇区",
      "address_number": "×× 1 2 - 3 - 4",
      "last_nm": "〇〇 〇〇",
      "first_nm": "〇〇 〇〇",
      "last_nm_kana": "〇〇 〇〇",
      "first_nm_kana": "〇〇 〇〇",
      "birthday": "19700101",
      "user_last_nm": "〇〇",
      "user_first_nm": "〇〇",
      "user_last_nm_kana": "〇〇",
      "user_first_nm_kana": "〇〇",
      "user_post_cd": "1234567",
      "user_address_pref": "東京都",
      "user_address_city": "〇〇区",
      "user_address_number": "×× 1 2 - 3 - 4",
      "user_address_bldg": "〇〇ビル 3 F",
      "user_department": "〇〇部",
      "user_tel_no_contact": "01234567890",
      "user_email": "aaa@bbb.cc"
    },
  ],
}
```

```

{
  "delegation_no": "1092730198",
  "system_cd": "BBBBBB",
  "delegation_start": "20231001",
  "delegation_end": null,
  "meti_id": null,
  "business_type": "個人事業主",
  "corp_no": null,
  "firm_nm": "い\\い\\い",
  "firm_nm_en": "bbb",
  "address_pref": "大阪府",
  "address_city": "〇〇区",
  "address_number": "×× 1 2 - 3 - 4",
  "last_nm": "〇〇 〇〇",
  "first_nm": "〇〇 〇〇",
  "last_nm_kana": "〇〇 〇〇",
  "first_nm_kana": "〇〇 〇〇",
  "birthday": "19800201",
  "user_last_nm": "〇〇",
  "user_first_nm": "〇〇",
  "user_last_nm_kana": "〇〇",
  "user_first_nm_kana": "〇〇",
  "user_post_cd": "2345678",
  "user_address_pref": "大阪府",
  "user_address_city": "〇〇区",
  "user_address_number": "×× 1 2 - 3 - 4",
  "user_address_bldg": "〇〇ビル 5F",
  "user_department": "〇〇部",
  "user_tel_no_contact": "02345678901",
  "user_email": null
}
]
}

```

レスポンスサンプル（検索結果 0 件：受任していない場合）

```

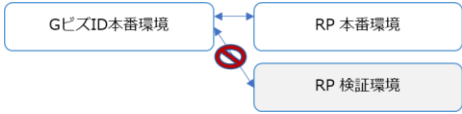
{
  "delegation_info": [
  ]
}

```

4. リリースに向けた作業について

4.1. 各環境概要

G ビズ ID では以下環境を用意する。

項目	G ビズ ID サービス本番環境	G ビズ ID サービス検証環境
利用用途	G ビズ ID サービスが稼働する環境。 G ビズ ID サービス本番環境は、RP 本番環境と接続することを前提としており、RP の検証環境とは接続できない。 <基本の考え方>  RP 本番環境の設定のスケジュールは、RP のサービスリリース日（エンドユーザへの公開日）の原則 1 週間前。G ビズ ID 本番環境は稼働中のシステムであるため、本番環境以外で稼働前の RP は接続不可。 ※なお、ネットワーク疎通のため G ビズ ID の本番環境と早期に接続したいという要望があるものの、G ビズ ID 検証環境とシステム構成、ネットワークは同一なため、検証環境でテストを実施すること。	RP 向けに提供する検証環境。 G ビズ ID サービス検証環境は、RP 検証環境と接続することを前提としている。 なお、検証環境は本番環境でのシステム連携前の接続確認用としての役割だけでなく、G ビズ ID サービスの機能追加・変更時における先行リリースの実施に伴い、RP 側のシステムに影響がないかの確認にも利用する。 <基本の考え方>  <イレギュラー対応：> 接続したい場合は要相談> RP 検証環境が準備できず、リリース直前まで本番環境しか準備ができない場合は、RP 本番環境リリース前までであれば、RP 本番環境と G ビズ ID 検証環境とのシステム連携による検証を許可する。ただし、原則的には検証環境を準備すること。 
URL のドメイン部分※	gbiz-id.go.jp	stg.gbiz-id.go.jp
RP 登録方法	RP 設定申込フォームを G ビズ ID RP サポート窓口へ提出する。	RP 設定申込フォームを G ビズ ID RP サポート窓口へ提出する。
制限事項	基本的に試験実施は不可。認証連携に関する疎通確認レベルの動作確認のみは可能だが、その他試験、特に性能負荷試験や異常系試験などの、本番環境運用に影響を及ぼす可能性がある作業は禁止。	性能負荷試験や異常系試験など、稼働中の検証環境での運用に影響を及ぼす可能性がある作業は禁止。

Web サイトの URL はそれぞれ以下の通り

ログイン : [https:// \(URL のドメイン部分\) /oauth/authorize](https://(URLのドメイン部分)/oauth/authorize)

エントリー新規登録 : [https:// \(URL のドメイン部分\) /app/baa/reg/mailaddr/input](https://(URLのドメイン部分)/app/baa/reg/mailaddr/input)

プライム新規作成 : [https:// \(URL のドメイン部分\) /app/rep/reg/apply/show](https://(URLのドメイン部分)/app/rep/reg/apply/show)

4.2. 審査および設定申込に関する対応フローと注意事項

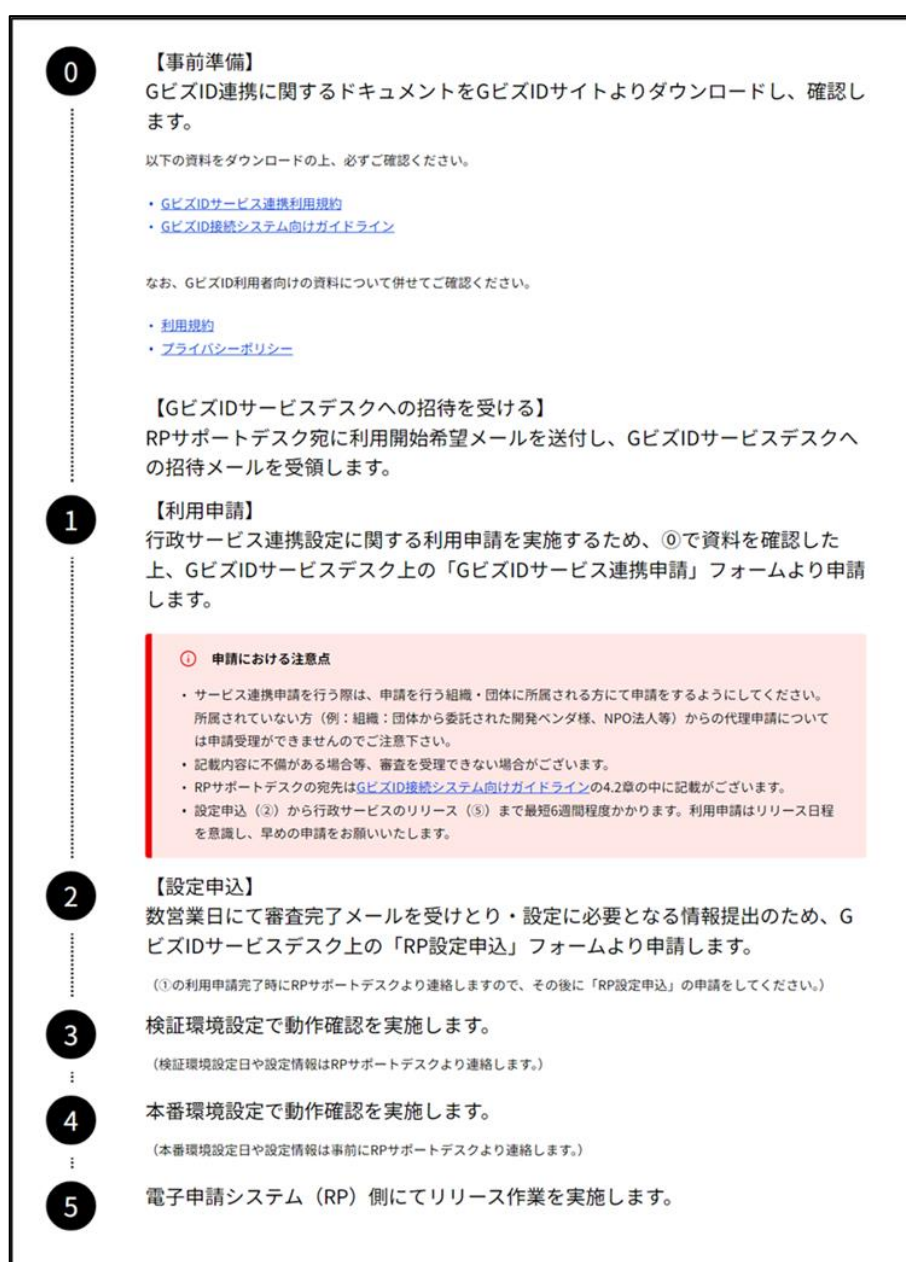
注意！

本ガイドラインは行政サービス担当者向けのガイドラインであり、G ビズ ID アカウント作成に関するマニュアルではございません。

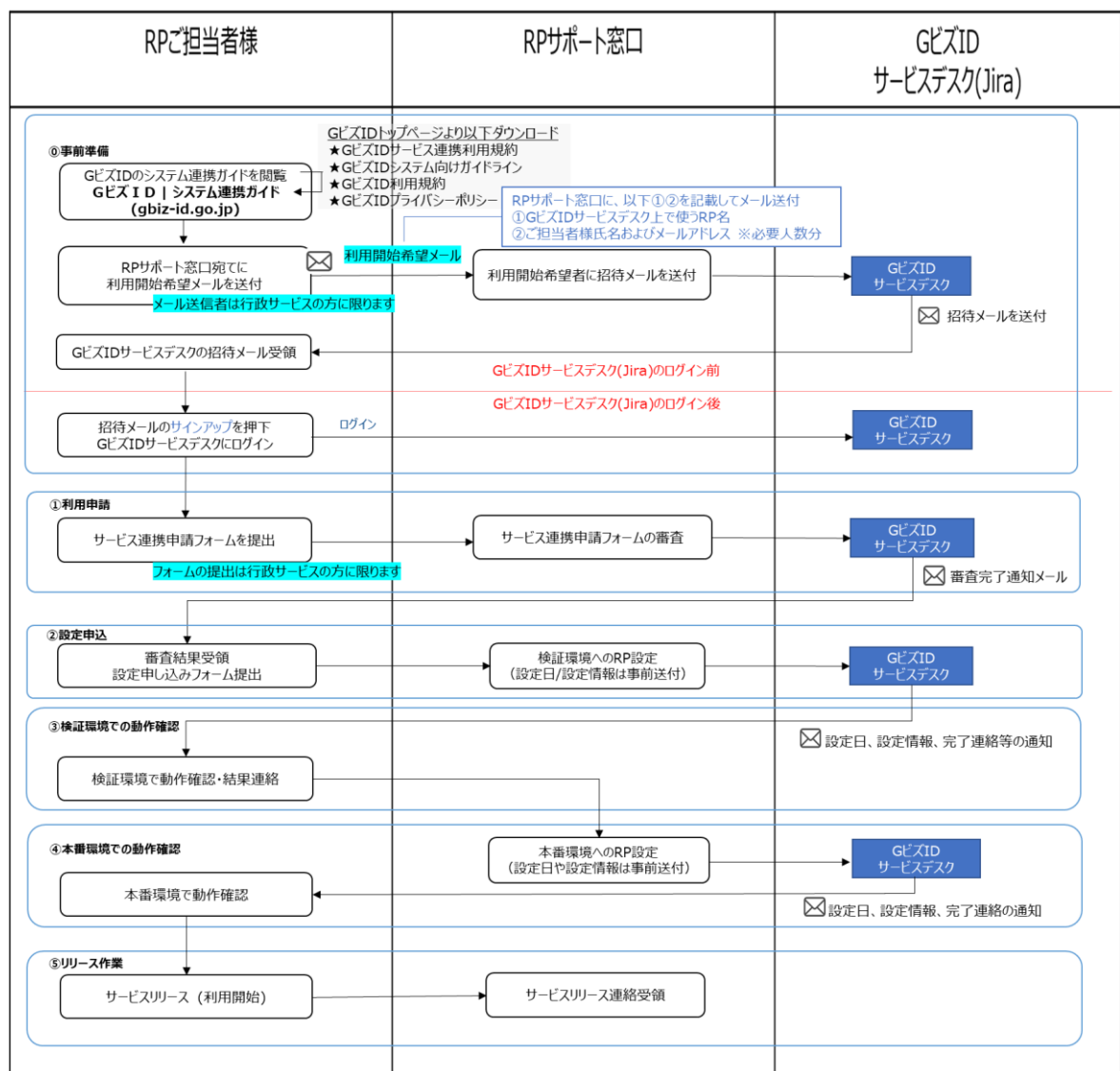
法人・個人事業主の方が G ビズ ID を作成されたい場合は、[G ビズ ID | ご利用ガイド \(gbiz-id.go.jp\)](https://gbiz-id.go.jp)をご覧ください。

G ビズ ID と行政サービス連携に向けた審査および接続設定の流れを示す。
以下の流れに沿って、RP 側での調整および動作確認を実施する。

RP サポートデスクとの各手順（業務フロー）は、次ページに記載する。



〈各手順に関する業務フロー〉



【注意】※1 上記フローに関し、RP 設定申込フォームに記載の「サービスリリース予定日」から 1 週間以内に、下記〈サービスリリースの定義〉に従いリリースが完了した旨を連絡いただけていない場合、G.bizID 本番環境上の設定は強制解除となるため、必ず連絡すること。予期しないトラブルなどでサービスが開始できない事情がある場合は、その旨を連絡すること。

※ RP システムサイト内で G.bizID との連携ができているか確認のうえ、1 週間以内にその旨を連絡すること。

〈サービスリリースの定義〉

- ・行政サービス一覧に記載される URL から遷移し G.bizID ログインボタンによりログインができる。
- ・G.bizID でログイン後、利用できるコンテンツが準備されている。

【補足】

ただし、行政サービス一覧に掲載しない RP や一般公開していない RP については、RP から「G.bizID でログイン後、利用できるコンテンツが準備され利用者に展開できている。」という申告に基づきサービスリリースとする。

4.2.1. ⑩事前準備について

以下の Web サイトから各ドキュメントファイルをダウンロードいただき、各ドキュメントの内容を確認する。

https://gbiz-id.go.jp/top/system_guide/system_guide.html

必ず各ドキュメントを一読のうえ、お申込みのフローに進むこと。
各ドキュメントの概要について以下に示す。

項目	ドキュメント名	概要
行政サービス 向けドキュメント式	G ビズ ID サービス連携利用規約	G ビズ ID とシステム連携する行政サービスに、G ビズ ID で認証を行う際に必要な事項および遵守していただく事項などが記載された資料。
	G ビズ ID 接続システム向けガイドライン	本書を指し、接続に向けてサービス仕様や手順が記載された資料。
利用者向けドキュメント式	利用規約	利用者向けに G ビズ ID の利用に関する条件等を定めた利用規約。
	プライバシーポリシー	利用者向けに G ビズ ID のプライバシーポリシーを定めたもの。

各ドキュメントの確認後、RP サポート窓口宛に利用開始希望メールを送付する。

利用開始希望メールには、RP 名(行政サービスの正式名称)、G ビズ ID サービスデスクに登録する人数分のご担当者様氏名およびメールアドレスを記載すること。

G ビズ ID RP サポート窓口：gbizid_rp_support@ml.ntt.com※

※上記メールアドレスには、デジタル庁及び委託業者である NTT ドコモビジネスが含まれる。

利用開始希望メールの送付に際しては、行政サービスを運営される組織・団体に所属される方から送付いただく必要がある。所属されていない方（例：組織・団体から委託された開発ベンダ様、NPO 法人等）からの申請は受理できないため注意すること。

※[]の中には行政サービス名や、ご担当様のお名前が入る。

sample

RP サポート窓口 様

お世話になっております。

[行政サービス名]の[行政システム担当者様のお名前]です。

G ビズ ID との連携開始を希望します。

RP 名 (行政サービスの正式名称)は●●です。

利用にあたり、登録いただきたい担当者氏名とメールアドレスは以下となります。

①ご担当者様氏名：××× @aaa.co.jp

②ご担当者様氏名：△△△ @aaa.co.jp

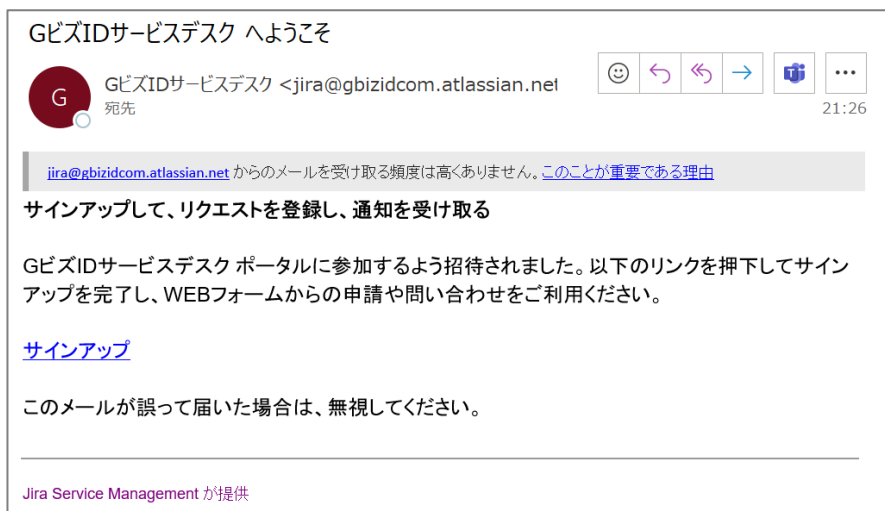
③ご担当者様氏名：〇〇〇 @bbb.co.jp (開発ベンダ様)

利用開始希望メールのサンプル

【補足（G ビズ ID サービスデスクへのログイン）】

G ビズ ID サービスデスク(Jira)への初回ログイン手順は以下のとおり。

RP 様（ベンダー様含む）に G ビズ ID サービスデスクへの招待メールを送付するため、メールを確認すること。



招待メールのサンプル

G ビズ ID サービスデスクへの招待メールに記載されたリンクを押下し、G ビズ ID サービスデスクにログイン（サインアップ）ください。初回ログインしていただくまでの操作は以下のとおり。

- ① G ビズ ID サービスデスクへの招待メールを確認し、「サインアップ」ボタンを押下。
- ② [G ビズ ID サービスデスク - Jira Service Management \(atlassian.net\)](https://jira-service-management.atlassian.net) にアクセスしてサインアップ画面を開く。氏名とパスワード（ご自身で設定される任意の 8 文字以上）を入力し「サインアップ」を押下。

A screenshot of the sign-up page for G Biz ID Service Desk. The page has a blue header and a white body. The title is "ヘルプセンター" (Help Center). Below it is "サインアップして続行" (Sign up and continue). There are input fields for "メールアドレス" (Email address), "氏名" (Name), and "パスワード" (Password). Below the password field is a link to "サインアップをクリックすることで、プライバシーポリシー およびこの 注意および免責事項 に同意するものとします。" (By clicking sign up, you agree to the Privacy Policy and this Notice and Disclaimer). At the bottom is a blue button labeled "サインアップ" (Sign up). The footer says "Powered by Jira Service Management".

サインアップ画面

4.2.2. ①利用申請について

G ビズ ID の利用にあたり、デジタル庁にて利用内容の確認および審査を実施する。

G ビズ ID サービスデスク上から G ビズ ID サービス連携申請を選択いただき、連携申請フォームに必要事項を入力の上提出する。

なお、G ビズ ID サービスデスクの詳細な操作方法等は G ビズ ID サービスデスク内から確認可能。



G ビズ ID サービスデスクの TOP 画面（サービス連携申請フォームは赤枠内）

<注意点>

- ・ サービス連携申請を行う際は、行政サービスを運営される組織・団体に所属される方から申請すること。所属されていない方（例：組織・団体から委託された開発ベンダ様、NPO 法人等）からの代理申請は受理できないため注意すること。
- ・ G ビズ ID サービス連携利用規約第 2 条定義第 1 項に規定する申請を担当する部局・団体等以外のお申込みは受理されない。事前に利用規約を確認のうえ、申込みを行うこと。
また、サービス利用申請フォーム上には G ビズ ID サービス連携利用規約第 2 条定義第 1 項に規定する申請を担当する部局・団体に関する団体分類を選択いただく。このうち「⑤二つ以上の①から④に掲げる団体が運営する団体」を選択された方には、サービス利用申請フォーム上に所属する団体名すべてを記載いただく。記載内容により個別にヒアリングを実施する場合や、申告書等の別の書式の提出を申し出る場合がある。「⑤二つ以上の①から④に掲げる団体が運営する団体」の方は、速やかに申請を実施すること。
- ・ 審査完了後、RP サポートデスクより審査完了の連絡と RP 設定申込の提出に関する案内を送付する。

4.2.3. ②接続申込について

RP 設定申込フォームに必要事項を記載いただき、G ビズ ID サービスデスク上で提出する。
RP 設定申込フォームに記載いただく項目については、「4.3. RP 設定申込フォーム」の欄を参照のこと。
また、記載においての重要事項・注意点は以下のとおり。

【提出期限について（重要）】

G ビズ ID の RP 設定申込フォームの提出期限

全ての情報を記載いただいた上で希望するサービスリリース日（エンドユーザへの公開日）の
6 週間前までに RP サポート窓口まで提出すること。

※6 週間前の該当日が祝日/土日の場合は、その前日までに提出する必要がある。
なお、RP 設定申込フォームに不備があった場合や受領する時期や混雑状況により、設定が希望日より遅れる場合、またスケジュールを調整させていただく等の場合が存在する。

サービスリリース日に間に合わせるため **6 週間**より以前に、極力早い段階での提出にご協力いただきたい。

RP 設定申込フォームの提出後に、記載情報が変更になる場合は、再度設定日を調整する。

例：6 月 30 日 がサービスリリース日の場合の各設定日イメージ

- ・ RP 設定申込フォームの提出は、遅くともサービスリリース日の 6 週間前（5 月 19 日頃）に実施する必要がある。検証環境設定後に接続が上手くいかないケースが存在するため、検証環境設定後のエラー解析や解消に関連し、RP 設定申込フォーム本番環境設定内容確定まで、2 週間程度のバッファを設けている。
- ・ 検証環境の設定は、RP 設定申込フォーム受領後、2 週間前後の日程にて設定日を調整する。

↑ ↓ 2023年5月							↑ ↓ 2023年6月						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
04/30	05/01	2日	3日	4日	5日	6日	05/28	29日	30日	31日	06/01	2日	3日
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	本番環境設定日 修正期限
14日	15日	16日	17日	18日	19日	RP設定申込 フォーム提出	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	本番環境設定日
28日	29日	30日	31日	検証環境設定目安			25日	26日	27日	28日	29日	30日	サービスリリース日

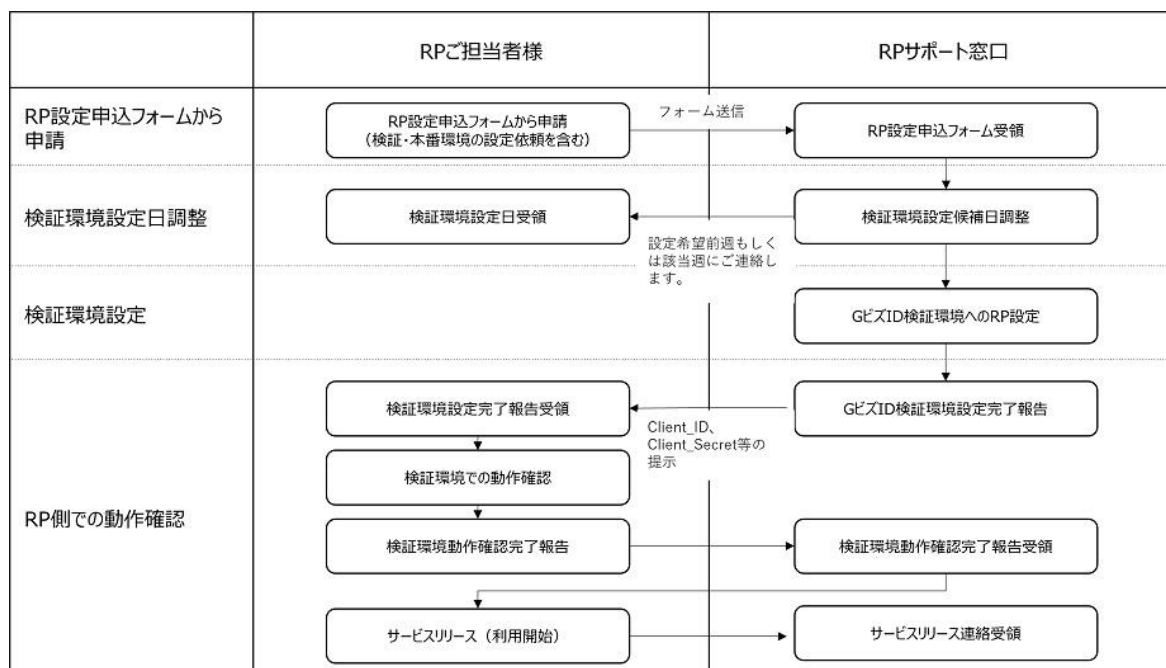
【その他：記載における注意点】

項目	注意点	例
RP 名称に関する依頼事項	サービス利用申請フォームや RP 設定申込フォーム、メールに記載されるサービス名称は統一されたものを連絡すること。	—
	本番環境と検証環境のサービス名称については、区別できるよう記載すること。	本番：ABC システム 検証：ABC システム（検証）
	冒頭に識別できる言葉を入れるため右記を参考に命名すること。	悪い例：△△県電子申請システム（〇〇市） 良い例：〇〇市電子申請システム、 △△県〇〇市電子申請システム
	検証環境が複数ある場合は、各々の名称が区別できるように命名すること。	ABC システム（検証①） ABC システム（検証②）

4.2.4. ③検証環境での動作確認について

RP 設定申込フォーム受領後に、RP サポートデスク側にて、検証環境設定日の調整を行う。
 設定希望日の前週もしくは当週に RP サポートデスクより検証環境設定日を連絡する。
 G ビズ ID 側で G ビズ ID 検証環境への設定が完了次第、RP サポートデスク側より設定完了の旨を連絡する。設定完了時には、RP 側の設定に必要な設定情報（ClientID と ClientSecret 等）を連携する。

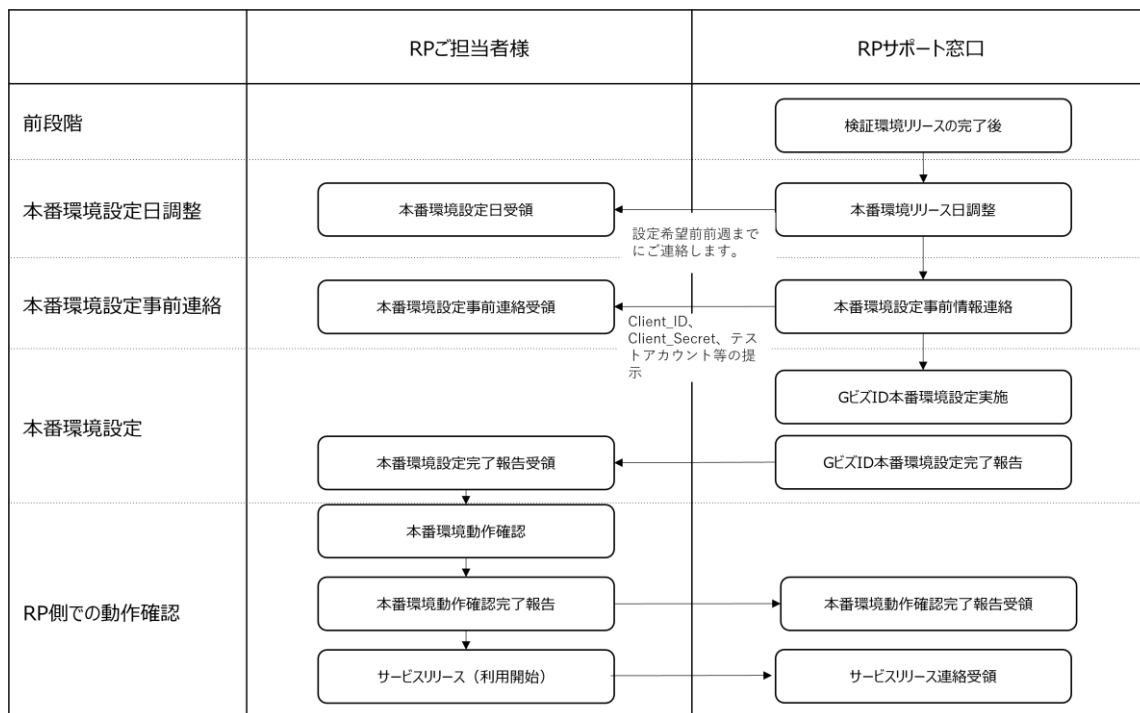
＜③検証環境設定に関する業務フロー＞



4.2.5. ④本番環境での動作確認について

検証環境設定完了後、RP サポートデスク側にて、本番環境設定日の調整を行う。
 本番環境の設定日は、行政サービスのリリース（エンドユーザへの公開日）の 1 週間前とする。
 RP サポートデスクから設定前週までに、設定日について連絡する。
 RP サポートデスクより、事前に設定情報（ClientID と ClientSecret 等）を連携する。
 また、設定日当日の作業完了後に、設定完了の旨を連絡する。

<④本番環境設定に関する業務フロー>



4.2.6. ⑤リリース作業

G Biz ID 本番環境の設定が完了し、さらに RP 側で動作確認等が完了次第、利用者向けにサービスリリースに向け準備いただく。このフェーズの作業について G Biz ID 側は関与しない。

4.2.7. ⑥リリース後の設定変更・設定追加依頼要望について

リリース後に設定内容を変更されたい場合は、RP 変更依頼フォーム上に必要事項を記載いただいた後に変更対応を行う。
 RP 変更依頼フォーム上で変更したい点を明示的に記載いただき（赤字など変更点を明確に）、フォームにて提出する必要がある。

【提出期限について（重要）】

G Biz ID の RP 変更依頼フォームの提出期限：

検証環境及び本番環境にかかわらず全ての情報を記載いただいたうえで遅くとも、
 変更希望日（本番環境の場合はエンドユーザへの公開日）の **3 週間前**までに、RP サポート窓口まで提出すること。

※3 週間前の該当日が祝日/土日の場合は、その前日までに提出すること。

なお、RP 設定申込フォームの「G ビズ ID TOP ページコンテンツ（利用可能なサービス一覧）への登録内容」に記載いただく内容については、G ビズ ID の本番環境及び検証環境設定とは別タイミングとなり月 1 回（第一営業日）となる。

原則、新規申込時は RP 様のサービスリリース日（サービス開始日）の翌月の第一営業日に掲載される（サービスリリース日が第一営業日の場合は同日に掲載する。）が、サービスリリース時には掲載を希望せず、後日掲載されたい場合、毎月 10 日までに申請いただければ翌第一営業日に掲載可能となるため、事前に相談いただきたい。

また掲載後、サービス URL や連絡先等内容に変更が発生し、掲載内容を変更したい場合や、掲載を取りやめたい場合についても同様に、毎月 10 日までに申請いただければ翌第一営業日に反映する。

4.2.8. その他（テストアカウントの作成手順）

G ビズ ID では検証環境・本番環境用のテストアカウントを用意している。

G ビズ ID プライムの作成には、書類郵送やマイナンバーカード登録などが必要だが、テストアカウントはそれらの対応不要で利用可能。

アカウント種別や検証環境、本番環境によって作成手順等は異なる。詳細は以下のとおり。

項目	G ビズ ID サービス本番環境 テストアカウント	G ビズ ID サービス検証環境 テストアカウント
G ビズ ID プライム	RP 設定申込フォームにて G ビズ ID 本番環境テストアカウント 1 アカウントを申請いただいた後に、RP サポートデスクにて作成、テストアカウントを貸与する。 テストアカウントは RP ごとに 1 アカウント限定。 また、本テストアカウントでは、ご自身が担当されている行政サービスのみログインを許可する。その他行政サービスへはログインしないこと。	行政サービス担当者が G ビズ ID 検証環境にて、G ビズ ID 検証環境テストアカウントを作成し、RP サポートデスク宛てに、G ビズ ID サービスデスクのその他のお問い合わせフォームより承認を依頼する。 その後 RP サポートデスクでの承認によって、テストアカウントの利用が可能となる。 G ビズ ID 検証環境については、RP 利用申請審査完了後に、アクセス先などの詳細を連絡する。
G ビズ ID メンバー	原則的に作成不可。 G ビズ ID プライムテストアカウントに紐づくメンバー作成はできない。	行政サービス担当者にて、G ビズ ID 検証環境テストアカウント作成が可能。上記 G ビズ ID プライム作成後に、G ビズ ID プライムからのアカウント作成が可能となる。 ただし、作成した G ビズ ID メンバーに管理者権限を付与することは検証環境ではできない。 G ビズ ID 検証環境については、RP 利用申請審査完了後に、アクセス先など詳細を連絡する。アカウントの作成方法は、G ビズ ID メンバー作成マニュアルを参照：https://gbiz-id.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Member.pdf
G ビズ ID エントリー	原則的に作成不可。	行政サービス担当者にて検証環境で作成が可能。 G ビズ ID 検証環境にて、自由に作成できる。 G ビズ ID 検証環境については、RP 利用申請審査完了後にアクセス先などの詳細を連絡する。アカウントの作成方法は、G ビズ ID エントリー作成マニュアルを参照： https://gbiz-id.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Entry.pdf

なお、テスト用に G ビズ ID サイトから正規のルート（書類郵送申請もしくはオンライン申請）にて、G ビズ ID プライムや G ビズ ID メンバー、G ビズ ID エントリー作成することは禁止している。

各環境における G ビズ ID プライムテストアカウントの作成手順については、次のページに示す。

<G ビズ ID サービス本番環境：G ビズ ID プライムテストアカウント作成手順>

G ビズ ID 本番環境：G ビズ ID プライムの作成手順について、以下に示す。

手順	概要	詳細
1	RP 設定申込フォーム提出の際に、 【7. 本番環境疎通確認用テストアカウントの有無について】に必要事項を記載して提出する。	RP 設定申込フォームに、G ビズ ID プライムテストアカウントの有無およびメールアドレス/SMS 受信番号を記載する。 【注意点】 ・テストアカウントは1アカウントのみ。 ・個人事業主種別での作成はできない。
—	RP サポート窓口にて、本番環境用のG ビズ ID プライムテストアカウントを作成する。 G ビズ ID 本番環境設定前日に、ログイン ID/Password などの設定情報を連携する。	
2	G ビズ ID 本番環境設定日の前日に、RP サポート窓口より、G ビズ ID プライムテストアカウントのログイン ID/Password などの設定情報を受領する。	G ビズ ID プライムテストアカウントの ID およびパスワードを用いて G ビズ ID 本番環境にアクセスして、疎通確認などのテストを実施すること。 【注意点】 ・G ビズ ID メンバーは、作成不可。

<G ビズ ID サービス検証環境：G ビズ ID プライムテストアカウントの作成手順>

G ビズ ID 検証環境：G ビズ ID プライムテストアカウントの作成手順を以下に示す。

手順	概要	詳細
1	G ビズ ID 検証環境にアクセス	G ビズ ID 検証環境にアクセスする。 G ビズ ID 検証環境については、RP 利用申請審査完了のご連絡時に、アクセス先の URL などの詳細を連絡する。
2	G ビズ ID 検証環境上にて G ビズ ID プライムアカウントを作成	ご自身にて G ビズ ID 検証環境上にて書類郵送申請より G ビズ ID プライムの申請を行う。 ・法人アカウントを作成する場合は、 自社の法人番号を利用すること。 (申請画面にて「その法人番号ですでに登録されています」というメッセージは無視して構わない。) ・個人事業主のアカウントについては、特に制限事項はない。 ※なお、本環境は検証環境であるため、アカウント作成後の印鑑（登録）証明書、申請書等、郵送等は不要。 特にアカウント数に制限は設けていないが、必要なアカウント数のみを申請すること。
3	G ビズ ID プライムのアカウント承認依頼を G ビズ ID サービスデスクのその他のお問い合わせフォームから提出	RP サポート窓口宛てに、G ビズ ID サービスデスクのその他のお問い合わせフォームから連絡する。 ・承認依頼時には必ず、行政サービス名（RP 名）と氏名を記載すること。文面サンプルを本項目の下部に記載しているため参照のこと。 ・アカウントの申請が複数件ある場合は、申請 ID ごとの依頼ではなく、まとめて（複数の申請 ID を列挙し）申請依頼を行うこと。
—	RP サポート窓口にて、アカウント承認を実施。承認後には、アカウント承認の旨のメールが送付される。	
4	メールに基づき、ID 登録を完了	送付されたメールに従い、G ビズ ID アカウント登録を完了させる。その後は G ビズ ID メンバーの作成も可能となる。

		検証環境では、多要素認証に関し、SMS 認証により認証を実施すること。（本番環境においては、2024 年以降ログイン時の SMS を用いたワンタイムパスワード認証は廃止する予定だが、現状検証環境で廃止の予定はない。廃止の方針等が決まった場合は別途連絡する。）
--	--	---

(サンプル) G ビズ ID 検証環境 G ビズ ID プライムテストアカウント承認依頼
メールアドレスおよび申請 ID に加えて、ご所属の情報および RP 名を記載すること。

すべての申請・お問い合わせに関する基本的な操作はこちら

共通操作(各種申請・お問い合わせ時)

お問い合わせの操作手順はこちら

お問い合わせフォームの操作方法

RP 名

正式名称を記載してください。

【●●市電子申請システム】検証環境 G ビズ ID プライム承認依頼

お問い合わせの内容を記載してください（記入欄）

Normal text

B I ...

≡

A

≡ ≡

RP サポート窓口宛て

●●市の△です。

表題の件につきまして、検証環境用 G ビズ ID プライムアカウントの承認をお願いいたします。

メールアドレス：xxxx@aaa.co.jp

申請 ID：TEST1-6545xx-0002-0

RP 名：●●市電子申請システム

以上、よろしくお願いいたします。

添付ファイル

Drop files to attach or browse

送信 キャンセル

G ビズ ID サービスデスクのお問い合わせフォーム（検証環境用 G ビズ ID プライムアカウントの承認）

※申請 ID について、検証環境では画面上に表示される申請 ID は冒頭に“TEST”が付かないが、PDF 上に表示される申請 ID は冒頭に“TEST”と付いた ID となる。いずれの ID でも構わない。

4.3. RP 設定申込フォーム

以下の項目を記載すること。すべての内容が揃わない場合は、申請が受理されない。

No	項目	内容
1	基本情報（連携サービス概要）	サービスの概要および G ビズ ID のリポジトリに登録する情報
2	OpenID Connect 連携に関する情報	OpenID Connect 連携設定時に必要な情報
3	委任申請に関する情報	委任設定に必要となる情報 ※委任者からの申請を受け付けるシステムの場合
4	多要素認証ポリシーに関する情報	1 要素認証もしくは 2 要素認証サイトもしくは 1 要素 2 要素混在サイトかを選択
5	TOP ページコンテンツ（利用可能なサービス一覧）への登録内容	TOP ページ及びシステム内部の「利用可能なサービス一覧」に掲載する情報
6	システム内の「利用可能なサービス一覧」への表示・非表示について	システム内の「利用可能なサービス一覧」へのサービス名称の表示可否を選択
7	本番環境疎通確認用テストアカウントの有無について	本番疎通確認用のテストアカウント要否
8	ご連絡先情報	G ビズ ID 運営者・開発者向け連絡事項を受け取るための担当者の連絡先情報

（1）連携サービスの概要

項目	データ型	必須/任意	備考	サンプル	備考
RP 名（サービス名）	文字列	必須	RP の名称 ※全角	サンプルサービス	本番と検証用について、それぞれ記載すること。
サービスリリース予定日	文字列	必須	サービスの提供開始予定日（エンドユーザへのサービス公開日） なお、既存サービスの場合は、設定変更リリース予定日。	2021/04/01	サービスリリース予定日が確定の上で記載すること。 サービスリリース予定日がまだ未確定の場合はその旨を RP 窓口まで連絡すること。 原則的に、記載いただいたサービスリリース予定日の 1 週間前を本番環境の設定日として調整する。 ※〈サービスリリースの定義〉4.2.6 ⑤リリース作業参照
申込者名	文字列	必須	サービス申込書名	デジタル庁	
関連事業者	文字列	必須	開発ベンダ名	〇〇〇株式会社	

(2) OpenID Connect 連携に関する情報

項目	データ型	必須/任意	備考	サンプル	備考
Client ID	文字列 (50)	必須	RP の一意の識別子 ※半角英数字	RP01	G ビズ ID 側で一意に決定 本番・検証用それぞれについて連絡する。
ClientSecret	文字列 (255)	必須	認証に使用する秘密情報 ※運用側で採番	xxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxx	G ビズ ID 側で一意に決定 本番・検証用それぞれについて連絡する。
利用を希望する Scope	リスト	任意	申請必要な Scope のリストを指定	jp_gbizid_v1_ida, role	利用する Scope を指定。 3.4.1.2 ユーザ認可リクエスト参照
ログイン後のリダイレクト URL	URL	必須	ログイン後のリダイレクト URL	https://www.xxxx xxx.go.jp/redirect	本番と検証用について、それぞれ記載すること。 注意点① 正しいリダイレクト URL が記載されていない場合（正しくご申告いただけない場合）、リダイレクトが失敗しエラーとなるため、必ず正しい内容を記載すること。 注意点② 一つの Client_ID に対して複数のリダイレクト URL を紐づけて利用する場合は、 ユーザ認可リクエスト（https://gbiz-id.go.jp/oauth/authorize）を送信する際に「紐づけされた複数のリダイレクト URL の何れにリダイレクトさせるのか」を redirect_uri パラメータにて指定する必要がある。 〈記載方法〉：1 環境に複数のリダイレクト URL を設定したい場合は、1 つのセル(記入欄)に改行して列挙すること。 注意点③ リダイレクト URI の文字数の制限は、2048 桁まで。 ・リダイレクト URL は絶対 URI である必要があるため、*

					(アスタリスク) や部分一致などは利用不可。 ・ URL として利用が許可されている文字であれば、全て利用可能。
--	--	--	--	--	--

(3) 委任申請に関する情報

項目	データ型	必須/任意	備考	サンプル	備考
ClientKey	文字列 (255)	必須	委任 API のリクエスト時に必要な RP の一意の識別子	RP01	G ビズ ID 側で一意に決定 本番・検証用それぞれについて連絡する。
ClientToken	文字列 (255)	必須	認証に使用する秘密情報 ※運用側で採番	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	G ビズ ID 側で一意に決定 本番・検証用それぞれについて連絡する。
委任有無	数字	必須	委任 API のリクエスト時の認証に使用する秘密情報	1	委任を行うシステムであるかを選択する。 有り：1、無し：0
API 呼び出し元 IP アドレス	IP アドレス	任意	委任 API を利用する際の発信元 IP アドレス 上記委任有無が「有（1）」の場合、必須となる 本番： 検証：	xxx.xxx.xxx.xxx/32	本番と検証用について、それぞれ記載すること。
対象サービスコード	文字列 (6)	必須	委任情報取得 API にて返却される委任の対象サービスのコード値	sample	G ビズ ID 側で一意に決定 本番・検証用それぞれについて連絡する。
対象サービス名	文字列 (20)	必須	委任申請時に画面表示されるサービス名	サンプル申請サービス	

(4) 多要素認証ポリシーに関する情報

項目	データ型	必須/任意	備考	サンプル	備考
サイトとしての認証ポリシー	文字列	必須	1 要素認証のみ、2 要素認証必須、1 要素認証 + 2 要素認証	1 要素認証のみ	サービスの認証ポリシーを指定すること。 本番と検証用について、それぞれ記載すること。

(5) TOP ページコンテンツ（利用可能なサービス一覧）への登録内容

項目	データ型	必須/任意	備考	サンプル	備考
サービス名称	文字列	必須	RP のサービス名称	サービスサンプル	※掲載タイミングは月 1 回（第一営業日）となる。原則、RP 様のサービスリリース日（サービス開始日）の翌月の第一営業日に掲載する。（サービスリリース日が第一営業日の場合は同日に掲載する。）
サービスサイト URL	URL	必須	RP のサービスサイト URL	https://xxxx.go.jp	
利用可能なアカウント種別	文字列	必須	G ビズ ID プライム、G ビズ ID メンバー、G ビズ ID エントリーから利用可能な種別を記載	G ビズ ID プライム、G ビズ ID メンバー、G ビズ ID エントリー	
連絡先	文字列	必須	担当省庁名/自治体名（部署、部課および電話番号または電話番号が記載されている URL	省庁様：〇〇省、〇〇庁（担当省庁名、自治体名、部署名を記入） 自治体様：〇〇県、〇〇市（部署名まで記入） 連絡先：電話番号、もしくは、連絡先の記載がある URL	

(6) システム内の利用可能なサービス一覧への表示・非表示について

項目	データ型	必須/任意	備考	サンプル	備考
システム内の「利用可能なサービス一覧」へのサービス名称の表示可否	文字列	必須	プライムがメンバーにサービスの利用権限を設定する画面に、そのサービス名を表示するか非表示とすることを選択する。	※二択 「表示する」または「非表示にする」	非表示の場合、プライムはメンバーにサービスの利用権限を付与できないため、メンバーはサービスを利用できない。

(7) 本番環境疎通テストアカウントの有無について

項目	データ型	必須/任意	備考	サンプル	備考
テストアカウント有無	文字列	必須	テストアカウントの有無の選択[有りの場合：1、無しの場合：0]		
SMS 受信番号	文字列	1.の場合必須	SMS 受信番号記入	090 等から始まる番号	
メールアドレス	文字列	1.の場合必須	メールアドレス記入		

(8) 連絡先情報

G ビズ ID から運営者、開発者向け連絡事項（RP 登録に関する連絡、停止などの連絡、仕様などに関する調整等）を受け取りたいご担当者様の連絡先は、利用開始希望メールを送付いただく際に確認する。

担当者追加や変更が生じた場合のご連絡は、G ビズ ID サービスデスク（Jira）のお問い合わせフォームの担当者追加・変更依頼フォームより実施すること。

なお、RP 担当者のご連絡先を最新に更新するため、定期的（年 1 回程度）に確認連絡を実施する。

➤ Scope について
Scope は以下の通り

Scope	内容
openid	アカウント管理番号
Profile	基本情報の項目を含む
user	アカウント利用者情報の項目を含む
mandate	G ビズ ID メンバーへ委任する RP の情報
email	アカウント利用者情報のうち、アカウント ID（メールアドレス）
offline_access	リフレッシュトークンを取得したい場合に指定する

4.4. テストでの確認ポイント

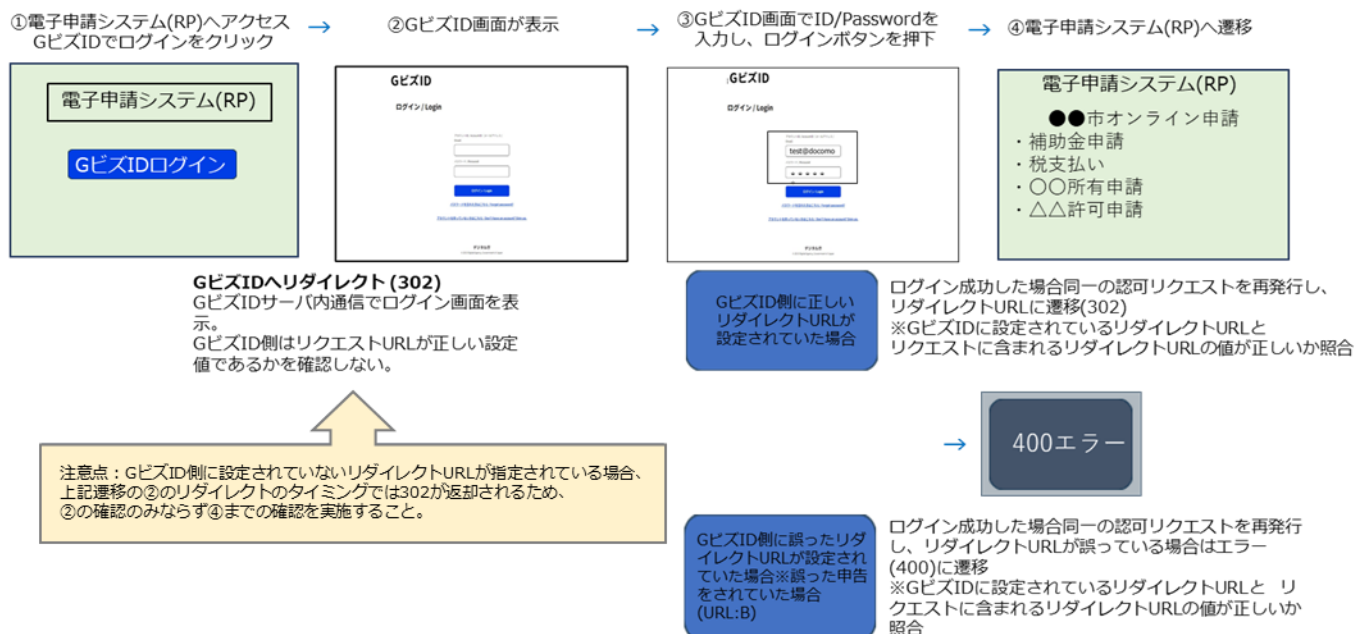
RPの登録後の動作確認については、OpenID Connectに関する各種リクエストの動作確認を行い、RPとGビズIDが正常に連携されていることを確認のこと。

➤ OpenID Connectに関連した確認ポイント

OpenID Connectリクエスト	確認内容
ユーザ認可リクエスト	認可リクエストでログイン成功後に、リダイレクトURLで指定している（RP側の）URLにリダイレクトされること。※注意1
	ユーザ認可のレスポンスで取得したstateの値が、リクエストで送信した値と同じであること。
アクセストークン取得リクエスト	ログイン成功後のリダイレクトで取得した認可コードで、アクセストークンの取得が可能なこと。
	アクセストークン取得のレスポンスで取得した id_token に含まれる nonce の値が、ユーザ認可リクエストで送信した値と同じであること。 id_token の検証が正常に行えること。
属性取得リクエスト	アクセストークンを使用して、属性情報の取得が可能なこと。
	認可リクエストでscopeにはRPに設定したものが指定可能となっており、属性情報には指定したscopeものが取得されること。
アクセストークン再取得リクエスト	認可リクエストのscopeに「offline_access」を指定した場合、アクセストークン取得のレスポンスで取得したリフレッシュトークンを使用して、アクセストークンの再取得が可能なこと。
	アクセストークン再取得のレスポンスで取得した id_token の検証が正常に行えること。

※1 注意点：【認可リクエストでログイン成功後にリダイレクトURLに指定するRP側のURLへリダイレクトされる事】については電子申請システムへアクセスしGビズIDへログイン後に、電子申請システム側にリダイレクトする一連の流れ（①～④）について動作確認を行うことを推奨する。また、RP設定依頼書にて正しいURLが申告されていなかった場合、1つのClient_IDに対して複数のリダイレクトURLを紐づけてご利用される際に、全てのURLを申告いただけない場合は、④のリダイレクト処理にてエラーが発生する。必ず正しいリダイレクトURLを全て申告すること。

■リダイレクト時の画面遷移イメージ



➤ その他確認ポイント

確認観点	確認内容
認証実施時の挙動（1要素認証サイト）	いずれのアカウント種別の場合も、登録した認証要素（1要素認証）で、認証が要求されること。
認証実施時の挙動（2要素認証サイト）	G ビズ ID プライム、G ビズ ID メンバーでアクセスした場合、登録した認証要素（2 要素認証）で、認証が要求されること。 ※RP 仕様観点 G ビズ ID エントリーでアクセスした場合、1 要素認証後、本サイトは本来 2 要素が必要となるサイトとなるため、RP側で「権限がありません」などのエラーが表示され、ログインエラーとなること。
認証実施時の挙動（1要素 2要素併用）	G ビズ ID プライム、G ビズ ID メンバーでアクセスした場合、1 要素メニュー、2 要素メニューともに、2 要素認証 で、認証が要求されること。 ※RP 仕様観点 G ビズ ID エントリーでアクセスした場合は、1 要素メニューについては、アクセスができ、2 要素メニューについては、本メニューについては本来 2 要素が必要となるサイトとなるため、RP 側で「権限がありません」などのエラーが表示され、ログインエラーとなることを確認する。
アカウント種別に応じたRP側での制御	※RP 仕様観点 G ビズ ID エントリー、G ビズ ID プライム、G ビズ ID メンバーのアカウント種別に応じて、RP 側で想定している仕様でふるまえることを確認する。 RP 側の仕様にあわせて、必要に応じて確認する。
委任情報に関する動作確認	委任情報が取得できていることを確認する。

➤ エラー発生時の調査について

G ビズ ID の検証・本番接続においてエラーが発生した場合は、エラー原因の早期解明のために必要な以下の内容を RP サポート窓口へ連絡する。

<ご申告いただく内容>

- ・ Client_ID
- ・ 事象発生日時
- ・ 利用アカウント（アカウント ID）
- ・ 発生事象
 - 利用者の操作
 - 利用者側で想定している上記操作から得られる結果
 - 実際に発生した事象
- ・ リクエスト内容
 - ユーザ認可リクエスト
 - アクセストークン取得リクエスト
- ・ リクエストやレスポンスの Cookie 情報
- ・ 再現性の有無
- ・ 利用環境
 - 本番環境、検証環境（検証環境①、②…等）
 - 利用しているブラウザ
- ・ その他
 - 事象の発生有無がアカウントや状況（ネットワーク等）により異なる場合、発生有無ごとの状況
 - ガイドラインに記載されていないフローで G ビズ ID への接続を行っている場合、その接続方法

- 発生事象（利用者の操作）とは別にテスト接続等の操作を実施している場合、その操作
- 画面キャプチャー等

4.5. 接続後の対応

RPの登録後に設定を変更したい場合や連携解除したい場合は、変更依頼フォームにて申請すること。GビズIDとの接続を解除したい場合、またRPとしてサービス終了する場合は、必ず変更依頼フォームにてその旨を申告すること。

➤ 設定変更等に関する対応のお願い

- ・設定変更に関し、通常のRP変更対応の範囲で収まらない作業が予想される場合（例：短期間で複数のRPの設定を変更したい、特定のタイミングで変更を希望したい、等）は、RPご担当者様からデジタル庁に対し実施内容を説明していただいたうえで、対応について判断する。こういったケースでは、実施を希望する3か月前までに、GビズID RPサポート窓口へ連絡する必要がある。

➤ RP連携設定解除に関する対応

- ・変更依頼フォームにて、連携解除する環境に関するサービス名およびClientIDについて申告する。
- ・GビズID RPサポート窓口にて、RP設定の連携解除およびTOPページコンテンツから該当サービス情報を掲載削除する。

➤ ログインエラーに関する対応

- ・検証環境および本番環境にて接続ができない場合で、RPご担当者様側で検証の結果GビズID側の原因と考えられる場合は、エラー原因の早期解明のために必要な以下の内容をRPサポート窓口へ連絡する。

＜ご申告いただく内容＞

- ・Client_ID
- ・事象発生日時
- ・利用アカウント（アカウントID）
- ・発生事象
 - 利用者の操作
 - 利用者側で想定している上記操作から得られる結果
 - 実際に発生した事象
- ・リクエスト内容
 - ユーザ認可リクエスト
 - アクセストークン取得リクエスト
- ・リクエストやレスポンスのCookie情報
- ・再現性の有無
- ・利用環境
 - 本番環境、検証環境（検証環境①、②…等）
 - 利用しているブラウザ
- ・その他
 - 事象の発生有無がアカウントや状況（ネットワーク等）により異なる場合、発生有無ごとの状況
 - ガイドラインに記載されていないフローでGビズIDへの接続を行っている場合、その接続方法
 - 発生事象（利用者の操作）とは別にテスト接続等の操作を実施している場合、その操作
 - 画面キャプチャー等

4.6. 接続後の連携解除について

①G ビズ ID との連携解除を希望の場合

RP として行政サービスの公開/展開を終了したとき（行政サービスが終了となった場合）及び行政サービスの提供が中断となった場合等は、変更依頼フォームを提出すること。

依頼内容を確認でき次第、RP 設定申込フォームにて解除に係る変更申請を実施すること。
申請を受領後、3 週間程度で連携解除する。

※RP 設定申込フォームは通常変更操作が実施不可。変更依頼フォームにてご要望を受領次第、G ビズ ID RP サポート窓口にて RP 設定申込フォームを操作可能な状態に変更する。

また、再接続を希望の場合は、サービスリリースの 3 週間前までに再提出すること。

（注意点）

- ・ 連携解除に係る変更申請を行う際は、行政サービスを運営される組織・団体に所属される方から申請すること。所属されていない方（例：組織・団体から委託された開発ベンダ様、NPO 法人等）からの代理申請は受理できないため注意すること。
- ・ 連携解除を行った後に再接続を希望される場合は、変更依頼フォームにて再接続の申請を提出する必要がある。再接続の場合も、連携解除時と同様に RP 設定申込フォームから再接続に係る変更申請を実施すること。

②サービスリリース後にエンドユーザ向けにサービスを提供できない場合の削除について

「4.2.6. ⑤リリース作業」参照

4.7. よくあるお問合せ事項

本番環境と検証環境の環境に関する質問

Q1	G ビズ ID の本番環境と検証環境の違いは何ですか？
A1	本書の 4.1. 各環境概要をご確認ください。
Q2	G ビズ ID の本番環境は、サービスリリース日（エンドユーザへの公開日）の原則 1 週間前に接続とありますが、事前に（数か月前に）G ビズ ID の本番環境と動作確認のために接続することは可能ですか？
A2	原則的にできません。G ビズ ID 検証環境と G ビズ ID 本番環境は同等の構成であるため、事前の動作確認や接続試験は G ビズ ID 検証環境と接続することにより動作確認をご対応ください。 G ビズ ID 本番環境は、稼働中のシステムであるため、試験などに利用することは想定しておりません。
Q3	G ビズ ID と RP 連携するにあたり、本番環境以外に検証環境も準備する必要はありますか？
A3	検証環境と本番環境の両方をご準備ください。RP 様の検証環境は G ビズ ID の検証環境、RP 様の本番環境は G ビズ ID の本番環境とのみ、接続することが可能となっております。 なお、G ビズ ID の検証環境は、連携前の接続確認用としてだけでなく、G ビズ ID サービスの機能追加・変更時において先行リリースを行い、RP 側のシステムに影響がないかを確認いただく用途にもご利用いただけます。以上の理由により、RP 側でも必ず検証環境をご準備いただき、G ビズ ID の検証環境と接続していただきますよう、よろしくお願いいたします。

本番環境と検証環境のテストアカウントに関する質問

Q4	テスト用に G ビズ ID の本番環境・検証環境の G ビズ ID プライムのアカウントの作成方法を教えてください。
A4	本書の 4.1. 各環境概要の G ビズ ID テストアカウント作成方法をご確認ください。
Q5	G ビズ ID の本番環境の G ビズ ID プライムテストアカウントは、1 アカウントしか作成できませんか？複数アカウントが必要です。
A5	G ビズ ID の本番環境のテストアカウントは 1 アカウントのみの提供となります。ご了承ください。
Q6	G ビズ ID の本番環境のテストアカウントが複数ほしいのですが、自身でオンライン申請や書類審査申請により作成してもよいですか？
A6	テストを目的に G ビズ ID プライム、G ビズ ID メンバー、G ビズ ID エントリーを作成することは原則的に禁止しております。（行政サービスへの申請が必要であるなど、正規の用途/目的のために作成いただくことは問題ありません）
Q7	G ビズ ID の検証環境の G ビズ ID プライムのアカウントはどこで作成できますか？
A7	G ビズ ID 検証環境での作成が可能です。G ビズ ID 検証環境へのアクセス手順は、R P 利用申請後、審査が完了しましたら、G ビズ ID RP サポート窓口よりご連絡いたします。作成手順については、本書の 4.1. 各環境概要 の G ビズ ID テストアカウントの作成方法をご確認ください。
Q8	G ビズ ID の検証環境の G ビズ ID メンバーの作成は可能ですか？
A8	作成は可能です。G ビズ ID プライムを作成いただいた後、G ビズ ID メンバーを作成ください。 ※ 実際に利用されるアカウント数のみを作成してください。 ※ 作成した G ビズ ID メンバーに管理者権限を付与することはできません。

検証接続エラーに関する質問

Q9	接続検証を行っているがエラーにより先に進めない。
A9	まずは本書 3.4.1. OpenID Connect について などをご確認ください。 ・各リクエスト等が、正しいメソッドおよびヘッダ名等で指定されているかをご確認ください。 ・大文字小文字の違いについてご注意ください。 ・各リクエストの順序性が正しいかをご確認ください。 (例：属性取得リクエスト単体でリクエストを行っても結果は返却されません。必ずユーザ認可リクエスト、アクセストークン取得リクエスト、属性取得リクエストの順に行ってください。) なお、原因が不明の場合は以下の内容を G ビズ ID RP サポート窓口までご連絡ください。 エラー原因の早期解明のために必要な情報となりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。 ＜ご申告いただく内容＞ ・ Client_ID ・事象発生日時 ・利用アカウント（アカウント ID） ・発生事象 - 利用者の操作 - 利用者側で想定している上記操作から得られる結果 - 実際に発生した事象 ・リクエスト内容 - ユーザ認可リクエスト - アクセストークン取得リクエスト ・リクエストやレスポンスの Cookie 情報 ・再現性の有無 ・利用環境 - 本番環境、検証環境（検証環境①、②…等） - 利用しているブラウザ ・その他 - 事象の発生有無がアカウントや状況（ネットワーク等）により異なる場合、発生有無ごとの状況 - ガイドラインに記載されていないフローで G ビズ ID への接続を行っている場合、その接続方法 - 発生事象（利用者の操作）とは別にテスト接続等の操作を実施している場合、その操作 - 画面キャプチャー等
Q10	属性取得リクエスト時に、正しく情報が返却されない。
A10	属性取得リクエストの返却にあたっては、ユーザ認可リクエスト時に正しくリクエストコンテンツ内で scope を指定してください。このケースで返却されないことが多いのでご確認ください。 エラーの原因が不明の場合は、A9 のヒアリング事項を記載の上、G ビズ ID RP サポート窓口までお問合せください。
Q11	検証環境が接続できたため、検証アカウントにてログインを試みたがログインができない。
A11	これまでの事案の場合、以下のケースが多数ございました。以下事象についてご確認ください。 ・設定申込書上で、ご指定いただいたリダイレクト URL に誤りがあった。 ・何度もログインを試みたため、SMS 送信数の上限に達してしまい、SMS が届かなくなっていました。 (SMS 送信数上限は 1 日あたり同一番号に対して 50 通までとなります。)

ユーザがログインできない事象に関する質問

Q12	アカウントにてログインを試みたがログインができない。
A12	これまでの事案の場合、以下のケースが多くございました。以下事象についてご確認ください。 ・何度もログインを試みたため、SMS送信数の上限に達してしまいSMSが届かなくなっていた。 (SMS送信数上限は1日あたり同一番号に対して50通までとなります。)

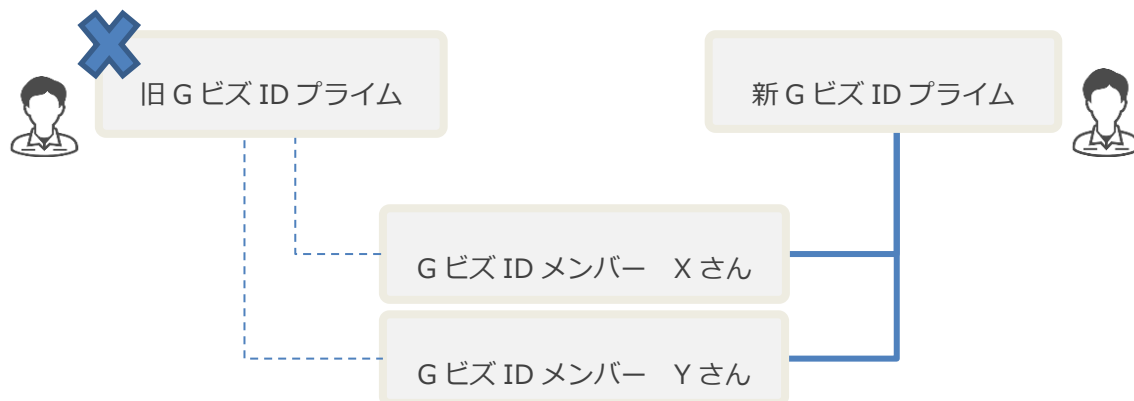
Q13	RPにログインしたG.bizIDユーザから「RPにログインしたはずなのに、RPページでなく、なぜかG.bizIDのマイページが表示される」と申告がある。
A13	これまでの事案の場合では、原因はG.bizIDユーザのイントラ環境に導入されたWeb無害化ツール（menlo等）などのセキュリティソフトにより、ログイン後の各電子申請システム側（RP）のリダイレクトURLがアクセス拒否されているためと判明しています。本ケースの対策としては、リダイレクトURLを社内で除外申請していただくことで解決できます。なお、リダイレクトURLがブロックされた際に、G.bizIDのマイページに遷移する理由は、G.bizID側の仕様によりリダイレクト先に到達できなかった際にデフォルトのランディング先にマイページを指定しているためです。

5. 参考情報

5.1. G ビズ ID プライムのアカウント引継ぎに関する処理概要

前提：GビズIDプライムが変更になった場合の動作

GビズIDでは、代表者交代等に伴いGビズIDプライムが変更になった場合の機能（アカウント引継ぎ機能）を実装している。GビズIDプライムが変更となった場合は、配下のGビズIDメンバーについては、アカウント引継ぎ機能により、新しいGビズIDプライムへ紐づけられる。



- アカウント引継ぎ時は、旧GビズIDプライムから新GビズIDプライムに対して、旧GビズIDプライムに関する、以下の情報を引き継ぐ。

- ①GビズIDメンバーの情報
- ②GビズIDメンバーに許可している利用可能なサービス情報
(GビズIDメンバーが利用可能な対象サービス)
- ③委任情報
(委任申請ID、委任者プライムID、受任者プライムID、対象サービス、委任期間（開始日、終了日）)

- GビズIDプライムが変更となった場合、GビズIDでは、以下が変更となる。
 - ・ GビズIDメンバーの属性情報として管理される親プライム情報
(属性取得リクエストにより返却されるuserinfo情報の親GビズIDプライムID情報 (parent_id))
 - ・ 委任・受任時のAPI情報におけるGビズIDプライム情報
(委任情報取得APIの委任元情報に関するアカウント管理番号 (meti_id))
- ※旧GビズIDプライムと新GビズIDプライムそれぞれが持つアカウント管理番号は変更されない。

5.2. G ビズ ID プライム変更時における電子申請システムでの制御例

前提：GビズIDプライムが変更になった場合の動作

- 新GビズIDプライムは、アカウント引継ぎ時に、旧GビズIDプライムの今後のアカウントの利用について、「アカウントの利用を停止する」か否かを選択可能。
アカウントの利用の停止を選択した場合は、旧GビズIDプライムはアカウントが停止状態となり、GビズIDへ認証できなくなる。
⇒現時点では、RP側に対し、GビズIDプライムのステータスを連携するAPI等は用意しておらず、RP側が主体的にアカウント停止状態であることを把握することはできない。
(ただし、上記のとおり、アカウント停止状態になった際にはGビズIDへ認証できなくなる。)

GビズIDプライム変更時における電子申請システムでの制御例

- 電子申請システムでは、GビズIDプライムに対する該当法人の過去の申請状況の照会可否について、検討する必要があるものの、現時点ではRP側に対し、旧GビズIDプライムと新GビズIDプライムの紐づけ情報や、新GビズIDプライム上に旧GビズIDプライムの情報が含まれるAPI等は用意していない。
よって、引き継いだ際に、過去の申請状況などを紐づけることはできず、旧GビズIDプライムおよび新GビズIDプライムそれぞれ自身の申請情報の確認のみ実施可能。
※なお、GビズIDプライムに紐づくGビズIDメンバーの、GビズIDプライムからの申請情報の閲覧可否についてもRP側の実装による。
※将来的に、GビズIDプライムと新GビズIDプライムの紐づけ情報をGビズIDにて管理し、その情報をAPI等により電子申請システムに送れるようシステムを実装した際には、以下の実装について検討いただく形になります。(実装時期：未定(検討中))

項目	制御例
G ビズ ID プライム	・新 G ビズ ID プライムに対し、 該当法人の過去の申請状況を閲覧可能とするか否か ・旧 G ビズ ID プライムに対し、 該当法人の過去の申請状況を閲覧可能とするか否か